

令和6年度
事業報告



社会福祉法人
目黒区社会福祉事業団

目 次

I	総括	1
II	法人運営	
第1	法人組織	4
第2	施設概要	6
第3	総務部	8
III	施設の事業概要	
第1	特別養護老人ホーム	13
第2	在宅ケア多機能センター	39
第3	ケアプランセンター	53
第4	心身障害者センター	59
第5	かみよん工房	70
第6	大橋えのき園	78
第7	下目黒福祉工房	85
第8	のぞみ寮	92
第9	みどりハイム	97
第10	西部包括支援センター	104

別紙 事業報告の附属明細書について

I 総括

令和2年初頭に発生した新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）及びその後生じた国際情勢の変化に伴う光熱費をはじめとする物価の上昇は、当事業団の利用者サービス、事業運営にも大きく影響を及ぼしたため、主に財務基盤の立て直しを目途として令和6年3月に第三次経営計画を改定しました。

令和6年度からは、改定後の同計画に基づき、利用者サービスの質の維持、向上を前提として、各サービスの利用率の向上などの取り組みを推進することとしました。

利用者サービスにおいては、コロナ禍により中止又は縮小していた行事等を、感染対策を講じたうえで徐々に再開させるなど従前のサービス提供水準に戻す取り組みを行いました。

再開できない行事等がある場合は、職員の工夫により代替策を講じるなど利用者の満足度を高めるよう努めました。

収支改善に向けては、特別養護老人ホーム等の利用率の向上や職員配置の見直しによる役職者及び介護士（契約職員）の減員等を行い、人件費縮減に取り組みました。

年度初めに一部の特別養護老人ホームにて新型コロナの集団感染の発生による利用率の低下や引き続く諸物価の上昇等もありましたが、令和5年度と比較すると一定の改善を図ることができました。

その他、令和6年度は、新たな事業として知的障害者グループホーム「目黒区立のぞみ寮」の運営を受託し4月から事業を開始しましたが、円滑に立ち上げるとともにその後も順調に運営することができました。

また、当法人が運営している西部包括支援センターは、令和6年度で目黒区からの委託期間（5年）が終了することに伴い運営委託先の公募が行われ、所定の審査を経て改めて同センターの運営委託先として選定されました。

上記のほか、「第三次経営計画」で重点的な課題として掲げた4つの事項についての主な取り組みの成果及び新型コロナの発生状況については以下のとおりです。

1 個人の尊厳を大切に、満足していただける安全・安心なサービスの提供

第三次経営計画の経営目標に従って、それぞれの施設・事業において「人権尊重の理念に基づいたサービス提供」や「一人ひとりの立場や個性を大切に、自立した生活につながる支援」への取り組みを継続して行いました。

新型コロナの取り扱いは、重度化リスクのある方が多く利用されている当事業団の施設、事業では感染予防対策を継続して実施しました。

高齢者施設では、利用者支援の実施状況を毎月所定の評価表を用いて確認し、課題がある場合はサービス向上委員会及びフロア会議で検討し改善しました。

障害者施設では、利用者の高齢化・重度化による身体能力、作業能力の低下については、ひとり一人の状況に合わせ、適宜の休憩や外作業と中作業のバランスの考慮等工夫して対応しました。

みどりハイムでは、令和5年度に作成した「子どもの安全計画」に沿って、行事企画や施設内の事故防止に取り組みました。

その他の施設・事業でも、定期的な人権研修の実施などにより、虐待防止を含めた人権尊重への取り組みを継続しました。

2 区立施設としての役割を果たすとともに、地域共生社会の実現を目指す取り組み

新型コロナの影響等はありませんでしたが、次のとおり計画の実現に向け取り組みました。

特養ホームでは、コロナ禍のため休止していたボランティアの受入れ、近隣幼稚園の園児との交流等を段階的に再開することができました。

在宅ケア多機能センターでは、運営推進会議などを活用し、参加できる地域の行事などには参加させていただきました。

ケアプランセンターでは、地域包括支援センターと連携・協力し、地域で暮らす要介護者などの在宅生活の相談支援を総合的に行いました。

心身障害者センターでは、活動見学会や施設見学バスツアーの実施等、事業のPRの機会を増やしたことにより、各事業において安定した利用者数を維持することができました。

かみよん工房では、就労を希望する利用者に対しては、目黒障害者就労支援センターと連携し、職場体験・実習・職業評価の機会を作りました。

大橋えのき園では、自主生産品を区役所、地域のお祭り、学園祭等で販売しました。販売を通して幅広い世代方々へ当施設について紹介する機会が持てました。

下目黒福祉工房では、施設のホームページを見直し、「最新ニュース」ではトピックスを適宜発信したほか「活動紹介」「しもめの新ブランド RE*BORN」等の情報を掲載するなど施設運営の透明性を高めました。

みどりハイムでは、区内在住の1歳6か月未満児の母親を対象として、保育付きの「ママのためのヨガ教室」を、区内主任児童委員の協力を得て、なかめぐろホームの地域交流スペースにて2回開催しました。

西部包括支援センターでは、商店街、マンション集合住宅への訪問も積極的に行ない、マンション・集合住宅懇談会の開催や多職種連携会議を開催するなど住民に寄添った支援体制を構築しました。

3 質の高いサービスを安定的に提供できる人材の確保・定着・育成

慢性的な介護人材不足に対応するため、介護人材確保PTを継続し、新卒等の職員の確保に努めました。若手介護士を中心とした採用チームにより、インスタグラム等のSNSを活用した情報発信、Webイベントへの出展を継続して行うとともに、対面型のイベントへの出展などの採用活動にも取り組みました。

就活生向け説明会、大学3年生以下向けの職場体験会等を実施し、新卒からの応募獲得に努め、新卒内定者に対してはWeb形式による内定者懇親会を行い、人材確保につなげました。

中途採用においても、施設見学の再開、遠隔地からの応募に対応するWeb面接の導入など応募者の要望を踏まえて対応し、応募者獲得、採用につなげました。

多様な働き方に呼応するため業務や勤務時間等を限定した正規職員（サービス専門職B）を採用しました。

上記の結果、令和7年4月1日付け採用者は新卒者6名を含め21名となりました。

なお、安定した人材確保に向け海外人材を積極的に採用することとし、特定技能（介護）ビザでの就労希望者を取扱う事業者を活用した取組みを本格的に開始しました。

4 効率的で安定した事業運営と法人の経営基盤の強化

令和6年3月に改定した第三次経営計画に基づき収支改善の取り組みを行いました。

収入面では、利用率の向上に取り組み、特養ホームにおいては、利用者の逝去等による退所発生後から新規入所者受け入れまでに生じる空床期間の更なる短縮を図るほか、居宅介護支援事業所と連携した緊急ショートステイの積極的受け入れ等を行いました。

認知症デイサービス等では、居宅介護支援事業所等の関係機関に対し、毎月の空き情報等の提供及び定期的な訪問を重ねるなどPR活動を行い、新規利用者を獲得する等の取り組みを行いました。

また、指定管理料のうち、臨時経費として算定されていた業務委託費高騰分を区との協議により既定化し財務の安定化を図りました。

支出面では、職員配置の見直しによる役職者及び介護士（契約職員）数の減員を行った他、多様な働き方に対応する限定正社員の採用等を行い、人件費を縮減しました。

令和6年度から運営を開始した知的障害者グループホーム「目黒区立のぞみ寮」は、事業拡大による経営基盤の強化に寄与しました。

◎ 新型コロナの発生状況等

新型コロナにつきましては、当法人でも令和2年4月の発生以来、目黒区をはじめとする各関係機関との連携、支援を受け感染予防に努めてきました。

同感染症の取り扱いは、令和5年5月からインフルエンザ等と同様の「第5類」へ移行となりましたが、重度化リスクを抱える方が多く利用されている当法人の各施設では感染予防対策を継続しました。

なお、高齢施設での利用者へのご家族の面会等については、ご家族からの要望等もあり、感染拡大の状況等により段階的に緩和しています。

< 年度別感染者数 >

令和2年4月1日からの発生から令和7年3月末までの感染者数は下表のとおりです。

年度別		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	合計
区分	利用者	14	38	150	93	151	446
	職員	8	44	139	112	72	375
障害施設	利用者	0	15	37	10	26	88
	職員	2	15	32	21	16	86
合計	利用者	14	53	187	103	177	534
	職員	10	59	171	133	88	461

Ⅱ 法人運営

第1 法人組織

1 法人登記

(1) 設 立 平成元年 10 月 2 日

(2) 資産総額 1,579,873,585 円 (令和 6 年 3 月 31 日変更登記現在)

2 理事会・評議員会

(法人 表 1) 理事・評議員の構成 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

区分	定数	現員	欠員
理事	6～10	8	0
監事	2	2	0
評議員	7～11	9	0

(法人 表 2) 役員名簿 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
理事長	鈴木 勝	令和 3 年 10 月 19 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	元目黒区副区長
常務理事	中野 愉界	令和 6 年 4 月 1 日	令和 6 年 4 月 1 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉事業団事務局長
理事	森 葉子	平成 23 年 10 月 4 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	弁護士 (目黒区法曹会幹事)
理事	長崎 隆	令和 3 年 10 月 19 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉協議会事務局長
理事	松崎 ひろ子	令和元年 6 月 11 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	民生児童委員 (目黒区民生児童委員協議会会長)
理事	渡邊 英章	令和 3 年 8 月 31 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	医師 ((一社)目黒区医師会会長)
理事	坂本 勝則	令和 5 年 6 月 26 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉事業団ひがしがおかホーム施設長
理事	白濱 利一	令和 3 年 4 月 1 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(福)目黒区社会福祉事業団心身障害者センター施設長
監事	足立 武士	令和 5 年 6 月 26 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	(公財)目黒区勤労者サービスセンター事務局長
監事	石橋 一	平成 29 年 6 月 12 日	令和 5 年 6 月 26 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	税理士

(法人 表 3) 評議員名簿 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
石渡 和実	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	東洋英和女学院大学名誉教授
澤 節子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	元保健所長
井手 俊文	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	目黒区町会連合会常任理事
山田 秀昭	令和 3 年 6 月 22 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	元目黒区住区住民会議連絡協議会委員

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	職業等
東川 邦昭	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	目黒区民生児童委員協議会 南部第 2 地区民生児童委員協議会会長
脇山 博之	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	目黒区医師会副会長
吉田 敏英	令和元年 10 月 21 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	目黒区歯科医師会会長
小林 富佐子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	東京商工会議所目黒支部副会長
白鳥 千恵子	平成 29 年 4 月 1 日	令和 3 年 6 月 22 日	令和 7 年度の定時評議員会終結の時	元(福)目黒区社会福祉事業団心身障害者センター施設長

(法人 表 4) 運営協議会委員名簿 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

氏名	就任年月日	現就任年月日	任期終了年月日	所属団体等
坂元 達也	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	芳窪町会副会長
中井 澄子	令和元年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	東山三丁目自治会副会長
高津 肇	平成 29 年 9 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	中目黒五丁目町会会長
小林 雅子	平成 29 年 9 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	八雲町会副会長
佐熊 とよ子	平成 29 年 9 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	上四町会会長
辻 弘	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	駒場町会副会長
二ノ宮 啓吉	平成 30 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	不動前町会会長
木村 秀利	平成 29 年 9 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	下二南町会副会長
濱野 眞理	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	高齢者施設利用者家族
大辻 嘉代子	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	障害者施設利用者家族
大島 良子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	施設ボランティア
高島 尚子	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
坂元 悠紀	令和 6 年 12 月 23 日	令和 6 年 12 月 23 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
佐藤 豊	令和 6 年 7 月 1 日	令和 6 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
後藤 幸子	令和 6 年 7 月 1 日	令和 6 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区議会議員
百瀬 聡	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	北部第 1 地区民生児童委員協議会会長
打越 優子	令和 5 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	東部第 2 地区民生児童委員協議会会長
久保 ミヨ子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区竹の子クラブ連合会女性部長
岸井 泰子	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区障害者団体懇話会会計
深山 キクエ	令和 3 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区女性団体連絡会会員
土方 公久	令和 4 年 7 月 1 日	令和 5 年 7 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日	目黒区職員労働組合執行委員長

(概要 表 1-5) かみよん工房

施設名称	目黒区立かみよん工房
所在地	目黒区上目黒 4-1-26
敷地面積	423.10 m ²
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 3 階地下 1 階・796.88 m ²
利用定員	40 人
受託年月日	平成 6 年 7 月 1 日（法内施設平成 8 年 8 月 1 日）

(概要 表 1-6) 大橋えのき園

施設名称	目黒区立大橋えのき園
所在地	目黒区大橋 2-19-38
敷地面積	1,141.37 m ²
建物・床面積	鉄筋コンクリート・一部鉄骨鉄筋コンクリート造地上 6 階地下 1 階の内 1 階の一部及び 2 階・大橋えのき園部分 1,040.64 m ²
利用定員	生活介護：57 人 日中一時：10 人
受託年月日	平成 9 年 4 月 1 日（開設平成 9 年 5 月 1 日）

(概要 表 1-7) 下目黒福祉工房

施設名称	目黒区立下目黒福祉工房
所在地	目黒区下目黒 3-10-2
敷地面積	645.4 m ²
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 3 階塔屋付・895.54 m ²
利用定員	就労(B)：40 人 日中一時：10 人
受託年月日	平成 30 年 4 月 1 日（開設昭和 63 年 5 月）

(概要 表 1-8) のぞみ寮

施設名称	目黒区立のぞみ寮
所在地	目黒区目黒 3-4-4
敷地面積	田道保育園・田道ハイムに併設
建物・床面積	鉄筋コンクリート造地上 3 階地下 1 階の内 3 階の一部・のぞみ寮部分 401.59 m ²
利用定員	共同生活援助：6 人 短期入所：1 人
受託年月日	令和 6 年 4 月 1 日（開設平成 6 年 6 月 1 日）

(概要 表 1-9) みどりハイム

施設名称	目黒区みどりハイム
敷地面積	1,395.24 m ² （隣接の公園含む）
建物・床面積	鉄筋コンクリート 5 階建て・1,594.61 m ²
利用定員	20 世帯 60 人
受託年月日	平成 2 年 4 月 1 日（移転平成 17 年 4 月 1 日）

(概要 表 1-10) 西部地域包括支援センター

施設名称	目黒区西部包括支援センター
所在地	目黒区柿の木坂 1-28-10
床面積	70.2 m ²
受託年月日	平成 18 年 4 月 1 日

第3 総務部

総務部は、理事会及び評議員会等の開催等法人運営に関する事務のほか、各施設の小口現金管理を除く経理処理を一括して行うとともに、法人全体の財務、人事、給与及び健康管理等の管理業務を行いました。

また、各施設の事務処理について、施設から支援・応援要請があったものへの対応を行いました。

1 令和6年度の重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 収支計画に基づき、財務運営の自立化を進めていきます	・改定後の第三次経営計画の収支計画に基づき、令和6年度から財務運営の自立化に向けた各取り組みを開始しました。 ・事業収益の確保に向けては、各施設、事業の利用率の段階的な向上による事業収入の増を図り、又組織、人員配置の見直し等により人件費を縮減するなど収支改善に取り組みました。 ・上記の取り組みについては、年度単位で段階的に行うことから、区からの本部運営補助金（退職手当分を含む。）及び施設運営に係る指定管理料は、事業収益の確保計画と連動させる必要があるため、区と協議した実施時期、額等に基づき令和7年度予算編成を行いました。
(2) 事業収益による本部運営への転換を図っていきます	
(3) 将来の退職手当支払いに必要な資金を確保していきます	
(4) 業務内容に応じた適正な人員配置に努めます。	財務基盤の安定化に向けて改定した「第三次経営計画」の内容に基づき、令和6年度から、組織体制をより効率、効果的な組織とするため、経営本部制の廃止や副施設長の新設など新組織体制に移行し、事業の円滑な運営に努めました。
(5) 区立特別養護老人ホームの運営において、収入の確保と経費の縮減を計画的に行っていきます	令和6年度以降はコロナ禍以前の利用率に早急に回復させ、段階的な利用率の向上を図るとともに、経費縮減に向けた職員配置、委託経費の見直しを行いました。また、指定管理料についても、必要経費について区と協議の上再算定するなど安定した事業運営に取り組みしました。
(6) 「目黒区立のぞみ寮」の円滑な事業開始及び安定的な運営を支援します	令和6年4月から新たな指定管理者として運営を開始した「のぞみ寮」について、円滑な立ち上げ及び安定した運営の実現に向け支援しました。
(7) 地域包括支援センター事業委託事業者の公募への応募を積極的に行います	西部地域包括支援センターの委託期間が令和6年度で終了となることに伴い、次期（令和7～11年度）委託事業者の公募が実施されましたが、同センターの受託継続に向け同センターと連携して応募準備を行い、応募した結果、所定の審査を経て次期委託事業者に選定されました。
(8) 介護人材の確保に努めます	・人材確保PTを継続し、若年層の人材確保に努めました。インスタグラム等のSNSを活用した情報発信の継続や就職サイト、フェアへの出展等広報活動も積極的に実施しました。対面式の就職フェア等では就活生及び求職者と直接会うことができ、画面越しでは伝え難い熱意をPRしました。 ・遠距離の応募者にも対応できるWEB説明会や面接

	を継続しました。 ・介護に従事する海外人材を計画的に採用するため、特定技能（介護）ビザでの就労希望者を取扱う事業者を活用した取組みを開始しました。 ・さんホーム目黒においては、東京都や目黒区の「介護職員宿舎借上げ支援事業」を活用し、職員が賃貸住宅に住む際の支援を行いました。 ・東京都の居住支援特別手当事業補助金を活用し、一定時間以上福祉事業に直接従事する職員に対し「居住支援特別手当」を創設し、支給を開始しました。
(9) 職員の定着・育成に努めます	・新卒や未経験者でも安心して仕事に従事できるよう、初任者・実務者研修の受講を実施しました。新規採用職員には、配属後、個々の能力に応じたOJTを行いました。 ・職層研修は、職員の職層や経験のほか年齢等に応じたプログラムを選定し、受講者のモチベーションアップや能力の向上を目指しました。新型コロナ流行以降、オンライン又は対面形式の併用による実施を継続し、能力向上等の他、他団体・他企業との交流の機会を創出しました。
(10) ストレスコントロール、腰痛防止など職員の心身の健康管理に努めます	・労働安全衛生法に基づきストレスチェックを実施しました。職員にストレスへの気づきを促すとともに、変化のあった職員に対し、産業医との連携を行い、面談の機会を設けるなど、職員のメンタルヘルス不調の未然防止に努めました。 ・定期健診や腰痛健診を実施し、疾病の早期発見、症状の悪化防止に努めました。
(11) ホームページの活用等、情報を可能な限り提供し、タイムリーな情報の発信を行います	・職員募集や採用活動に関して、ホームページから募集サイトやインスタグラムを直接見に行けるようにするなどタイムリーな情報提供に努めました。 ・各施設で実施した行事の様子や施設発行の新聞、月間献立表や各種予定表など、都度情報を掲載し発信しました。
(12) 新型コロナの取り扱いが変更されることに伴う影響を検討し、適切な対応を行います	利用者の皆様が安心して利用出来るよう引き続き予防対策の徹底を図るとともに、面会の段階的解除など状況を見ながら適切な対応に努めました。
(13) 法人の経営状況・財務状況を正確に把握し、透明性の高い財務管理を行います	計算書類の作成を正確かつ迅速に行い、各事業別の経営状況等を的確に把握し、適正な財務管理を行いました。また、経営会議における収支報告を継続し、適切に予算・実績の管理を行い、財務規律の確保に努めました。

2 運営管理

(1) 理事会・評議員会等

理事会・評議員会及び運営協議会を次のとおり開催しました。

(総務 表 1-1) 理事会の開催状況

回	開催年月日	議案等	
1	令和 6 年 6 月 5 日	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号	令和 5 年度事業報告 令和 5 年度決算報告 定款の変更 定款細則の変更 内部通報に関する規程の一部改正 役員等賠償責任保険契約について 評議員会の招集
2	令和 6 年 10 月 8 日	議案第 8 号 議案第 9 号 報告事項	令和 6 年度補正予算 (第 1 号) 評議員会の招集 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 令和 6 年度施設別利用実績中間報告
3	令和 7 年 3 月 11 日	議案第 10 号 議案第 11 号 議案第 12 号 議案第 13 号 議案第 14 号 議案第 15 号 議案第 16 号 報告事項	令和 6 年度補正予算 (第 2 号) 令和 7 年度事業計画 令和 7 年度予算 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正 評議員選任・解任委員会細則の一部改正 内部管理体制の基本方針の一部改正 評議員会の招集 理事長及び常務理事の職務執行状況等報告 令和 6 年度施設別利用実績中間報告
4	決議の省略 (決議があったものとみなされた日 令和 7 年 3 月 28 日)	議案第 17 号～21 号	施設長の任命

(総務 表 1-2) 評議員会の開催状況

回	開催年月日	議案等	
1	令和 6 年 6 月 25 日 (定時評議員会)	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号	令和 5 年度事業報告 令和 5 年度決算報告 定款の変更
2	令和 6 年 10 月 28 日	議案第 4 号 報告事項	令和 6 年度補正予算 (第 1 号) 令和 6 年度施設別利用実績中間報告
3	令和 7 年 3 月 21 日	議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 報告事項	令和 6 年度補正予算 (第 2 号) 令和 7 年度事業計画 令和 7 年度予算 令和 6 年度施設別利用実績中間報告

(総務 表 1-3) 運営協議会の開催状況

回	開催年月日	内容
1	令和 6 年 7 月 19 日	令和 5 年度の事業報告及び令和 6 年度事業計画、意見交換
2	令和 7 年 2 月 5 日	令和 6 年度の事業実施状況と令和 7 年度の予定、意見交換

(2) 監事監査

(総務 表 2) 監事監査の状況

開催年月日	内容
令和 6 年 5 月 21 日・24 日	・令和 5 年度事業に関する事項及び理事の職務執行の状況 ・令和 5 年度決算に関する事項（会計監査人の会計監査報告）

(3) 会議

事業運営の一体性を確保し施設間相互の調整等円滑な事業執行を図るため経営会議を月 1 回定例で開催するとともに、臨時経営会議を随時開催しました。

(4) 経理

本部に集中化した会計処理については、取り扱いの共通化や本部と施設の連携の取り組みを継続し、効率的に処理を行いました。

また、高齢者施設における利用料金の収納に伴う請求書、領収書の作成、発送等を行いました。

3 職員育成・管理

(1) 研修（職層研修）

事業団職員として、共通的に求められる職務遂行上必要な知識、能力の向上、また、人事考課制度の精度向上及び定着化を図るため、毎年、下表の職層研修及び人事考課研修を外部委託して実施しています。実施に際しては開催状況に合わせてオンライン又は対面形式で受講しました。

(総務 表 3) 研修実施状況

研修名	内容	対象
新人職員研修	経営理念並びに事業団職員の役割及び組織人としての在り方	新規採用者 前年度中途採用者
入社 2 年目研修	被考課者研修 ビジネスマナー研修	採用 2 年目及び 2 年目研修 未受講者
総合職転換研修	仕事の進め方研修	総合職転換者
中堅職員研修	中堅職員の能力向上研修 主体性の発揮 キャリアデザイン研修（30 代 40 代 50 代向け） 中堅職員向けオーナーシップ研修 問題解決研修	サービス専門職 4 年目 総合職一般 4 年目 サービス専門職 7 年目 総合職一般 7 年目 サービス専門職 9 年目
指導職研修	OJT 指導者研修 組織のタイムマネジメント研修 コーチング研修 現場マネージャー研修	指導職 2 級昇格者 指導職 2 級 5 年目 指導職 1 級昇格者 指導職 1 級 3 年目
管理職研修	管理職向け課題整理研修	管理職 2 級 3 年目

(2) 職員の福利厚生（健康診断）

(総務 表 4) 健康診断実施状況

種別	対象者	実施時期
定期健康診断	全職員	6 月
婦人科健診	女性職員	8 月～11 月
夜勤者健康診断	夜勤に従事している職員	12 月
腰痛健診	介護士・生活支援員	6 月、12 月
ストレスチェック	週 30 時間以上勤務の全職員	8 月

(3) 職員の採用・退職状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（総務 表5）採用・退職状況（人数）

職種 区分別		介護士	看護師 保健師	生活 支援員	PT OT ST	包括	幹部	その他	計
採用	正規	24	8	15	0	4	1	9	61
	契約	0	3	2	0	0	0	2	7
退職	正規	24	4	4	0	2	1	9	44
	契約	1	3	2	1	1	0	3	11

4 介護・福祉人材育成事業

今年度の研修事業は、オンライン(Zoom)による開催のほか、実技を対面型にて開催し、予定どおり実施することができました。

また、これまでの参加者アンケート等を活用し、地域で活動する介護職員のニーズに合う研修事業を実施しました。

(1) 研修事業

区内介護事業所の職員を対象に、「介護職員のためのスキルアップ研修」を11回開催しました。

研修の主な内容としては、介護記録の記載方法や緊急時における対応等、介護職員として必要となる知識について学ぶものをテーマに実施しました。

(2) 介護職員相談事業

区内介護事業所の職員を対象に、介護技術に関する内容や職場での悩みなどの相談を受ける相談事業を実施しました。相談受付は、毎週水曜日午後の電話受付と併せ、メールやFAXでも随時受け付けています。なお、令和6年度は3件の相談がありました。

Ⅲ 施設の事業概要

第1 特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム（以下、「特養」という。）は、介護保険法に基づく指定介護老人福祉施設として施設サービスを提供するとともに、指定短期入所生活介護事業を行いました。

新型コロナの感染予防対策は、継続して実施しました。

ご家族の面会、各活動等については、状況に応じて段階的に制限を緩和しました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 利用者の人権を守るため、チームによる介護・相談・支援を徹底します	職員が介護困難な場面に遭遇した際、チームで対応、解決ができるよう、各施設の状況に応じ、外部研修や施設内研修を通して、指導職員のスキルアップに取り組みました。
(2) 地域交流スペースを有効活用し、地域に開かれた施設づくりに取り組みます	・ コロナ禍により休止、縮小していた手ぬぐい体操、地域交流サロン等での活動を再開しました。 ・ ボランティアの受入れ、近隣幼稚園・保育園の園児との交流等を段階的に再開することができました。
(3) 大規模災害時に計画に基づいて行動できるように継続して取り組みます	・ 「大規模災害対策計画」及び「新型コロナウイルス感染症等対応業務継続計画」に基づき、大規模災害発生時の机上訓練、感染症発生時のガウンテクニック等の訓練を実施しました。 ・ 大規模災害等発生時の行動マニュアル作成に向け、発生パターンの想定から状況に応じた初動、事業継続方法の検討を開始しました。次年度の完成に向け検討を継続していきます。
(4) 区立特別養護老人ホームの運営において、収入の確保と経費の縮減を計画的に行っていきます	・ 収入増加に向け利用率の向上に努めましたが、年度当初に新型コロナの集団感染が発生した影響等により目標利用率は達成できませんでした。 ・ 委託経費等についても見直しを行いましたが、物価高騰等により経費縮減までには至りませんでした。 ・ 職員配置については、働き方の希望に応じた「限定正社員」の積極的な活用に努めました。
(5) 質の高いサービスを安定的に提供できる人材の定着と育成に努めます	・ 人材の定着を目指し、衛生委員会の開催、定期的な産業医との面談等により、職員の心身の健康状態を把握し働きやすい環境づくりに努めました。 ・ 職員個々のスキルに応じたOJTを実施しましたが、採用時期の違いや実施数の偏りが生じたため、実施方法等の見直しが次期への課題となりました。

（特養 表1）利用率（％）

施設別 年度別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
令和6年度	94.0 (94.5)	96.2	91.7 (92.5)	96.3	91.0 (93.3)	98.4	94.5 (94.8)	98.6
令和5年度	94.1 (94.9)	98.4	93.4 (93.8)	97.8	90.2 (91.6)	99.8	85.7 (85.7)	97.0
令和4年度	91.6 (92.5)	93.2	92.9 (93.5)	89.4	60.9 (60.9)	56.1	89.9 (90.0)	92.7

注1) () は短期入所の空床利用を含む利用率

注2) 中目黒：建物改修のため、令和4年度は3月（1か月間）の実績

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

(1) 東が丘

改善事項	具体的な取り組みと結果
家族も参加できる行事や活動を実施し、家族・ボランティアを受け入れます	・年間行事の秋祭り、花火大会、望年会、新年会の開催日を土曜日に変更し、利用者と家族が参加して一緒に楽しめるようにしました。その他行事についても、面会時間の拡大と同じく参加してもらえるよう周知しました。 ・生活の中で楽しみとなるよう、行事に特技ボランティアの方を受け入れました。
施設見学の対応を土日祝も含め、随時対応できる体制を整えます	・特養及びショートステイの施設見学については、平日は随時受付、土日祝日は事前に連絡をもらい、時間調整することで対応を拡充しました。全体で45件、土日祝日に11件と、情報を希望している家族に施設見学と説明を行い、安心して施設選択できるよう体制を整えました。

(2) 東山

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者に楽しく生活していただけるよう支援します	・コロナ禍の影響により行事やレクリエーションは規模を縮小して職員が行っていましたが、今年度は毎月1回のコーラスクラブを再開し、敬老会などの行事には地域のボランティアの方に踊りを披露していただくなど、コロナ禍以前の活動にできるだけ戻すよう取り組みました。
地域との繋がりや外部の方と触れ合える機会をつくれます	・感染症予防対策を講じながら、地域のお祭りに参加したり、地域交流サロンにも参加していただくよう取り組みました。 ・ご家族等の面会の制限を解除し、行事への参加を呼びかけました。

(3) 中目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者が「大事にされている」と感じて生活できるようにします	・「人権・サービス評価表」で毎月サービス提供状況を確認し、課題がある場合はサービス向上委員会及びフロア会議で検討し改善しました。 ・サービス向上委員会で「接遇について」のアンケートを介護士に行い、アンケート結果をもとに啓発活動に取り組みました。 ・「虐待の芽チェックシート」を介護、看護、事務職員に実施し、集計結果を回覧しました。課題については文書で啓発を行いました。
利用者が楽しく生活できるような取り組みを行っていきます	・やりたいこと、楽しめることをケアプランに反映する取り組みを開始しました。モニタリングを実施し、継続的に実施できるように取り組んでいきます。 ・保育園交流、コーラスクラブ、演奏会、朗読クラブ等を段階的に再開しました。 ・アウトリーチ演奏会、敬老会、望年会での行事、お話（傾聴）等のボランティアを受け入れ、楽しみの場面を作ることができました。

(4) さんホーム目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
ユニットケアの特性を活かし、小さな単位での個別ケアに取り組みます	・ユニットリーダー研修（実地）に3名、学科と実地研修に1名、ユニットケア管理者研修に2名を参加させました。 ・上記研修参加職員による伝達研修を2回実施し、個別ケアの充実に取り組みました。

改善事項	具体的な取り組みと結果
ご家族等および地域とのつながりが深まるよう取り組みます	・感染症に配慮しつつ面会時間や方法を徐々に緩和しました。 ・地域交流の一環である会食サービスの希望者が増え多くの高齢者にご利用いただきました。 ・地域住民向けに「地域いきいきセミナー」を2回、介護の日には施設見学会を開催しました。 ・ボランティアの募集を再開し、秋祭りのイベントやフルートの演奏、ガーデニングや植木の手入れ、傾聴活動などのボランティアなど徐々に件数が増えました。

3 特養のサービス

介護保険法に基づく指定介護老人福祉施設として、令和6年度事業計画に沿って施設サービスを提供しました。

(特養 表2) 入退所状況及び利用状況

〔東が丘〕 定員：100人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	3	3	2	4	1	2	4	2	2	3	2	30
退所者数	2	2	2	3	2	5	3	0	1	4	2	2	28
理由	死亡	2	1	1	2	1	4	1	0	1	2	2	19
	長期入院	0	1	1	1	1	0	0	0	2	0	0	7
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者数	96	97	97	97	99	95	94	98	99	97	98	98	
延利用可能床数	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,800	3,100	36,500
特養利用床数	2,834	2,879	2,869	2,919	2,929	2,799	2,864	2,737	2,947	2,917	2,697	2,902	34,293
利用率(%)	94.5	92.9	95.6	94.2	94.5	93.3	92.4	91.2	95.1	94.1	96.3	93.6	94.0
空床利用数	11	23	13	9	0	42	34	60	0	4	0	0	196
延利用床数	2,845	2,902	2,882	2,928	2,929	2,841	2,898	2,797	2,947	2,921	2,697	2,902	34,489
空床利用を含む利用率(%)	94.8	93.6	96.1	94.5	94.5	94.7	93.5	93.2	95.1	94.2	96.3	93.6	94.5

〔東山〕 定員：130人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	3	2	2	6	4	2	6	6	4	2	1	3	41
退所者数	2	7	4	4	3	3	5	2	5	0	3	5	43
理由	死亡	2	5	3	3	2	3	4	1	4	0	3	33
	長期入院	0	2	1	1	1	0	1	0	1	0	2	9
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
月末利用者数	129	124	122	125	125	124	125	129	128	130	128	126	
延利用可能床数	3,900	4,030	3,900	4,030	4,030	3,900	4,030	3,900	4,030	4,030	3,640	4,030	47,450
特養利用床数	3,639	3,388	3,308	3,574	3,672	3,563	3,675	3,676	3,871	3,826	3,489	3,827	43,508
利用率(%)	93.3	84.1	84.8	88.7	91.1	91.4	91.2	94.3	96.1	94.9	95.9	95.0	91.7
空床利用数	16	0	57	100	99	63	14	0	0	5	18	8	380
延利用床数	3,655	3,388	3,365	3,674	3,771	3,626	3,689	3,676	3,871	3,831	3,507	3,835	43,888
空床利用を含む利用率(%)	93.7	84.1	86.3	91.2	93.6	93.0	91.5	94.3	96.1	95.1	96.3	95.2	92.5

〔中目黒〕 定員：55 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規入所者数	2	6	1	2	2	3	0	0	0	1	0	2	19
退所者数	5	3	1	0	3	0	0	1	0	0	2	1	16
理由	死亡	4	3	1	0	1	0	0	1	0	0	1	12
	長期入院	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
月末利用者数	48	51	51	53	52	55	55	54	54	55	53	54	
延利用可能床数	1,650	1,705	1,650	1,705	1,705	1,650	1,705	1,650	1,705	1,705	1,540	1,705	20,075
特養利用床数	1,358	1,445	1,444	1,528	1,520	1,516	1,605	1,588	1,569	1,570	1,458	1,663	18,264
利用率（％）	82.3	84.8	87.5	89.6	89.1	91.9	94.1	96.2	92.0	92.1	94.7	97.5	91.0
空床利用数	26	0	37	62	72	0	8	43	63	62	41	46	460
延利用床数	1,384	1,445	1,481	1,590	1,592	1,516	1,613	1,631	1,632	1,632	1,499	1,709	18,724
空床利用を含む利用率（％）	83.9	84.8	89.8	93.3	93.4	91.9	94.6	98.8	95.7	95.7	97.3	100.2	93.3

〔さんホーム目黒〕 定員：96 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規入所者数	4	1	1	1	3	2	2	0	1	2	1	2	20
退所者数	2	3	1	2	1	1	1	1	1	2	1	0	16
理由	死亡	2	3	1	1	1	1	1	1	1	0	0	13
	長期入院	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3
	他施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末利用者数	94	92	92	91	93	94	95	94	94	94	94	96	
延利用可能床数	2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,880	2,976	2,880	2,976	2,976	2,688	2,976	35,040
特養利用床数	2,703	2,836	2,652	2,751	2,783	2,767	2,781	2,694	2,850	2,815	2,588	2,905	33,125
利用率（％）	93.9	95.3	92.1	92.4	93.5	96.1	93.4	93.5	95.8	94.6	96.3	97.6	94.5
空床利用数	0	0	35	23	33	0	0	0	2	0	4	0	97
延利用床数	2,703	2,836	2,687	2,774	2,816	2,767	2,781	2,694	2,852	2,815	2,592	2,905	33,222
空床利用を含む利用率（％）	93.9	95.3	93.3	93.2	94.6	96.1	93.4	93.5	95.8	94.6	96.4	97.6	94.8

注 1) 延利用可能床数：定員×各月の日数

注 2) 特養利用床数：各月の特養利用者延べ数

注 3) 利用率（％）：特養利用床数÷延利用可能床数×100

注 4) 空床利用数：特養利用者の入院等による空きベッドを短期入所として活用した数

注 5) 延利用床数：特養利用床数＋空床利用数

注 6) 空床利用を含む利用率（％）：延利用床数÷延利用可能床数×100

（特養 表 3）平均入所期間

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和 6 年度	3 年 5 月	3 年 1 月	0 年 8 月	2 年 0 月
令和 5 年度	3 年 2 月	3 年 2 月	0 年 10 月	1 年 5 月
令和 4 年度	3 年 2 月	3 年 6 月	0 年 11 月	1 年 1 月

注 1) 中目黒：令和 4 年度は、令和 5 年 3 月の事業再開後の実績（さんホーム目黒からの
帰所者は新規入所者として算出）

(1) 入所前の事前説明

入所後安心した生活ができるように、入所に際して、施設が提供できるサービス内容及びサービス提供体制等説明を行いました。

(2) 施設サービス計画の立案

介護支援専門員とサービス提供職員が連携し、利用者個々の心身の状態に応じた自立支援と生活の質の向上の観点から、本人の要望、課題、目標、サービス内容と達成時期を設定した施設サービス計画原案を作成し、各専門職が参加するサービス担当者会議において施設サービス計画を決定しました。

施設サービス計画について利用者と家族等に説明し、同意を受けサービスを提供し、サービス提供後にはモニタリング(評価)を実施しました。退院時や利用者の状況に変化があった場合は、随時、計画を見直しました。

(3) 介護

介護にあたっては人権に配慮し、施設サービス計画に沿って、入浴・排泄・食事・移動等の必要なサービスを提供しました。自立支援の観点から、利用者で行える行為は利用者自身が行うように支援し、残存能力の維持回復に努めました。

① 入浴の介護

プライバシーや同性介助に十分配慮し、利用者の状態に応じて、個々の施設サービス計画に基づき週2回以上の入浴サービスを提供しました。

② 排泄の介護

プライバシーや同性介助に十分配慮し、利用者の状態に応じて、個々の施設サービス計画に基づき排泄ケアを実施しました。

③ 食事の介護

利用者の嚥下能力に応じて、安全に自立して食事ができるように、個々の施設サービス計画に基づき食事の援助を実施しました。

管理栄養士が定期的に開催する食事懇談会や、個別に聞き取った利用者の嗜好に関する情報を献立に反映させ、季節感があり楽しめる変化に富んだ食事づくりを心がけました。

行事食に加え、イベント食や選択食の日を設けるなど、利用者の食生活の充実を図りました。

(特養 表 4) 利用者の要介護状態区分 (令和7年3月31日現在)

施設別 介護区分	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
要介護1	0	0.0	5	4.0	0	0.0	4	4.2
要介護2	1	1.0	4	3.2	1	1.9	6	6.2
要介護3	6	6.1	21	16.7	4	7.4	25	26.0
要介護4	50	51.0	44	34.9	22	40.7	38	39.6
要介護5	41	41.9	52	41.2	27	50.0	23	24.0
合計	98	100.0	126	100.0	54	100.0	96	100.0

(特養 表 5) 利用者平均介護度の推移 (令和7年3月31日現在)

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和6年度	4.3	4.0	4.4	3.7
令和5年度	4.3	4.1	4.3	3.7
令和4年度	4.4	4.3	4.3	3.9

(特養 表 6) 利用者の年齢構成 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設別 年齢層別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	男	女	男	女	男	女	男	女
60～64 歳	0	0	2	0	0	0	0	0
65～69 歳	0	0	1	0	0	0	2	0
70～74 歳	0	1	1	0	0	1	1	2
75～79 歳	2	3	3	3	1	1	3	3
80～84 歳	7	8	7	17	0	4	4	7
85～89 歳	7	12	5	29	6	13	7	16
90～94 歳	4	26	6	25	4	18	4	24
95～99 歳	0	17	2	17	0	6	0	18
100 歳～	0	11	0	8	0	0	0	5
合 計	20	78	27	99	11	43	21	75
最低年齢	75	74	60	77	77	73	68	70
最高年齢	93	105	96	103	93	98	92	104
平均年齢	85.1	92.2	84.0	90.0	88.0	89.0	83.0	91.0
	90.7		89.0		89.1		89.0	

注 1) 平均年齢は小数点第 2 位四捨五入

(特養 表 7) 入退所者数の推移 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設別 年度別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入 所	退所
令和 6 年度	30	28 (19)	41	43 (32)	19	16 (12)	20	16 (13)
令和 5 年度	26	28 (20)	40	41 (33)	28	22 (18)	43	21 (15)
令和 4 年度	34	31 (22)	46	44 (37)	46	1 (1)	29	55 (25)

注 1) () 内は死亡退所者数で内数

注 2) 中目黒：令和 4 年度入所者数には、事業再開に伴うさんホーム目黒からの帰所者を含む

注 3) 中目黒：建物改修のため、令和 4 年度は 3 月 (1 か月間) の実績

注 4) さんホーム目黒：令和 4 年度の退所者数には、中目黒への帰所者を含む

(特養 表 8) 利用者の日常生活動作等の状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設別 区分・状況		東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
食事 介助	自立	38	38.8	67	53.2	24	44.5	22	22.9
	一部介助	23	23.5	26	20.6	18	33.3	57	59.4
	全介助 (経管栄養含む)	37	37.7	33	26.2	12	22.2	17	17.7
口 腔 ケ ア	自立	9	9.2	30	23.8	8	14.8	13	13.5
	一部介助	51	52.0	44	34.9	29	53.7	58	60.5
	全介助	38	38.8	52	41.3	17	31.5	25	26.0
入 浴 介 助	自立	2	2.1	1	0.8	0	0.0	0	0.0
	一部介助	37	37.7	34	27	28	51.9	51	53.1
	全介助	59	60.2	91	72.2	26	48.1	45	46.9

区分・状況		施設別		東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
入浴方法	一般浴	4	4.1	14	11.1	2	3.7	7	7.3		
	機械浴	49	50.0	64	50.8	21	38.9	11	11.5		
	リフト浴	45	45.9	48	38.1	31	57.4	78	81.2		
体位交換	自立	28	28.6	51	40.5	20	37.1	38	39.6		
	一部介助	34	34.7	13	10.3	18	33.3	33	34.4		
	全介助	36	36.7	62	49.2	16	29.6	25	26.0		
移乗介助	自立	7	7.1	18	14.3	4	7.4	9	9.4		
	一部介助	39	39.8	35	27.8	25	46.3	57	59.4		
	全介助	52	53.1	73	57.9	25	46.3	30	31.2		
	内 リフト使用者	(35)	(35.7)	(44)	(34.9)	(18)	(33.3)	(4)	(4.2)		
着脱介助	自立	1	1.0	8	6.3	3	5.5	4	4.2		
	一部介助	37	37.7	51	40.5	30	55.6	59	61.4		
	全介助	60	61.3	67	53.2	21	38.9	33	34.4		
排泄介助	自立	3	3.1	13	10.3	4	7.4	7	7.3		
	一部介助	20	20.4	47	37.3	23	42.6	50	52.1		
	全介助	75	76.5	66	52.4	27	50	39	40.6		
	内 オムツ使用者	(95)	(96.9)	(118)	(93.7)	(40)	(74.1)	(91)	(94.8)		
認知症日常生活自立度	自立	2	2.1	1	0.8	0	0	2	2.1		
	I (ほぼ自立)	7	7.1	6	4.8	4	7.4	8	8.3		
	II (見守りが必要)	18	18.4	20	15.8	8	14.8	26	27.1		
	III (介護が必要)	48	48.9	59	46.8	19	35.2	28	29.2		
	IV (常時介護)	21	21.4	37	29.4	21	38.9	31	32.3		
	M (専門医療が必要)	2	2.1	3	2.4	2	3.7	1	1.0		

(特養 表 9) 利用者の年間外泊件数の推移

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
令和 6 年度	0	2	1	17
令和 5 年度	0	0	0	0
令和 4 年度	0	0	0	0

注 1) 中目黒：建物改修のため、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績

(特養 表 10) 年間面会者数の推移

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
令和 6 年度	5,994	5,887	3,102	4,968
令和 5 年度	4,270	3,408	2,409	2,767
令和 4 年度	2,161	1,354	34	875

注 1) 中目黒：建物改修のため、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績

※ご家族等の面会は、新型コロナ取り扱いが 5 類に移行後、状況により段階的に緩和しました。

(4) 栄養ケアマネジメント

栄養ケア計画に基づき、低栄養状態の利用者に対しては高栄養食等の付加食の提供、摂食・嚥下困難な利用者に対してはソフト食やゼリー食等に対応することにより栄養状態の改善に努めました。

また、疾病による食事の指示が医師より出された利用者へは療養食の提供を行いました。

(特養 表 11) 利用者の食事形態と療養食の状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設別 区分・種類		東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
主食	米飯	26	26.5	47	37.3	17	31.5	36	37.5
	全粥	32	32.7	35	27.8	19	35.2	36	37.5
	全粥・ミキサー	21	21.4	21	16.7	8	14.8	13	13.5
	パン	4	4.1	2	1.6	3	5.5	2	2.1
	パン粥・ミキサー	4	4.1	8	6.3	0	0.0	6	6.3
副食	常食	10	10.2	26	20.6	12	22.2	21	21.9
	刻み	20	20.4	39	31.0	11	20.4	31	32.3
	極刻み	31	31.6	20	15.9	16	29.6	23	23.9
	ミキサー食	26	26.6	28	22.2	8	14.8	18	18.8
食事を食べていない方		0	0	1	0.8	2	3.7	0	0
経管栄養		11	11.2	12	9.5	5	9.3	3	3.1
療養食		5		3		0		1	

注 1) 副食のミキサー食にはソフト食、ペースト食が含まれる

注 2) 療養食：糖尿病、腎臓病等を考慮した食事（介護報酬の療養食加算対象）

注 3) 食事を食べていない方：看取り対象者及び栄養補助食品摂取者

(5) 健康管理

嘱託医師（内科・精神科）及び看護師が専門性を活かし、利用者の状態に応じた健康管理を行いました。

- ① 全ての特養において夜間看護師1名を配置し医療的ケアの必要な利用者が安心して生活できるよう対応しました。
- ② 定期健康診断を実施し疾病の早期発見に努めました。
- ③ 感染症予防及び発生時の適切な対策を実施するために「感染症・食中毒の予防蔓延防止に関する指針」に基づき、定期的に感染症対策のための会議を開催しました。また、利用者・職員等に感染症が発生した場合、マニュアル等に基づき対応を行いました。
- ④ インフルエンザの感染予防及び発病時の軽症化を図るために、利用者と職員を対象に予防接種を実施しました。
- ⑤ 新型コロナに対する予防対策や感染症対策を「新型コロナウイルス感染症等対応事業継続計画」に基づき実施を徹底しました。

新型コロナのワクチン接種を希望する利用者へ、接種を実施しました。また、抗原検査を職員、利用者に適宜実施しました。

- ⑥ 協力病院と連携して、利用者の緊急対応や入院・通院の便宜を図りました。

(特養 表 12) 利用者の受診科目状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設・ 区分 科目	東が丘				東山				中目黒				さんホーム目黒			
	通 院		往 診		通 院		往 診		通 院		往 診		通 院		往 診	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
歯 科	0	0	102	621	0	0	41	356	0	0	25	195	2	8	75	859
内 科	37	54	0	0	14	41	0	0	22	63	0	0	19	69	0	0
神 経 科	6	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外 科	1	1	0	0	14	23	0	0	5	6	0	0	14	20	0	0
整形外科 (形成含)	9	16	0	0	22	45	0	0	6	10	0	0	11	20	0	0
眼 科	9	20	0	0	3	6	0	0	3	6	0	0	6	13	0	0
皮 膚 科	6	6	68	211	4	11	28	79	9	26	16	82	3	4	26	88
耳 鼻 科	1	2	0	0	6	14	0	0	3	7	0	0	3	5	0	0
泌尿器科	6	20	0	0	18	84	0	0	4	36	0	0	12	44	0	0
婦 人 科	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0
精 神 科	0	0	0	0	2	2	5	172	0	0	0	0	1	7	0	0
救命救急	33	35	0	0	20	26	0	0	19	23	0	0	18	19	0	0
そ の 他	4	13	0	0	17	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		185		832		282		607		177		277		215		947

注 1) 「実」は実人員、「延」は延人数

(特養 表 13) 利用者の入院状況推移

施設別 年度別	東が丘			東山			中目黒			さんホーム目黒		
	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数	実人数	延人数	延日数
令和 6 年度	53	74	1,119	78	130	2,532	41	29	1,018	37	57	1,006
令和 5 年度	43	61	1,285	62	89	1,938	34	50	1,003	51	66	1,077
令和 4 年度	43	56	1,380	84	129	2,212	1	1	2	60	80	1,471

注 1) 中目黒：建物改修のため、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績

(特養 表 14) 利用者のうち医療的ケアの必要者数 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

種別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
経管栄養	11	12	5	3
常時吸引	16	5	3	3
バルーンカテーテル留置	6	7	2	2
人工肛門	2	4	1	1
ペースメーカー	3	4	1	1
褥そう処置者	1	1	1	0
インスリン	1	4	1	3
難病	5	6	1	5
在宅酸素	0	4	2	0
その他	0	0	1	0

(特養 表 15) 感染症の発生状況 (延人数)

施設別 種類別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
新型コロナ	40	6	53	5	24	4	7	1
インフルエンザ	4	0	0	0	1	0	1	0
ノロウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0
疥癬	0	0	0	0	0	0	0	0
結核	0	0	0	0	0	0	0	0

(特養 表 16) 職員の新型コロナ感染症発生状況 (延人数)

施設名	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
件数	18	21	9	19

(6) 口腔ケア・マネジメント

歯科医や歯科衛生士と連携して、利用者の口腔機能や嚥下機能に応じた口腔ケア計画を作成し、個別の口腔ケアを実施しました。歯科衛生士による口腔ケア指導を特養東が丘、特養東山及びさんホーム目黒では月2回実施、特養中目黒は月1回実施しました。

(7) 看取りケア

「看取りケア指針」に基づいて、利用者・家族等の意向に沿った看取りケア計画を作成し、「その人らしい尊厳のある看取り」を実施しました。

(特養 表 17) 看取りケア実施実績 (施設でご逝去された件数)

施設別 種別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
令和6年度	4	16	7	7
令和5年度	10	16	14	15
令和4年度	6	19	0	15

注1) 中目黒：建物改修のため、令和4年度は3月(1か月間)の実績

(8) 機能訓練

利用者の意向と生活状況を踏まえて個別機能訓練計画を作成し、機能訓練指導員と多職種が共同・連携し生活場面で以下の機能訓練(生活リハビリ)を行いました。

- ① 心身機能と生活能力の維持に努めました。
- ② 利用者の持つ生活能力を活かした自立支援を行いました。
- ③ 行事への参加や利用者に合わせたコミュニケーション等、精神面及び生活の活性化を図りました。
- ④ 安心して過ごせるように居室のベッド周辺や車いす等の生活環境の調整をしました。

(特養 表 18) 機能訓練の実施人数および割合 (%) (令和7年3月31日現在)

施設・実施者区分		東が丘 (在籍 98 人)		東山 (在籍 126 人)	
		多	機	多	機
機能訓練の目的・主な実施内容					
関節拘縮の進行を予防し、 安楽に着替えや排泄の 介助を受けられる	・関節可動域 訓練	93 (94.9)	91 (92.9)	54 (42.9)	82 (65.1)

施設・実施者区分 機能訓練の目的・主な実施内容		東が丘 (在籍 98 人)		東山 (在籍 126 人)	
		多	機	多	機
関節拘縮の進行を予防し、 安楽に着替えや排泄の 介助を受けられる	・関節可動域 訓練	93 (94.9)	91 (92.9)	54 (42.9)	82 (65.1)
離床して、生活リズムを 維持する 居室から出て周囲の人と 交流する	・座位訓練	95 (96.9)	91 (92.9)	120 (95.2)	42 (33.3)
安全に食事が出来るよう に座位姿勢を整える	・嚥下訓練	68 (69.4)	65 (66.3)	111 (88.1)	111 (88.1)
食事や移乗、トイレ等、 生活場面で出来る事を 自分で行う	・ADL 訓練 ・移乗訓練 ・筋力訓練 ・立位訓練 ・バランス訓練	78 (79.6)	73 (74.5)	102 (81.0)	97 (77.0)
歩行する機会をもつ	・歩行訓練 ・筋力訓練 ・バランス訓練	15 (15.3)	31 (31.6)	19 (15.1)	44 (34.9)
自発的に交流を広げる	・グループ訓練	97 (99.0)	33 (33.7)	125 (99.2)	0 (0.0)
その他	・発声発語 訓練など	79 (80.6)	60 (61.2)	121 (96.0)	120 (95.2)

施設・実施者区分 機能訓練の目的・主な実施内容		中目黒 (在籍 54 人)		さんホーム目黒 (在籍 96 人)	
		多	機	多	機
関節拘縮の進行を予防し、 安楽に着替えや排泄の 介助を受けられる	・関節可動域 訓練	28 (51.9)	52 (96.3)	73 (76.0)	89 (92.7)
離床して、生活リズムを 維持する 居室から出て周囲の人と 交流する	・座位訓練	54 (100.0)	44 (81.5)	95 (99.0)	84 (87.5)
安全に食事が出来るよう に座位姿勢を整える	・嚥下訓練	42 (77.8)	39 (72.2)	37 (38.5)	30 (31.3)
食事や移乗、トイレ等、 生活場面で出来る事を 自分で行う	・ADL 訓練 ・移乗訓練 ・筋力訓練 ・立位訓練 ・バランス訓練	47 (87.0)	46 (85.2)	83 (86.5)	28 (29.2)
歩行する機会をもつ	・歩行訓練 ・筋力訓練 ・バランス訓練	11 (20.4)	13 (24.1)	34 (35.4)	47 (49.0)
自発的に交流を広げる	・グループ訓練	35 (64.8)	45 (83.3)	63 (65.6)	0 (0.0)
その他	・発声発語 訓練など	25 (46.3)	28 (51.9)	74 (77.1)	74 (77.1)

注 1) 多：介護士、看護師、管理栄養士、機能訓練指導員等多職種協働で実施

注 2) 機：機能訓練指導員で実施

(9) 身体拘束

利用者の人権を尊重するとともに、生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束は行わないサービスの提供に取り組みました。

(特養 表 19) 身体拘束件数

年度別	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
令和 6 年度	0	0	1	0	0	0	0	0
令和 5 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和 4 年度	0	0	0	0	0	0	0	0

注 1) 特養中目黒：建物改修のため、令和 4 年度は 3 月（1 か月間）の実績

(10) レクリエーション等

新型コロナの影響で休止していた行事等でのイベントボランティア、クラブ活動ボランティアの受入れを再開し利用者に楽しんでいただきました。

(特養 表 20) 主な実施行事

月	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒	行事食
4	・創立記念日 (祝い膳、おやつ)	・お花見	・お花見	・お花見	・お花見御膳
5	・端午の節句 (菖蒲湯)	・端午の節句 (香り湯) ・風船バレーボ ール大会	・端午の節句 (菖蒲湯) ・開所記念日 ・母の日	・端午の節句 (菖蒲湯) ・母の日	・端午の節句膳
6	・お買い物サロン	・映画鑑賞会	・おやつ作り	・父の日	
7	・七夕飾り ・お盆供養 (迎え火・送り火) ・保育園等交流会	・七夕 ・お盆供養 (迎え火・送り火)	・七夕交流会 ・お盆供養 (迎え火・送り火)	・七夕 ・お盆供養	・七夕メニュー ・土用の丑の日
8	・リラクゼーショ ンバスタイム	・花火を楽しむ会 ・映画鑑賞会 ・昭和週間		・開所記念日	・夏祭りメニュー
9	・敬老会 (各フロア開催) ・秋祭り ・花火大会	・敬老会 ・花火を楽しむ会	・敬老会 ・花火を楽しむ会	・敬老会 ・花火 ・月見の会	・敬老祝い膳
10	・運動会 (各フロア開催) ・お買い物サロン	・映画観賞会 ・風船バレーボ ール大会	・秋祭り	・秋祭り (お神輿)	
11	・アウトリーチ コンサート	・焼き芋会	・お寿司の日 ・おやつ作り	・お寿司の日 ・映画会 ・運動会	
12	・望年会 ・柚子湯 ・デザートバイ キング ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・映画鑑賞会 ・クリスマスケーキ ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・クリスマス ・大晦日	・望年会 ・柚子湯 ・クリスマス ・大晦日	・望年会メニュー ・年越しそば
1	・お正月 ・七草 ・初詣(浄真寺) ・新年会	・お正月 ・七草	・お正月 ・初詣(ホーム内) ・七草 ・鏡開き	・お正月 ・書初め会 ・初詣(ホーム内) ・七草 ・鏡開き	・おせち料理 ・七草粥 ・お汁粉
2	・節分(豆まき)	・節分(豆まき)	・節分(豆まき)	・節分(豆まき)	・福内膳
3	・桃の節句 (雛人形飾り) ・リラクゼーショ ンバスタイム ・お花見ドライブ	・ひな祭り (雛人形飾り) ・お花見ドライブ	・ひな祭り	・ひな祭り (雛人形飾り) ・映画会	・桃の節句膳

(特養 表 21) ホーム喫茶等の行事

東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
・利用者集会(毎月) ・選択食 (毎月) ・イベント食(毎月) - 郷土料理食「日本全土を巡る食の旅」 ・新茶を楽しむ会 ・おやつ作り (チョコレート蒸しパン)(スイートポテト) ・和菓子選択食(2回) ・洋菓子選択食(1回)	・利用者集会(毎月) ・選択食 (毎月) ・イベント食(毎月) 「季節の行事食」 ・手作りプリンを食べる ・新茶を味わう会 ・焼き芋を食べる会 ・お汁粉を食べる会 ・お好み焼きを食べる ・桃の節句 ・桃を食べよう会 ・スイカを食べよう会	・利用者集会(毎月) ・選択食 (毎月) ・イベント食(毎月) 「昭和食堂へようこそ」 ・おやつ作り (パフェ・お好み焼き) ・ホーム喫茶(毎月) ・保育園交流会	・誕生会(ユニット毎) ・選択食 (毎月) ・イベント食(毎月) 「昭和レトロ食堂」 ・コーヒーを楽しむ会 (随時) ・おやつ作り (かき氷・きんつば・おにぎりを食べる会等)

(特養 表 22) クラブ活動の実施状況

東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数	クラブ活動	参加数
—	—	コーラス	10～20	コーラス	16	フルーツと歌う	22
				朗読	19		

注 1) 参加者数は 1 回の活動の参加者

(11) 生活相談

生活相談員が中心になり、利用者やその家族に介護に関する相談をはじめ日常生活全般に関する相談に応じ、適切な助言・援助を行いました。

(12) 利用者・家族等の声を反映

利用者及び家族の生活に対する意向を聴き、施設サービス計画書に反映させました。

- ① 利用者集会、食事懇談会等を開催し、利用者の意見・要望を直接聴きました。
- ② 利用者及び家族等に満足度調査を実施しました。
- ③ 家族懇談会を年度中に 2 回以上実施しました。

(13) その他生活支援

希望される利用者に対してサービスの提供や手続の代行を行いました。

・理美容サービス ・行政手続きなどの代行 ・日用品などの購入

(14) 預貯金などの保管及び管理

利用者本人又は家族等において利用者の預貯金等の保管を行うことが困難な場合、申し出により必要な範囲で預かり、出納管理を行いました。

(特養 表 23) 利用者預かり金状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設名	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒	合計
人数 (人)	2	0	0	0	2
総額 (千円)	2,945	0	0	0	2,945

4 短期入所生活介護事業 (ショートステイ)

短期入所生活介護(ショートステイ)の介護サービスは一部を除き、特養と同様に提供しました。令和 5 年度から、特別養護老人ホーム東が丘で、介護者の急な疾病などに対応するため、緊急

ショートステイ 1 床を新たに整備し、特別養護老人ホーム東山と合わせ 2 床に拡充し、対象となる利用者の受入れを行いました。

また、特養の利用者の入院等で生じた空床を利用した受入れも実施しました。

新型コロナ発生時においても事業を休止せず、ご利用者やご家族の意向を踏まえ、感染症対策を講じ受入れを継続しました。

(特養 表 24) 短期入所の要介護度別利用状況 (空床利用分を含む) (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設別 区分別	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)	延人数	割合(%)
非該当	2	0.1	0	0	0	0	0	0
要支援 1	0	0	9	0.2	0	0	8	0.2
要支援 2	16	0.4	10	0.3	51	2.3	48	1.4
要介護 1	345	9.6	278	7.2	116	5.1	666	18.0
要介護 2	760	21.1	968	25.4	381	16.9	1,252	33.9
要介護 3	1290	35.9	982	25.8	710	31.5	545	14.7
要介護 4	609	16.9	544	14.2	442	19.6	652	17.6
要介護 5	577	16.0	1,019	26.9	556	24.6	524	14.2
合 計	3,599	100.0	3,810	100.0	2,256	100.0	3,695	100.0
平均介護度	3.1		3.3		3.4		2.7	

注 1) 平均介護度計算：要支援 1、2 は 0.375 として算出

(特養 表 25) 短期入所の利用状況

〔東が丘〕定員：9 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	41	38	39	33	38	39	37	48	29	40	39	38	
送迎件数	92	86	86	62	81	81	80	77	60	63	57	58	883
延利用可能床数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,285
延利用床数	270	279	270	279	271	270	279	270	257	279	211	216	3,151
利用率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	97.1	100.0	100.0	100.0	92.1	100.0	83.7	77.4	95.9

〔東山〕定員 9 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	33	29	40	45	47	37	33	36	37	31	44	42	
送迎件数	59	43	60	68	72	65	57	69	76	64	76	71	780
延利用可能床数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,285
延利用床数	270	221	270	279	279	270	279	248	236	279	252	279	3,162
利用率 (%)	100.0	79.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	91.9	84.6	100.0	100.0	100.0	96.3

〔中目黒〕定員：5 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	30	26	29	31	32	21	33	31	31	30	28	27	
送迎件数	50	44	48	52	54	31	62	58	55	53	52	50	609
延利用可能床数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,825
延利用床数	150	143	150	155	155	133	155	150	155	155	140	155	1,796
利用率 (%)	100.0	92.3	100.0	100.0	100.0	88.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.4

〔さんホーム目黒〕定員：10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	59	59	65	63	66	61	62	61	65	57	56	62	
送迎件数	98	103	102	105	116	103	107	102	108	93	95	103	1,235
延利用可能床数	300	310	300	310	310	300	310	300	310	310	280	310	3,650
延利用床数	294	306	300	310	310	299	296	297	310	299	280	297	3,598
利用率(%)	98.0	98.7	100.0	100.0	100.0	99.7	95.5	99.0	100.0	96.5	100.0	95.8	98.6

〔東が丘 緊急ショートステイ〕定員：1人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	2	3	1	3	4	2	1	3	5	2	4	3	33
送迎件数	2	4	0	2	3	0	1	3	8	0	4	5	32
延利用可能床数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用床数	17	15	26	26	24	16	4	23	26	31	18	27	253
利用率(%)	56.7	48.4	86.7	83.9	77.4	53.3	12.9	76.7	83.9	100.0	83.7	87.1	69.3

〔東山 緊急ショートステイ〕定員：1人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	4	3	3	4	6	6	7	3	4	7	4	6	57
送迎件数	5	2	2	3	6	6	6	3	3	9	3	6	54
延利用可能床数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用床数	23	24	14	27	29	29	23	15	11	27	22	24	268
利用率(%)	76.7	77.4	46.7	87.1	93.5	96.7	74.2	50.0	35.5	87.1	78.6	77.4	73.4

注1) 延利用可能床数：定員×各月の日数

注2) 延利用床数：各月の利用者延べ数（空床利用は除く）

注3) 利用率(%)：延利用床数÷延利用可能床数×100

（特養 表26）空床利用の状況（延利用床数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東が丘	11	23	13	9	0	42	34	60	0	4	0	0	196
東山	16	0	57	100	99	63	14	0	0	5	18	8	380
中目黒	26	0	37	62	72	0	8	43	63	62	41	46	460
さんホーム目黒	0	0	35	23	33	0	0	0	2	0	4	0	97

5 緊急一時保護

目黒区からの緊急の保護の要請により、その家庭で介護を受けることが困難な在宅の高齢者を積極的に受け入れました。

（特養 表27）緊急一時保護受入件数

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒	合 計
令和6年度	10	13	7	1	31
令和5年度	5	8	8	1	22
令和4年度	1	4	0	0	5

注1) 中目黒：建物改修のため、令和4年度は3月（1か月間）の実績

6 地域との連携

地域に開かれた施設となるよう近隣の保育園、小中学校等や地元町会とも連携するとともに、地域行事の参加や家族の施設行事への参加を段階的に再開しました。

(1) ボランティア

① ボランティアの受け入れ状況

感染予防対策を講じ、理美容の受け入れを継続するとともに、施設の状況に応じ段階的に受け入れを再開しました。

(特養 表 28) ボランティアの受け入れ状況

種別	施設別		東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
生活支援	0	0	1	9	4	18	1	7		
クラブ活動支援	0	0	5	90	9	28	1	16		
技術支援	5	44	6	98	5	80	4	49		
定例行事支援	18	18	0	0	6	12	1	51		
行事支援	0	0	0	0	2	2	3	5		
合計	23	62	12	197	26	140	10	128		

注1) 生活支援：散歩、話し相手、清掃、洗濯たたみ等

注2) 技術支援：理美容等

注3) 定例行事支援：夏祭り等

② ボランティア懇談会

今年度の懇談会は、新型コロナの影響により中止としました。

(2) 地域貢献活動

地域包括ケアシステムの一翼を担い、地域との連携を深めると共に、特別養護老人ホームの特徴を生かして地域に必要とされ、地域に貢献できる施設運営に努めました。新型コロナが5類に移行になったことから、段階的に活動を再開しました。

① 地域交流サロン(いきいきサロン)・会食サービス事業の実施

週1回、地域交流スペースを地域に開放し、希望するひとり暮らし等高齢者に食事を提供する地域交流サロン(いきいきサロン)、会食サービス事業については、区と協議のうえ後期より再開しました。

(特養 表 29) いきいきサロン延べ参加者数

施設名	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
開催曜日	金曜日	木曜日	火曜日	水曜日
令和6年度	157	746	788	502
令和5年度	128	329	283	122

(特養 表 30) 会食サービス延べ参加者数(登録人数)

施設別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム目黒
区分				
前期	187 (11)	195 (11)	358 (15)	207 (8)
後期	203 (12)	204 (11)	315 (15)	293 (13)

② 地域はつつセミナー

地域交流スペース活用の一環として、各施設が持つ資源を地域に還元するために、介護・福祉・医療に関する講座や交流を目的としたアクティビティなどのセミナーを開催しました。

(特養 表 31) 地域はつつセミナー延べ参加者数

施設名	東が丘	東 山	中目黒	さんホーム目黒
開催日・講座名・参加人数	—	6月27日 熱中症予防について 18人 8月29日 電動カート試乗体験 9人 11月7日 振込め詐欺防止・震災の備え 10人 12月26日 もしばなゲーム 18人 2月27日 もしばなゲーム 19人	3月25日 認知症を正しく知りましょう 15人	11月13日 エンディングノート 11人 3月12日 特殊詐欺、生活の防犯 15人

③ 「ふれあいの居場所」(なかめぐろホーム)

再開に向けボランティアグループと検討を行いましたが、再開に至りませんでした。

④ 目黒区の「めぐろシニアいきいきポイント事業」

同事業のサポーターに、各施設において活動の場を提供する予定でしたが、新型コロナの影響により、実施はわずかな回数にどどまりました。

(特養 表 32) めぐろシニアいきいきポイント事業サポーターの受入れ状況

施設名	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
受入れ人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
	0	0	2	14	1	15	1	16

⑤ 実習生、研修生、中学生の体験学習等の受入れ

各施設において、実習生、研修生及び中学生の体験学習等の受け入れを新型コロナの感染状況を見極め可能な限り受入れました。

(特養 表 33) 実習生等の受入れ状況

〔東が丘〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会 (各大学)	教員免許介護等体験	14	70
東京医療保健大学	老年介護学	24	48
合計		38	118

〔東山〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京福祉保育専門学校	介護福祉士	2	28
東京医療保健大学	慢性期看護実習	21	42
十文字学園女子大学	管理栄養士臨地実習	2	16
東京家政大学	管理栄養士臨地実習	4	20
合計		29	106

〔中目黒〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会	教員免許介護等体験	15	75
東京医療保健大学	老年看護学	20	53
合計		35	128

〔さんホーム目黒〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京保健医療大学	看護学実習	15	115
合計		15	115

⑥ 家族介護教室

在宅で高齢者を介護する家族や援助者及び介護技術や知識の習得を希望される地域の方などに
対し感染症防止対策を講じたうえで開催しました。

(特養 表 34) 家族介護教室の実施状況

開催場所	開催日	内容	定員	実参加 人数	延参加 人数
東が丘	10/27 (日)	午前：楽しく安全な食事介助	10	1	2
		午後：在宅での介護予防	10	1	
	12/7 (土)	午前：認知症とその対応方法を知ろう	10	7	15
		午後：在宅で安心・安全に暮らしていく ためのワンポイント	10	8	
東山	11/10 (日)	午前：移動・移乗介助	10	6	14
		午後：排泄・更衣介助	10	8	
	1/25 (土)	午前：楽しく安全な食事介助	10	8	16
		午後：入浴・保清介助のポイント	10	8	
中目黒	2/16 (日)	午前：「着替え・オムツ交換のポイント」実技	10	7	16
		午後：「体位変換・ベッドからの移乗介助」実後	10	9	
さんホーム 目黒	11/30 (土)	午前：移乗、移動、(リフト、介護ベット、車いす) の取り扱い、おむつのあて方選び方	10	4	8
		午後：自助具の活用方法。(入浴・食事の自助具)	10	4	

⑦ 施設見学会

例年 11 月 11 日の介護の日になみ施設を見学できるよう、目黒区民を対象にした「高齢施設
見学バスツアー」を計画しています。従来型とユニット型の比較ができるよう、なかめぐろホー
ムとさんホーム目黒の見学会を実施しました。

(特養 表 35) 施設見学会参加人数

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和 6 年度	—	—	13	69
令和 5 年度	—	—	22	57
令和 4 年度	3	中止	中止	9

⑧ 講師派遣

施設に配置している福祉・医療の専門職員を、地域で開催される講座等に講師として派遣しました。

(特養 表 36) 講師派遣実績表

講座名等	実施日	テーマ	主 催	派遣職員
看取りケア	11/14	介護・医療機関現場での看取りを考える	NPO 生と死を考える	生活相談員
スキルアップ研修	12/19	食べる楽しみ 安全な食事への支援	目黒区	管理栄養士
高齢者虐待	3/19	事例にみる高齢者虐待	目黒区	看護師

⑨ 地域交流スペース貸出支援事業

特養利用者に影響のない、なかめぐろホームとさんホーム目黒で貸出を再開しました。

⑩ 車いす貸出事業

施設資源を地域に提供するため、1回1週間を原則として車椅子を無料で貸出しています。

(特養 表 37) 貸出回数

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和6年度	15	1	2	1
令和5年度	5	3	4	2
令和4年度	12	0	2	2

注1) 中目黒：建物改修のため、令和4年度は3月（1か月間）の実績

7 運営管理

(1) 会議

利用者サービスと合理的な施設運営を円滑に行うため、各職種間、職員相互間で必要に応じて各種会議を開催しました。施設間の会議はWEBも活用し開催しました。

(特養 表 38-1) 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
施設長連絡会議	特養3施設の運営について共通課題の検討、情報の交換をしました。	年5回
特養担当会議	特養3施設共通の課題の検討、統一マニュアルの作成と定期的見直しを実施しました。	年5回

(特養 表 38-2) 施設共通会議

会議名	内容	開催回数
サービス担当会議	利用者のニーズに基づいて施設サービス計画の立案と決定、評価をしました。	月2～6回
課長会議	事業計画の方針、実施結果の評価など施設運営全般に関する事項を協議、決定しました。	月1～2回
施設運営会議	施設運営全般に関する事項の具体的な審議、事業計画・方針に基づく具体的な内容の検討をしました。	月1回
特養会議	新規入所者調整、各職種間の連携調整及びサービス提供における懸案事項の検討・計画・実施・評価をしました。	月1回
防災会議	防災訓練の計画立案・実施・評価をしました。 施設内の防災点検を実施しました。	月1回

会議名	内容	開催回数
感染症対策会議	感染症の予防対策と発生時の対応を検討しました。定期的、臨時に会議を開催し、感染症拡大を未然に防ぐ為の対策を検討し実施しました。	3月に1回
介護サービス課調整会議	介護サービス課間のサービス、職員管理などの調整及び事業計画の進捗管理をしました。	月1回
介護サービス課・係長会議 (ユニットリーダー会議)	課の課題の把握と改善策の検討並びにサービス提供状況の確認・検討及び職員や業務の管理をしました。	月1回
介護サービス課職員会議 (ユニット会議)	サービス提供の進捗管理、課題の検討、連携・チームワーク強化、業務見直し及び評価、連絡調整などを行いました。	月1回

(2) 委員会

施設サービスの向上と業務の見直しをするために各種の専門委員会を設置し、問題解決に向けて各委員会の担当職員が主体的に検討・企画・実施しました。

(特養 表 39) 特別養護老人ホームの委員会活動(共通) ※開催回数は、施設毎で設定

委員会名	内容
サービス向上委員会	利用者サービスの向上を図るため、サービス内容の見直しや点検、企画と環境整備等の検討・実施・評価をしました。
行事委員会	利用者の声を聞き取りニーズに合った年間計画を作成し、企画・実施・評価をしました。
研修委員会	年間計画に基づき、施設内研修を実施、参加者に対して研修アンケートを実施、次年度の研修計画に反映しました。
実習生・新人育成委員会	新人職員の育成を効果的に実施するために、委員が個別の育成計画を作成し OJT を実施しました。実習生は年間受入計画を作成し計画に基づいて受入れました。受入れマニュアルを見直しました。
事故防止委員会	発生した事故やヒヤリハットを分析し、介護事故防止のための対策を検討し、防止策を周知・実施し再発防止に努めました。
人権委員会	身体拘束、高齢者虐待、個人情報など人権に関して検討しました。
苦情解決委員会	申し出のあった苦情・要望について調査し、改善案を検討・実施しました。
褥瘡予防委員会	褥瘡予防策の検討並びに褥瘡治療中の利用者の把握と改善策を検討しました。
広報委員会	利用者、家族、地域の方に向けた広報誌を発行しました。
省エネ委員会	施設における省エネ対策を検討し実施しました。
衛生委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討実施しました。産業医の健康相談を実施しました。
医療ケア委員会	介護職員が喀痰吸引等を安全に行うための施設内の実施体制の整備、喀痰吸引業務の実施計画や実施状況の管理を行いました。
腰痛予防対策委員会	厚労省「職場における腰痛予防対策指針」(改訂版)に基づき、介護現場における腰痛リスクを低減するために、介護方法の見直し、福祉機器の活用方法、職員への腰痛予防の啓発を行いました。
身体的拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化のための対策や、身体的拘束につながる不適切な対応がないか等を検討しました。

(3) 研修

職員の資質向上のため、施設内で年間研修計画を作成し、感染症予防対策を講じて計画的に研修を実施するとともに、日常の業務を通しての OJT を実施しました。都、目黒区及び東京都社会福祉協議会、その他関係団体が実施する外部の研修(WEB 研修を含む)に参加しました。

また、当事業団が例年行う職層研修へは、対象職員が参加しました。

(特養 表 40-1) 外部研修

[東が丘]

研修名	主催者	参加人数
2024 年介護報酬改定について	東京都社会福祉協議会	2
リスクマネジメント研修 (WEB 研修)	日本慢性期医療協会	1
介護現場におけるハラスメント対策サポート研修会	東京都社会福祉協議会	2
機能訓練指導員のための多職種連携に活かすコーチングスキル講座	東京都社会福祉協議会	1
OJT・仕事の教え方研修	東京都社会福祉協議会	2
認知症介護基礎研修 (WEB 研修)	社会福祉法人東北福祉会	2
東京都認知症介護実践リーダー研修	東京都福祉局高齢者施策推進部	1
生活支援としてのポスチュアリングを学ぼう	東京都社会福祉協議会	1
高齢者虐待防止研修 (施設居住サービス系向け)	東京都高齢者・障害者権利擁護支援センター	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修) 「緊急時の介護～とっさの症例判断・対応～」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (実技) 「移乗介助の基本」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修) 「メンタルヘルスケアのためのストレス対策」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修) 「介護職員として知っておきたい福祉用具」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修) 「職場の人間関係の改善アサーションスキル」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修) 「食べる楽しみ 安全な食事への支援」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修) 「メンタルヘルスケアのためのカスタマーハラスメント対策」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修) 「認知症の方への良い対応と良くない対応を知る」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修) 「事例から学ぶ高齢者虐待防止」	目黒区	1

[東山]

研修名	主催者	参加人数
栄養士のための介護報酬改定と新しい栄養評価基準について	東京都社会福祉協議会	1
目黒区介護保険サービス事業者集団指導	目黒区	1
介護現場におけるハラスメント対策サポート研修	東京都社会福祉協議会	1
介護報酬請求事務に関する研修会	東京都社会福祉協議会	2

[中目黒]

研修名	主催者	参加人数
令和6年度第1回特定給食管理講習会	目黒区	1
令和6年度第2回特定給食管理講習会	目黒区	1
令和6年度第3回特定給食管理講習会	目黒区	1
令和6年度介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」	公財)東京都福祉保健財団	1
社会福祉士実習指導者講習会	公財)神奈川県社会福祉士会	1
令和6年度多職種研修会「グリーンケア」の実践を学ぶ	目黒区西部包括支援センター	1
栄養士のための介護報酬改定と新しい栄養評価基準について	社会福祉法人東京都社会福祉協議会	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修)「チームで共有するための介護記録の書き方」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修)「緊急時の介護～とっさの症状判断・対応～」	目黒区	2
介護職員のためのスキルアップ研修 (対面研修)「介護レベルが違ってでもできるレクリエーション」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修)「食べる楽しみ 安全な食事への支援」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修)「認知症の方への良い対応と良くない対応を知る」	目黒区	1
介護職員のためのスキルアップ研修 (WEB 研修)「事例から学ぶ高齢者虐待防止」	目黒区	1

[さんホーム目黒]

研修名	主催者	参加人数
介護職員初任者研修	三幸カレッジ	4
介護実務者研修	三幸カレッジ	3
防火・防災管理者研修	東京消防庁	1
2024 介護報酬改定について (WEB 研修)	東京都社会福祉協議会	1
生産性向上への取り組み～独自技術を取り入れた業務改善～	東京都社会福祉協議会	1
福祉用具サービス従事者講習会 車いす	東京都福祉保健財団	1
福祉用具サービス従事者講習会 褥瘡ケア	東京都福祉保健財団	1
栄養士のための情報交換	東京都社会福祉協議会	1
防災気象情報の活用について	東京都社会福祉協議会	1
高齢者虐待防止研修 (居宅サービスむけ)	東京都社会福祉協議会	1
特定給食管理講習会	目黒区	1
経営実態調査フォローアップ研修	東京都社会福祉協議会	1
生活相談員リスクマネジメント研修	東京都社会福祉協議会	1
外国人留学生・在留資格介護職員の活躍 学習会	東京都社会福祉協議会	1
介護職員のための業務継続計画 (BCP) 机上訓練 (オンデマンド)	東京都社会福祉協議会	1
医療機関・介護施設での感染症予防 (実践編)	厚生中央病院	1
ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	1

(特養 表 40-2) 主な施設内研修

〔施設内研修〕 実施回数

研修名	研修内容	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
新規職員研修	人権、個人情報、接遇マナー、 認知症、事故防止、プライバシー保護	個別 1	4	個別 2	1
	他職種研修(移乗・ポジショニング、自立支援、腰痛予防、栄養、感染症、ケアプラン作成)	1	2	個別 2	1
職層研修	中堅職員研修、指導職員研修 管理職員研修	1	2	1	1
人権研修	人権・虐待防止・個人情報保護、ハラスメント	3	5	3	4
身体的拘束適正化研修	身体的拘束の適正化、指針に基づいた研修内容	5	2	2	2
リスクマネジメント研修	事故防止・大規模災害、苦情対応等	3	3	2	2
感染症予防研修	食中毒予防、感染性胃腸炎やインフルエンザへの対応	5	2	2	2
介護技術研修	口腔ケア、自立支援、「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」研修、サービスマナー研修	4	1	2	4
看取り研修	看取りの対応について	3	2	1	1
緊急対応研修	緊急対応（事例検討含む）	1	2	0	1

〔専門研修〕 実施回数（回）

研修名	研修内容	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
職員の健康管理研修	メンタル・腰痛予防・産業医研修	1	0	2	1
ユニットリーダー研修	ユニットリーダーについて	0	0	0	4
ユニットケア研修	ユニット型特養について	0	0	0	2

(特養 表 40-3) 法人研修（再掲）（人）

研修名	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
新任職員研修	4	7	2	5
入社 2 年目研修	6	7	5	15
サービス専門職 A4 年目研修	1	1	5	17
サービス専門職 A7 年目研修	0	3	0	0
サービス専門職 A9 年目研修	3	0	1	2
指導職 2 級昇格者研修	2	1	1	2
指導職 2 級 5 年目研修	1	1	0	1
指導職 1 級昇格者研修	0	0	0	1
管理職 2 級昇格者研修	0	0	0	0
管理職 2 級 3 年目研修	0	0	0	1

(4) 施設間評価

施設間評価を例年実施してきましたが、従来の実施方法では評価が形骸化してきているところから、新たな評価方法や実施方法を検討するため休止としました。

(5) 苦情・要望

施設ごとに、苦情の窓口及び責任者を設置し、申し出があった場合、調査のうえ苦情解決委員会等で検討し、規程に基づき速やかに対応し、内容を施設内に掲示しました。

なお、「権利擁護センターめぐろ」等の外部機関に相談できることを重要事項説明書や掲示物にて示しています。

(特養 表 41) 苦情・要望の件数 (短期入所含む)

施設別 区分	東が丘		東山		中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
苦情件数	1	0	0	1	1	0	0	0
処理件数	1	0	0	1	1	0	0	0
要望件数	1	0	0	0	5	1	2	0

(6) 拘束をしない事故防止対策と事故発生時の緊急対応

各施設において、身体拘束することなく事故防止に努めました。また、「事故防止指針」に基づいて、事故防止のための定期的な委員会の開催、研修の実施等により事故の分析、防止に努めました。事故発生時は速やかに緊急対応を実施しました。

(特養 表 42) 事故等の状況

施設別 区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
事故総数	474 (5)	24 (1)	425 (21)	27 (1)	105 (5)	13 (1)	401 (7)	23 (1)
ヒヤリハット	578	43	340	20	52	7	524	32

注 1) () 内は事故総数のうち通院に至った事故

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(7) 個人情報保護

当事業団における個人情報保護規程に基づいて、個人情報の利用目的を明示し全利用者に対して説明のうえ、同意を得て個人情報を取り扱いました。

また、個人情報保護について研修を行い、基本的な知識・取り扱い方法を周知徹底するように努めました。

(特養 表 43) 個人情報開示実施数 (短期入所含む)

施設別 区分	特養東が丘		特養東山		特養中目黒		さんホーム目黒	
	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所	特養	短期入所
個人記録	0	0	8	6	7	0	0	5
その他	2	0	1	0	0	0	0	0

注 1) 「その他」：健康診断結果等

(8) 情報発信

- ① 施設毎に広報誌を作成しました。また、ホームページ上で施設の PR に努めました。

(特養 表 44) 広報誌発行実績 (回)

施設別 年度別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
令和 6 年度	5	13	12	24
令和 5 年度	6	12	9	24
令和 4 年度	5	11	3	8

注 1) 中目黒：建物改修のため、令和 4 年度は 3 月 (1 か月間) の実績

- ② 介護サービス情報の公表

介護サービス情報公表制度の調査を受け、インターネットで施設の情報を公表しています。

(9) 防災対策

消防法の規定により策定した消防計画に基づき、感染症対策を行い、職員及び利用者による避難、通報、消火等の訓練を行いました。

また、地元の町会・自治会、消防署、消防団等の参加による総合訓練を一部再開しました。

消防署と区内特養ホームが防災対策等について連携していくための防災連絡協議会は、WEB 会議で行いました。

(特養 表 45) 防災訓練実施状況 (回)

施設別 訓練別	東が丘	東山	中目黒	さんホーム 目黒
総合訓練	3	1	0	1
避難訓練	4	2	2	2
火災想定訓練	3	10	7	1
地震想定訓練	3	4	4	1
夜間 (想定) 訓練	3	5	7	1
通報訓練	0	1	0	1
図上訓練	2	3	3	1
その他の訓練	5	7	4	2
その他の訓練の内容 (各施設の状況に応じ実施)	防災設備・自火報設備について、継走網訓練・地震体験・煙体験・AED 操作訓練 等			

(10) 衛生管理

居室の清掃、消毒を実施し、衛生的な環境を提供しました。

また、寝具は週 1 回の交換を原則とし、年に 1 回のマット消毒と合わせ、清潔な寝具環境を提供しました。

新型コロナの感染予防のためマニュアル等に基づいた対応を行いました。

(11) 職員の健康管理

衛生委員会を定期的開催し、職員のメンタル面を含めた健康管理の向上に努めました。

(12) 福祉サービス第三者評価

質の高い利用者サービスの実現に向けて、指定管理施設は各施設において 3 年毎に第三者評価を受審、さんホーム目黒は毎年度受審しています。

評価結果については下表のとおりで、内容の分析を行い、指摘事項の改善に取り組みました。

(特養 表 46-1) ひがしやまホーム 評価結果

特に良い点	・ コロナ禍で中止していた会食サービスや地域はつらつセミナーを再開し、地域との連携・交流や地域貢献に取り組んでいる。 ・ 利用者の移行を反映したレクリエーションを行うとともに、季節の行事や映画会等を行い、利用者の生活がたのしくなるよう支援している。 ・ 移乗にはリフトを使用し、介護職員が自力で持ち上げない介護を実践し、利用者・職員双方が安全で身体的負担のない介護に取り組んでいる。
更なる改善点	・ 法人では人材確保 PT を設置し SNS 等の活用など人材確保に取り組んでいるが、今後の一層の取り組みに期待したい。 ・ パンフレットやホームページで情報を発信しているが、今後はホームページの構成を工夫するなどして更に迅速な情報提供をするとよい。 ・ 利用者のホームでの様子を個々の家族に知らせる方法を工夫すると良い。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

(特養 表 46-2) さんホーム目黒 評価結果

特に良い点	・ 選択食、季節の行事食、イベント食や入居者が希望する献立等を適温で提供し、飽きがこない食事を楽しむようにしている。 ・ 可能な範囲で医療ケアが必要な入居者を受け入れ、看護師を 24 時間配置して最期まで安心して生活ができるように支援している。 ・ 家族等に入居者の日常生活の様子等を伝える手段を増やし、家族懇談会を開催し、ホームと家族同士が懇談や情報交換の場を設けている。
更なる改善点	・ 自らの役割や責任及び目指す方向性を経営層は具体的に職員にわかりやすく伝えるとよい。 ・ 単年度計画を実践的な計画にするとよい。 ・ 開設 4 年目のホームで車いすはまだ、新しく綺麗な状態で快適に使用できているが、今後定期的に点検、清掃を行うとよい。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

第2 在宅ケア多機能センター

在宅ケア多機能センターでは、介護保険法に基づく指定事業所として、小規模多機能型居宅介護サービス（以下、「多機能」という。）及び認知症対応型通所介護サービス（以下、「認知デイ」という。）を実施しました。

新型コロナの感染予防対策は継続して実施しました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 利用者の人権を守るため、チームによる介護・相談・支援を徹底します	所長不在時には、所長代理の職員を配置し、現場で相談できる体制としました。また、発生した事故に対して、職員全員で原因と対策を検討し、再発の防止に努めました。
(2) 地域交流スペースを有効活用し、地域に開かれた施設づくりに取り組みます	運営推進会議などを活用し、参加できる地域の行事などには参加させていただきました。また、地域交流サロンのプログラム内容により、希望者には参加していただきました。
(3) 大規模災害時に計画に基づいて行動できるように継続して取り組みます	大規模災害や感染症発生時にも事業継続できるような机上訓練を実施しました。
(4) 在宅ケア多機能センターについて、利用率の向上などにより事業収益を確保していきます	新規利用者を積極的に受け入れ、居宅介護事業所への営業活動も行いましたが、入院や他施設への入所など契約終了者の方が多く、目標利用率は達成できませんでした。

（在宅 表1）構成施設と定員

施設別 項目	東が丘在宅ケア多機能センター		東山在宅ケア多機能センター	
	東が丘多機能 ホームあすなろ	東が丘デイホーム しいの木	東山多機能 ホームけやき	東山デイホーム いちろう
各施設名				
利用定員	登録定員 29人 通い定員 18人 泊り定員 7人	12人	登録定員 29人 通い定員 18人 泊り定員 7人	12人

2 令和6年度の利用実績

（在宅 表2）利用率（％）

施設別 年度別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
令和6年度	61.7	54.2	71.4	48.3
令和5年度	79.7	65.8	78.6	58.3
令和4年度	77.9	60.8	82.1	71.7

注1) 多機能は登録定員に対する1日あたりの登録者数の割合

（在宅 表3）新規契約者数と契約終了者数（人）

施設別 区分		東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
新規	介護	4	19	8	12
	予防	0	0	0	0
終了	介護	10	16	6	10
	予防	0	0	0	0

3 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

(1) 東が丘多機能ホームあすなろ（多機能）

改善事項	具体的な取組みと結果
利用者が個々に楽しい時間を過ごすことができるように活動を工夫します	・利用者の得意なことを活かして本の朗読、生け花、中庭の野菜の収穫、針仕事などを個別の活動として行いました。 ・レクリエーションのかるた取りでは読み手として活躍されたり、季節ごとの生け花を皆さんで鑑賞したりと活動が続いています。 ・盆踊り等の行事に参加したり、ハロウィンイベントでは飾り作りだけでなく、当日子供たちに作品を手渡すことができました。
利用者送迎を工夫します	送迎担当職員の勤務シフトを工夫し、夕食後帰宅の希望に対応しました。

(2) 東が丘デイホームしいの木（認知デイ）

改善事項	具体的な取組みと結果
利用者一人ひとりが楽しめる活動を工夫して提供します	・個別で楽しんで取り組める脳トレーニングや手作業等を取り入れました。 ・定期的なボランティアによる活動や近隣の保育園児との交流を再開した他、実習生と一緒に身体を動かしながら楽しめる活動を多く行いました。
活動の様子をご家族に発信し安心して利用できるようにします	・毎月配布する「しいの木便り」には活動写真を多く掲載し日々の活動の様子を知ってもらうようにしました。 ・家族向けの見学会を計画し実施しました。見学会の日程に参加できない場合には個別で日程調整し見学する機会を設けました。

(3) 東山多機能ホームけやき（多機能）

改善事項	具体的な取組みと結果
利用者や家族の困りごとやサービス内容について相談できる体制を強化します	・利用者ごとに相談担当者を決め、ご本人やご家族にお話を伺い、その内容を所内の会議で取り上げ、サービス向上につなげました。 ・相談担当者を配置したことで所長不在時でも、その日に相談があった内容にその日のうちに対応できるなどタイムリーに対応できるようになりました。
さらに楽しんでいただけるようサービスの向上に努めます	・「外出担当者」を決め、地域の行事や区の催しなどを調べて、お一人ひとりの利用者の好みそうなイベント等、計 35 か所の場所へ外出することができました。 ・利用者との日々の関わりの中から得た情報からやりたいことなどを抽出し、利用者と一緒に計画をたて利用者のやりたいことを行うことができました。

(4) 東山デイホームいちょう（認知デイ）

改善事項	具体的な取組みと結果
個別性を大切に、一人ひとりが楽しめる活動の充実に努めます。	・集団で行う体操やレクリエーションだけでなく、お一人おひとりの興味のある活動を個別に行いました。 ・地域のお祭りや活動などに参加したり、交流サロンの活動内容によって、興味のある方には参加していただきました。
ご家族が安心して利用できるようにします。	・運営推進会議などの機会を通して、活動を見学していただいたり、日々の連絡帳に活動の様子を記入してデイホームでの様子をお伝えするようにしました。 ・体調変化や事故については担当の介護支援専門員の方とも情報を共有し、在宅での生活に変化なく過ごせるように支援しました。

4 在宅ケア多機能センターの事業

多機能のサービス提供に当たっては、居宅サービス計画書及び小規模多機能型居宅介護計画書を作成し、利用者（家族等）に内容を説明、確認の上、サービスを提供しました。

また、認知デイのサービス提供に当たっては、居宅介護支援事業者または利用者（家族等）が作成した居宅サービス計画書に基づき認知症対応型通所介護計画書を作成し、利用者（家族等）に内容を説明、確認の上、サービスを提供しました。

（在宅 表 4）小規模多機能の利用状況

〔東が丘多機能〕 登録定員：29 人・通い定員：18 人・泊まり定員：7 人

月別 項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
登録者数	22	21	21	20	18	19	19	19	19	18	18	18	232
延登録者数	632	632	563	575	551	532	542	545	530	508	448	483	6,541
1 日平均登録者数	21.1	20.4	18.8	18.6	17.8	17.7	17.5	18.2	17.1	16.4	16.0	15.6	17.9
登録率（%）	72.8	70.3	64.8	64.1	61.4	61.0	60.3	62.8	59.0	56.6	55.2	53.8	61.7
通い利用者数	21	20	20	19	18	18	18	18	18	16	14	15	215
延通い利用者数	333	353	314	320	306	293	305	310	301	280	266	292	3,673
1 日平均 通い利用者数	11.1	11.4	10.5	10.3	9.9	9.8	9.8	10.3	9.7	9.0	9.5	9.4	10.1
通い利用率（%）	61.7	63.3	58.3	57.2	55.0	54.4	54.4	57.2	53.9	50.0	52.8	52.2	56.1
宿泊利用者数	15	12	13	10	12	10	13	10	9	9	9	10	132
延宿泊利用者数	155	162	133	135	134	119	139	153	141	139	134	153	1,697
1 日平均 宿泊利用者数	5.2	5.2	4.4	4.4	4.3	4.0	4.5	5.1	4.5	4.5	4.8	4.9	4.6
宿泊利用率（%）	74.3	74.3	62.9	62.9	61.4	57.1	64.3	72.9	64.3	64.3	68.6	70.0	65.7
訪問利用者数	6	6	5	6	5	4	5	5	5	7	7	7	68
延訪問回数（回）	42	32	28	41	30	28	31	51	65	74	86	81	589
短期入所者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
延短期利用日数	3	3	3	3	3	5	3	3	3	4	3	3	39

〔東山多機能〕 登録定員：29 人・通い定員：18 人・泊まり定員：7 人

月別 項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
登録者数	22	22	22	21	20	19	22	22	23	23	23	24	263
延登録者数	626	648	622	596	604	563	634	608	678	670	644	662	7,555
1 日平均登録者数	20.9	20.9	20.7	19.2	19.5	18.8	20.5	20.3	21.9	21.6	23.0	21.4	20.7
登録率（%）	72.1	72.1	71.4	66.2	67.2	64.8	70.7	70.0	75.5	74.5	79.3	73.8	71.4
通い利用者数	21	22	22	21	20	19	22	22	23	23	23	23	261
延通い利用者数	428	476	428	432	433	389	428	406	432	423	403	403	5,081
1 日平均 通い利用者数	14.3	15.4	14.3	13.9	14.0	13.0	13.8	13.5	13.9	13.6	14.4	13.0	13.9
通い利用率（%）	79.4	85.6	79.4	77.2	77.8	72.2	76.7	75.0	77.2	75.6	80.0	72.2	77.2
宿泊利用者数	10	11	12	11	11	9	10	10	12	11	10	14	131

月別 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延宿泊利用者数	180	200	180	185	199	152	174	157	178	161	151	182	2,099
1日平均 宿泊利用者数	6.0	6.5	6.0	6.0	6.4	5.1	5.6	5.2	5.7	5.2	5.4	5.9	5.8
宿泊利用率(%)	85.7	92.9	85.7	85.7	91.4	72.9	80.0	74.3	81.4	74.3	77.1	84.3	82.9
訪問利用者数	17	17	18	15	13	13	15	17	17	16	16	14	188
延訪問回数(回)	264	276	255	190	202	216	248	223	253	242	225	181	2,775
短期入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延短期利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 登録者数：各月内に有効な登録期間が1日でも含まれていた登録者の数

注2) 延登録者数：各月の開所日ごとの登録者の月の延べ数

注3) 1日平均登録者数：延登録者数÷開所日数

注4) 登録率(%)：1日平均登録者数÷登録定員×100

注5) 利用者数：各サービスを各月に1日でも利用した利用者の数

注6) 延利用者数：各サービスの各日の利用者の月の延べ数

注7) 1日平均利用者数：各サービスの延べ利用者数÷開所日数

注8) 利用率(%)：1日平均利用者数÷定員×100

注9) 延訪問回数：各月に訪問サービスを行った延回数

注10) 介護予防小規模多機能居宅介護の利用者はいない

(在宅 表5) 認知デイの利用状況

[東が丘認知デイ] 定員：12人

月別 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
契約者数	22	24	23	24	25	24	25	25	23	23	23	25	286
延契約者数	269	298	271	278	267	265	266	249	255	243	203	248	3,112
1日平均契約者数	9.0	9.6	9.0	9.0	8.6	8.8	8.6	8.3	8.2	7.8	7.3	8.0	8.5
利用者数	20	22	21	23	22	23	23	24	22	23	22	24	269
延利用者数	196	212	209	208	189	205	209	182	193	184	174	213	2,374
1日平均利用者数	6.5	6.8	7.0	6.7	6.1	6.8	6.7	6.1	6.2	5.9	6.2	6.9	6.5
利用率(%)	54.2	56.7	58.3	55.8	50.8	56.7	55.8	50.8	51.7	49.2	51.7	57.5	54.2

[東山認知デイ] 定員：12人

月別 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
契約者数	23	23	25	25	24	22	23	22	24	23	23	27	284
延契約者数	224	235	236	224	207	194	184	182	226	227	201	222	2,562
1日平均契約者数	7.5	7.6	7.9	7.2	6.7	6.5	5.9	6.1	7.3	7.3	7.2	7.2	7.0
利用者数	21	19	23	22	21	20	20	22	23	22	22	24	259
延利用者数	170	182	171	191	160	194	167	179	184	168	163	190	2,119
1日平均利用者数	5.7	5.9	5.7	6.2	5.2	6.5	5.4	6.0	5.9	5.4	5.8	6.1	5.8
利用率(%)	47.5	49.2	47.5	51.7	43.3	54.2	45.0	50.0	49.2	45.0	48.3	50.8	48.3

注1) 契約者数：各月内に有効な契約期間が1日でも含まれていた契約者の数

注2) 延契約者数：各月の開所日ごとにその日を利用日とする契約者の月の延べ数

注3) 1日平均契約者数：延契約者数÷開所日数

注4) 利用者数：各月に1日でも利用をした利用者の数

注 5) 延利用者数：各日の利用者の月の延べ数
 注 6) 1 日平均利用者数：延べ利用者数÷開所日数
 注 7) 介護予防通所介護の利用者はいない
 注 8) 利用率（％）：1 日平均利用者数÷定員×100

(在宅 表 6) 利用者の年齢構成 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設別 年齢層別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40～59 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64 歳	0	0	0	0	0	0	0	1
65～69 歳	0	0	0	0	1	0	0	1
70～74 歳	0	0	0	4	1	0	0	0
75～79 歳	0	1	1	1	0	0	2	2
80～84 歳	1	3	2	3	2	3	3	0
85～89 歳	0	2	1	4	2	2	2	2
90～94 歳	0	11	2	3	0	5	2	6
95～99 歳	0	0	0	2	1	2	0	4
100 歳～	0	0	0	1	1	3	0	0
合計	1	17	6	18	8	15	9	16
最低年齢	82	78	78	72	67	83	75	62
最高年齢	82	93	93	100	101	102	94	99
平均年齢	82.0	88.4	85.3	85.1	83.6	92.0	83.6	87.5
	88.0		85.2		87.8		86.1	

(在宅 表 7) 利用者の要介護状態区分 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設別 区分別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
現在申請中	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
要支援 1	1	5.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
要支援 2	1	5.5	0	0.0	2	8.6	0	0.0
要介護 1	4	22.3	2	8.4	4	17.4	2	8.0
要介護 2	5	27.8	5	20.8	6	26.1	3	12.0
要介護 3	3	16.7	5	20.8	4	17.4	5	20.0
要介護 4	1	5.5	3	12.5	3	13.1	4	16.0
要介護 5	3	16.7	9	37.5	4	17.4	11	44.0
合計	18	100.0	24	100.0	23	100.0	25	100.0

(在宅 表 8) 平均介護度の推移

施設別 年度別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
令和 6 年度	2.4	3.5	2.6	3.7
令和 5 年度	2.3	4.0	2.4	3.6
令和 4 年度	2.5	3.9	2.5	3.7

注 1) 平均介護度計算：要支援 1、2 は 0.375 として算出

(1) 介護サービス

利用者の心身の状況に応じた援助を行いました。

(在宅 表 9) 日常生活動作等の状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

施設別 状況別		東が丘				東山			
		多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
登録・契約者数		18		24		23		25	
内訳		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
食事 介助	自立	15	83.3	10	41.7	17	74.0	2	8.0
	見守り等	1	5.6	3	12.5	2	8.7	8	32.0
	一部介助	0	0.0	4	16.6	1	4.3	8	32.0
	全介助	2	11.1	6	25.0	3	13.0	7	28.0
口腔 ケア	自立	13	72.2	4	16.6	9	39.1	0	0.0
	一部介助	4	22.2	10	41.7	9	39.1	15	60.0
	全介助	1	5.6	10	41.7	5	21.8	10	40.0
入浴 介助	自立	6	35.3	0	0.0	1	6.3	0	0.0
	一部介助	9	52.9	11	55.0	8	50.0	6	30.0
	全介助	2	11.8	9	45.0	7	43.7	14	70.0
	(リフト浴)	(0)	(0.0)	(16)	(80.0)	(4)	(25.0)	(1)	(5.0)
移動 介助	自立	9	50.0	4	16.6	10	43.5	2	8.0
	見守り等	2	11.1	4	16.6	3	13.0	2	8.0
	一部介助	5	27.8	7	29.2	6	26.1	5	20.0
	全介助	2	11.1	9	37.6	4	17.4	16	64.0
	(車椅子使用者)	(3)	(16.7)	(14)	(58.3)	(3)	(13.0)	(15)	(60.0)
移乗 介助	自立	12	66.7	4	16.7	11	47.8	2	8.0
	見守り等	2	11.1	3	12.5	5	21.7	1	4.0
	一部介助	2	11.1	9	37.5	4	17.4	6	24.0
	全介助	2	11.1	8	33.3	3	13.1	16	64.0
着脱 介助	自立	10	55.6	0	0.0	8	34.8	0	0.0
	見守り等	2	11.1	2	8.3	1	4.3	4	16.0
	一部介助	4	22.2	13	54.2	9	39.1	7	28.0
	全介助	2	11.1	9	37.5	5	21.8	14	56.0
排泄 介助	自立	5	27.8	1	4.2	14	60.9	1	4.0
	見守り等	3	16.7	6	25.0	0	0.0	3	12.0
	一部介助	8	44.4	6	25.0	7	30.4	4	16.0
	全介助	2	11.1	11	45.8	2	8.7	17	68.0

注 1) 入浴介助：入浴サービス利用契約者による値

(2) 入浴サービス

入浴を希望される利用者に週 1～2 回実施しました。入浴ではプライバシーに配慮し、利用者の障害や健康状態に応じて、機械浴・リフト浴・一般浴により行いました。

(3) 食事サービス

食事は、管理栄養士が作成したメニューに基づき常食のほか、主食では粥・ミキサー食等、副食では刻み食・極刻み食・ミキサー食等、利用者の咀嚼（そしゃく）機能、消化・吸収機能等の身体状況に合わせて提供しました。

なお、アレルギーなどで食べられない食品がある場合は、他の食品に代えて提供しました。

(在宅 表 10) 利用者の食事形態 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

施設別 形態別		東が丘		東山	
		多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
主 食	米飯	14	16	16	13
	全粥	3	6	5	7
	パン	1	0	0	0
	パン・粥ミキサー	0	1	2	1
副 食	常食	14	9	14	8
	刻み	3	5	6	7
	極刻み	1	8	1	5
	ミキサー食	0	1	2	1
経管栄養		0	1(0)	0	4(2)
その他 (持参)		0	0	0	0

注 1) 糖尿病・腎臓病等については別に個別対応

注 2) 経管栄養()内は経口摂取可能な利用者数

(4) 機能訓練サービス

利用者が日常生活を営むのに必要な筋力の維持・向上を図るための訓練を実施し、在宅で主体的な生活を送り、また社会参加ができるよう援助を行いました。

機能訓練の実施には、看護師や機能訓練指導員が関わる機会を作り、機能訓練の質の向上を図りました。

(5) アクティビティサービス

レクリエーション・趣味活動・体操・行事などの活動を通して、利用者相互の交流を深め、生きがいのある快適で豊かな日常生活を送れるよう支援しました。活動内容については利用者にアンケートを実施し、利用者自身が活動を選択し希望の活動に参加することにより、精神的満足度を高められる体制を整えました。新型コロナの感染予防のため中止していた演芸・演奏などのボランティアは受け入れを再開し利用者の皆さんに楽しんでいただきました。

(在宅 表 11) 主な実施行事

月	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
4	・お花見 ・中庭散歩	・お花見 ・中庭散歩 ・アロマの会	・お花見 ・お花見弁当 ・交通フェス	・お花見 ・交通フェス
5	・菖蒲湯 ・コーラス会	・菖蒲湯 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・香り湯 ・端午の節句 ・園芸 ・防災訓練 ・邦楽演奏会 ・近隣住宅訪問	・菖蒲湯 ・壁掛け作品作り

月	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
6	・外出（あじさい祭り）（東根小盆踊り） ・東が丘保育園児との交流	・しいの木喫茶 & おやつ作り ・アロマの会	・バイオリンコンサート ・防災訓練 ・民謡祭り ・かみよん工房仕事フェス	・外出（東山公園） ・壁掛け作品作り
7	・七夕 ・コーラス会 ・落語の会	・七夕 ・アロマの会 ・書道 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・七夕ウィーク ・バイオリンコンサート ・防災訓練 ・仁愛太鼓 ・古民家で七夕行事 ・金沢ウィーク ・遊び場づくり ・東山小学校盆踊り	・七夕 ・壁掛け作品作り
8	・夏祭り	・夏祭り ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・夏祭り（2日間） ・目黒歴史資料館 ・子ども神輿	・夏祭り ・防災避難訓練 ・壁掛け作品作り
9	・敬老会	・敬老会 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶 ・防災訓練	・敬老週間 ・バイオリンコンサート ・防災訓練 ・花火 ・古民家でお月見 ・目黒区展	・敬老会 ・壁掛け作品作り
10	・運動会 ・おやつ作り ・さくらさくみらい 保育園児と交流	・運動会 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・貝塚祭り ・防災訓練 ・目黒区音楽祭 ・日本舞踏大会 ・中目黒公園祭り ・東山幼稚園運動会 ・地域福祉のつどい	・おやつ作り ・壁掛け作品作り
11	・焼き芋の会 ・近隣へドライブ ・コーラスの会 ・総合防災訓練	・歌声喫茶 ・おやつ作り ・音楽レクリエーション ・アウトリーチコンサート ・外出（目黒歴史資料館）	・運動会 ・天空公園収穫祭 ・防災訓練 ・焼き芋 ・アニマルウォーキング ・活動見学会 ・合唱祭・文化祭 ・防災食試食会 ・近隣住宅訪問 ・社協館祭り ・東山小学校運動会	・運動会 ・壁掛け作品作り
12	・ゆず湯 ・望年会	・ゆず湯 ・望年会 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・ゆず湯 ・望年会 ・出前を楽しむ会 ・防災訓練 ・アニマルウォーキング ・がやがや館クリスマスコンサート	・ゆず湯 ・望年会 ・壁掛け作品作り ・ケーキ作り
1	・新年会 ・初詣 ・お楽しみ会	・初詣 ・新年会 ・書き初め ・歌声喫茶 ・音楽レクリエーション	・初詣（祐天寺） ・田道ふれあい館祭り ・新春バイオリンコンサート ・防災訓練 ・遊び場づくり ・目黒歴史資料館「昔の暮らしと道具展」	・初詣外出（祐天寺） ・お正月 ・お汁粉作り ・壁掛け作品作り
2	・節分 ・梅見ドライブ	・節分 ・音楽レクリエーション ・歌声喫茶	・節分 ・バイオリンコンサート ・防災訓練	・節分 ・壁掛け作品作り

月	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
	・さくらさくみらい 保育園児と交流 ・おやつ作り		・東山小学校展覧会 ・梅見外出	
3	・ひな祭り ・お花見 (中庭・ドライブ) ・おやつ作り	・ひな祭り ・お花見外出(祐天寺) ・歌声喫茶 ・音楽レクリエーション ・外出(中根住区センター文化祭) ・近隣散歩(区民キャンパス内公園)	・ひな祭り ・そして100年の音楽会 ・お花見ウィーク ・防災訓練 ・ラーメン外出 ・東山住区バザー	・ひな祭り ・家族懇談会 ・お花見

(6) 生活相談

利用者・家族が安心して在宅生活を継続できるよう、認知デイでは居宅介護支援事業所のケアマネジャー等とも連携を図り、介護、健康、栄養等について個別に助言を行い相談に応じました。

(7) 健康状態の確認

活動前のバイタルチェック、月1回の体重測定を実施しました。

また、利用中の体調変化等の疾病の早期発見に努め、健康状態に変化があった場合は家族へ連絡しました。

新型コロナに対する予防対策や感染症対策を「新型コロナウイルス感染症等対応事業継続計画」に基づき実施を徹底しました。

(在宅 表 12) 新型コロナ感染症発生状況 (延人数)

区分 \ 施設別	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
利用者	1	2	3	3
職員	2	4	2	2

(8) 家族との連携の充実

在宅介護の支援と情報提供を行うとともに、連絡ノート等を活用し利用者の在宅生活の状況や体調変化を共有できるよう家族との連絡を密にしました。

(在宅 表 13) 家族懇談会等実施状況

	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	回数	参加	回数	参加	回数	参加	回数	参加
家族懇談会	0	0	1	1	0	0	1	2
活動見学会	1	7	2	4	3	5	0	0

(9) 利用率向上の取り組み

多機能、認知デイともに利用率の向上に向け、居宅介護支援事業所、医療機関等の関係機関に対し、毎月空き情報等のお知らせの送付や訪問を重ねるなどPR活動に努め一定の利用者獲得はできましたが、一方で当センターを利用中の方が特養ホーム等への入所のため契約を解除される事例が相次いだため、前年度から更に利用率が低下する結果となりました。

5 運営管理

(1) 会議・委員会

特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所等が併設されている施設機能を有効に活用し、職員相互の理解と協力により利用者のニーズに応えるとともに、合理的な施設運営を行うための意見交換並びに検討の場として各種会議・委員会を開催しました。

施設間の会議については、感染症予防対策のため WEB 会議も活用しながら開催しました。

(在宅 表 14) 各種会議・委員会

施設合同会議		
会議名	内容	開催回数
在宅担当者会議	2 施設共通の課題の検討、事業の報告等を実施しました。	年 5 回 (紙面・WEB・ 対面を活用)
課長会議	事業計画の方針、実施結果の評価など施設運営全般に関する事項を協議、決定しました。	月 1～2 回
施設運営会議	施設運営全般に関する事項の具体的な審議、事業計画方針に基づく具体的な内容の検討をしました。	月 1 回
防災会議	毎月 1 回防災巡回を実施し、改善点の検討、訓練の具体的な内容の検討、意見調整等を行い、効果的な訓練を実施	月 1 回
感染症対策会議	感染症の予防対策と発生時の対応を検討しました。定期的、臨時に会議を開催し感染症拡大を未然に防ぐための対策を検討・実施	3 月に 1 回
多機能会議	利用者サービス・業務に関すること	月 1 回
デイホーム会議 (認知デイ)	利用者サービス・業務に関すること	月 1 回
ケース会議	通所介護計画の作成・検討・評価	月 1～2 回
サービス担当者会議	小規模多機能居宅介護計画書の作成・検討・評価	月 1～2 回
研修委員会	研修開催についての検討実施	2 月に 1 回
苦情解決委員会	苦情要望の内容について検討実施	月 1 回
衛生委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討・実施	月 1 回
虐待防止検討委員会 人権委員会	虐待防止・個人情報保護・成年後見人について実施	月 1 回
事故防止委員会	発生した事故やヒヤリハットを分析し、介護事故防止のための対策を検討し、防止策を周知・実施	2 月に 1 回
腰痛予防委員会	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生の管理に関し、産業医の助言を受けて検討・実施	2 月に 1 回
省エネ委員会	施設における省エネ対策を検討・実施	年 3 回

(2) 研修

職員の資質向上のため、施設内で年間研修計画を作成し、感染症予防対策を講じて計画的に研修を実施するとともに、日常の業務を通しての OJT を実施しました。

また、東京都社会福祉協議会等、他の関係機関、団体が実施する外部の研修（WEB 研修を含む）に参加しました。

事業団が毎年委託にて実施する職層研修は、今年度も予定通り実施され対象職員が参加しました。

(在宅 表 15-1) 外部研修

[東が丘]

研修名	主催等	参加人数
認知症介護実践者研修	東京都福祉人材センター研修室	1
認知症対応型サービス事業管理者研修	東京都福祉人材センター研修室	1
介護職員のためのスキルアップ研修	目黒区	4
認知症介護基礎研修	認知症介護研究・研修仙台センター	3
介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修	東京都福祉保健財団	2
認知症講座	松沢病院	4
西部地区「在宅療養・介護連携に関する研修」	西部包括支援センター	1
西部地区認知症地域支援連絡会	西部包括支援センター	1

[東山]

研修名	主催等	参加人数
在宅療養研修	北部包括支援センター	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「緊急時の介護 とっさの症例判断・対応」	目黒区	1
認知症講座 「怒るってなんだろう」	松沢病院	1
認知症講座 「認知症治療薬のお話」	松沢病院	1
人生 100 年時代の健康シニアライフ 明日を元気に楽しむコツ	北部いきいき支え合いネットワーク	1
50 代向けキャリアデザイン研究 人生 100 年時代のマナーとキャリアを考える	インソースセミナー	1
中堅職員研修 管理職を補佐し、部の成果を出す	インソースセミナー	1
移乗動作の基本 これで明日から安心移乗	目黒区	1
認知症講座特別企画 「認知症と向き合っていく」	松沢病院	5
認知症介護実践者研修	東京都福祉人材センター研修室	1
「BPSD 症状のある人を地域で支えるために」	北部地区在宅療養研修・居宅介護支援事業者連絡会	1
管理職向け研修 マネージャーとしての課題を整理する	インソース公開セミナー	1
介護職員のためのスキルアップ研修 「メンタルヘルスケアのためのカスタマーハラスメント対策」	目黒区	1

(在宅 表 15-2) 法人研修 (再掲)

研 修 名	参加人数	
	東が丘	東山
新任職員研修	0	0
入社 2 年目研修	1	0
サービス専門職 A4 年目研修	0	1
サービス専門職 A7 年目研修	1	0
サービス専門職 A9 年目研修	0	0
指導職 2 級昇格者研修	0	0
指導職 1 級昇格者研修	0	0

研 修 名	参加人数	
	東が丘	東山
管理職 2 級昇格者研修	0	0
管理職 2 級 3 年目研修	0	0

(在宅 表 15-3) 主な施設内研修実施回数 (全職員対象)

研修名	研修内容	参加人数	
		東が丘	東山
職層研修	中堅職員研修、指導職員研修 管理職員研修	2	1
人権研修	虐待防止、個人情報保護、ハラスメント	2	18
身体的拘束適正化研修	身体的拘束の適正化、指針に基づいた 研修内容	2	9
リスクマネジメント研修	事故防止・大規模災、苦情対応害等	3	4
感染症予防研修	食中毒予防、感染性胃腸炎やインフル エンザへの対応	3	1
介護技術研修	サービスマナー研修、ポジショニング 研修、食事介助・栄養研修・入浴介助	2	6
緊急対応研修	緊急対応 (事例検討含む)	1	個別
認知症研修	認知症についての理解、周辺症状等につ いて	2	個別
レクリエーション研修	各状況に応じたレクリエーションの 紹介、各フロアでの情報交換等	0	0
個人情報保護研修	個人情報保護について	0	6
申し送り・報連相研修	マニュアルを使用しポイントを確認する	0	0

(3) 苦情・要望

事業所ごとにサービス内容に関する相談や苦情の窓口及び責任者を設置し、規程により
要望・苦情等に速やかに対応できる体制を整えています。

(在宅 表 16) 苦情・要望の件数

施設別 区分	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
苦情件数	1	1	1	1
処理件数	0	0	1	1
要望件数	0	1	1	2

(4) 安心・安全なサービス提供

各施設において身体拘束を行うことなく、また、事故の防止に努め安心で安全な環境を提供
しました。

高齢者を介護・支援する過程においては、事故が起こる可能性が常にあるため、安全な環境
かどうか常に見直しを行い、介助方法の統一を図りケアプランに基づいた安心・安全なサービ
ス提供を行いました。

(在宅 表 17) 事故件数

施設別 区分	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
事故総数 (転倒・外傷等)	5(0)	3(0)	18(4)	4(1)
ヒヤリハット	7	4	8	7

注 1) () 内は事故総数のうち、通院し医療機関で治療検査受けかつ目黒区に届け出た件数

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(5) 個人情報保護

当事業団における個人情報保護規程に基づいて個人情報の利用目的を明示し、全利用者に対して説明の上、同意を得て個人情報を取り扱いました。

情報開示については、事業団の情報開示規程に基づき行います。

(在宅 表 18) 情報開示申請数

施設別 申請数	東が丘		東山	
	多機能	認知デイ	多機能	認知デイ
情報開示申請数	0	0	0	0

(6) 利用前の事前説明

利用にあたっては、利用前に自宅へ訪問し、契約書・重要事項説明書、サービス内容やサービス提供体制などについて、理解していただけるように説明しました。

また、小規模多機能型居宅介護計画書や認知症対応型通所介護計画書の作成にあたっては、利用者の要望に沿って作成し、丁寧に説明を行い利用者の承諾を得る等、利用者が利用に際して意思決定がスムーズにできるように支援しました。

小規模多機能型居宅介護の利用開始にあたっては、サービスに関しての説明を十分に行い、利用がスムーズに移行できるように、利用前のケアマネジャーや利用事業所からの引継ぎ等を密に行い、居宅サービス計画書を作成しました。

(7) 防災対策

消防法の規定により策定した消防計画に基づき、感染症予防のため規模を縮小するなど内容を変更し、職員及び利用者による避難、通報、消火等の訓練を行いました。

(8) 地域との交流・ボランティアの受入れ

新型コロナへの感染予防対策を講じ、理・美容、バイオリン演奏や夏体験ボランティアなどを受入れました。

(在宅 表 19) ボランティアの受入れ状況

施設別 内容別	東が丘				東山			
	多機能		認知デイ		多機能		認知デイ	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
生活支援	2	2	3	3	1	4	0	0
クラブ活動支援	1	4	0	0	6	18	6	18
技術支援	2	27	2	22	1	38	1	7
定例行事支援	18	24	9	18	15	44	15	44
行事支援	9	13	20	20	4	12	4	12

注 1) 生活支援…散歩、話し相手、清掃、洗濯たたみなど

注 2) 技術支援…理美容

(9) 実習生、研修生、中学生の体験学習等の受入れ

各施設において、実習生、研修生及び中学生の体験学習等の受入れを新型コロナの感染状況を見極め、可能な限り受入れを行いました。

(在宅 表 20) 実習生等の受入状況

[東が丘]

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	12	60
合計		12	60

〔東山〕

実習依頼校等	実習目的	実人数	延日数
東京都社会福祉協議会（各大学）	教員免許介護等体験	23	115
合計		23	115

(10) 運営推進会議

施設を地域に開かれたものとし、サービスの質の向上を図ることを目的として、多機能は2か月に1回、認知デイは6か月に1回開催しました。ご家族をはじめ、地域の方や目黒区、包括支援センター職員に出席いただき、事業所のサービス向上につながるようにしました。

(在宅 表 21) 運営推進会議の開催状況

〔東が丘多機能〕

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
5/16	4	2	3	1	3	利用者状況、運営状況、事故や苦情の説明、意見、情報交換、外部評価(1・3月)
7/18	2	2	2	1	3	
9/19	3	2	0	1	3	
11/21	2	2	1	2	3	
1/23	2	2	1	1	1	
3/13	2	2	2	1	2	

〔東山多機能〕

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
5/23	2	0	4	2	3	利用者状況、運営状況、事故や苦情の説明、意見、情報交換、外部評価(11・1・3月)
7/25	2	0	3	2	3	
9/26	2	0	4	1	3	
11/28	2	0	4	2	4	
1/23	3	0	4	2	3	
3/21	2	0	4	2	4	

〔東が丘認知デイ〕

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
5/18	3	0	3	1	3	運営状況、事業計画説明(5月)、事故や苦情等の説明、意見、情報交換
11/16	4	0	1	2	2	

〔東山認知デイ〕

月日	参加人数					内容
	家族	利用者	地域	区	施設	
11/28	3	0	4	2	4	利用者状況、運営状況、事故や苦情等の説明、意見、情報交換
3/21	1	0	4	2	4	

第3 ケアプランセンター

各ケアプランセンターで、介護保険法に基づく指定居宅介護支援事業所として居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等を行うとともに質の高いケアマネジメントの実施に取り組みました。

新型コロナの感染予防対策は、継続して実施しました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1)人権意識の徹底を図り、虐待防止に取り組みます	・東京都や目黒区の虐待防止研修を受講した職員が、その内容を他の職員に周知し共有しました。 ・併設の特別養護老人ホームと共に、月1回「虐待セルフチェックシート」を作成し、職員自らの行動を振り返る機会を作りました。 ・地域包括支援センターと連携・協力し、地域で暮らす要介護者などの在宅生活の相談支援を総合的に行いました。
(2)収益の改善に向け取り組みを強化します	職員体制の充実を図るとともに、介護保険の体制加算取得などにより収支改善を図りました。
(3)研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	・各職員のスキルの状態に応じた研修に参加し、対人援助、介護支援専門員としてのスキルをさらに向上させました。 ・毎日のミーティングをはじめ、ケース会議、センター会議をとおり、職員間の連携を図り専門性を高めました。

（ケア 表1）利用率

	東山		さんホーム目黒	
	介護	介護予防	介護	介護予防
令和6年度	88.8%	25.3%（100件）	95.3%	47.1%（229件）
令和5年度	92.8%	41.5%（173件）	95.3%	73.6%（236件）
令和4年度	87.2%	42.7%（123件）	98.6%	108.0%（323件）

（ ）は延べ委託契約件数

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

（1）東山

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者や家族との連絡方法の検討、より効果的な相談援助の手段について考え取り組みます	・連絡方法として今年度から携帯電話が4台となり、訪問先、外出先で随時連絡調整できる手段を整えました。 ・メール連絡についても検討を進め、来年度の運用に向け準備を進めました。 ・今年度実施した第三者評価では総合的評価において9割以上の利用者から大変満足、満足との評価を頂きました。

（2）さんホーム目黒

改善事項	具体的な取り組みと結果
利用者の不安や迷いに寄り添った支援を継続する	・訪問先でも過去の相談履歴や介護保険情報などが確認できるように、ケアマネ専用アプリを搭載したタブレット端末とWi-Fiを訪問へ持参し、迅速にプランの提示等を行い利用者の不安に寄り添った支援を継続しました。 ・今年度実施した第三者評価では総合的評価において9割以上の利用者から大変満足、満足との評価を頂きました。

3 居宅介護支援事業

(1) 居宅サービス計画の作成

居宅サービス計画（ケアプラン）作成においては利用者宅を訪問し、利用者及び家族に面接して要望・意見を聞き取り、支援するうえで解決すべき課題の把握及び分析を行い、介護保険法の自立支援の観点に立って作成しました。

また、毎日のミーティングでケース報告を丁寧に時間をかけて行い、作成したケアプランが「自立支援」に資する適切なものであるか、運営基準、解釈通知に適合しているかを職員相互で検証しました。

(2) サービス事業者との連絡調整

当該地域における居宅サービス事業の内容を把握するために、事業者連絡会に積極的に参加し、情報収集に努めるとともに、サービスを安定して提供できるように事業者との連絡調整を行いました。

特に併設のサービス事業所（通所介護・短期入所生活介護等）とはその利点を活かし、利用者情報の交換を積極的に行いました。

(3) 居宅サービス計画の実施状況把握

居宅サービス計画作成後においても、利用者宅を訪問して課題把握を行い、居宅サービス計画の実施状況把握に努めました。把握した課題について所内の職員ミーティングにて検討し、他職員からの助言や意見を活かし改善に努めました。

前年度に引き続き、新型コロナの感染予防のため、訪問から電話に切り替えて課題の把握を行うなど柔軟に対応しました。

(4) サービス担当者会議の開催

居宅サービス計画を効果的なものとするために、必要に応じてサービス担当者会議を開催し、広く利用者・家族及びサービス担当者、関係者から意見を求めました。

(5) サービス提供方法の説明等

制度やサービスの内容については、パンフレット等を活用し分かりやすい説明に努めました。

利用者が複数のサービス事業者紹介やサービス事業者等の選定理由の説明を求めることができることを契約書に記載し、利用者に説明しました。

(ケア 表 2) ケアプラン作成件数（要介護のみ）

〔東山〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約件数(月末)		139	140	138	138	136	136	136	132	132	130	128	128	
介護給付実績件数	要介護1	52	50	50	51	51	50	49	50	49	43	43	41	579
	要介護2	39	40	37	34	32	32	32	32	32	30	32	31	403
	要介護3	30	28	31	30	28	28	31	29	28	27	28	29	347
	要介護4	6	4	3	3	6	6	5	5	4	4	4	7	57
	要介護5	8	10	10	10	8	7	8	9	9	10	9	8	106
	合計	135	132	131	128	125	123	125	125	122	114	116	116	1,492
	利用率(%)	96.4	94.3	93.6	91.4	89.3	87.9	89.3	89.3	87.1	81.4	82.9	82.9	88.8
新規契約件数		5	1	1	2	2	3	3	1	2	2	1	2	25
契約終了件数		0	3	2	5	2	3	4	3	4	3	2	1	32

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設入所	0	1	2	1	2	2	1	1	1	2	1	0	14
	長期入院	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	死亡	0	1	0	1	0	0	2	2	2	0	1	1	10
	その他	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	6

〔さんホーム目黒〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約件数(月末)		112	125	122	139	145	143	146	149	146	145	142	144	
介護給付実績件数	要介護1	34	41	47	50	57	55	54	53	50	53	50	54	598
	要介護2	34	42	38	36	32	36	39	41	43	38	39	40	458
	要介護3	16	20	19	21	21	21	25	20	20	22	19	19	243
	要介護4	12	13	14	11	15	20	19	15	13	13	15	12	172
	要介護5	9	8	9	10	10	11	11	11	12	13	13	13	130
	合計	105	124	127	128	135	143	148	140	138	139	136	138	1,601
	利用率(%)	75.0	88.6	90.7	91.4	96.4	102.1	105.7	100.0	98.6	99.3	97.1	98.6	95.3
新規契約件数		3	18	2	18	8	3	5	6	2	3	2	7	77
契約終了件数		10	5	5	1	2	5	2	3	5	4	5	5	52
契約終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援へ	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	4
	施設入所	2	3	4	1	1	3	0	0	3	2	2	2	23
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	2	1	0	0	1	1	2	1	1	2	1	2	14
	その他	6	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	11

注1) 利用率(%)＝介護給付実績件数÷介護支援専門員担当数合計(35件×職員数)

注2) 月遅れ請求の場合は、国保連へ請求した月に計上

4 介護予防支援事業

包括支援センターとの委託契約に基づき、依頼のあった利用者に対し、利用者本位の自立した生活が送れるよう計画を作成し支援しました。

(ケア表3) 予防プラン作成件数(要支援のみ)

〔東山〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数(月末)		9	8	8	9	8	9	10	10	7	7	7	8	
予防給付実績件数	要支援1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	2	3	3	25
	要支援2	8	7	7	6	6	6	6	6	6	5	4	5	72
	合計	9	8	8	8	8	8	8	9	9	7	7	8	97
	利用率(%)	28.1	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	28.1	28.1	21.9	21.9	25.0	25.3

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規受託件数	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	4
受託終了件数	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	5
受託終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護へ	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〔さんホーム目黒〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受託件数(月末)	19	17	17	17	18	19	19	20	22	20	21	20	
予防給付実績件数	要支援1	4	4	4	4	4	5	6	7	6	7	6	61
	要支援2	9	11	10	9	9	10	11	10	10	10	10	120
	合計	13	15	14	13	13	14	17	17	16	17	16	181
	利用率(%)	40.6	46.9	43.8	40.6	40.6	43.8	50.0	53.1	53.1	50.0	53.1	47.1
新規受託件数	0	0	0	1	1	2	1	1	2	0	1	0	9
受託終了件数	3	2	0	1	0	1	1	0	0	2	0	1	11
受託終了理由	非該当へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護へ	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1	5
	施設入所	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3
	長期入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

注1) 利用率(%)＝予防給付実績件数÷介護支援専門員担当上限数合計(8件×職員数)

注2) 月遅れ請求の場合、国保連へ請求した月に計上

5 介護保険認定調査

目黒区との契約に則り、介護保険認定調査を行いました。

(ケア表4) 介護保険認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	12
さんホーム目黒	2	2	2	2	2	1	3	2	2	2	2	2	24

6 運営管理

(1) 会議・委員会

利用者サービス向上と施設運営を円滑に行うため、必要に応じて各種会議を開催しました。

また、併設する特別養護老人ホームとは、施設環境や防災体制の整備に協同で取り組みました。

(ケア 表 5) 各種会議〔東山・さんホーム目黒共通〕

会議名	内容	開催回数
ケアプランセンター 担当者会議(WEB)	ケアプランセンター事業運営全般の検討・調整、重点 項目、改善事項についての進捗報告、危機管理に関する こと、苦情に関すること	1 回/2 か月
ケアプランセンター 所長会	業務の見直し及び評価、連絡調整、情報交換 オンライン開催	1 回/2 か月
ケアプランセンター 会議	業務の見直し及び評価、連絡調整、情報交換	第 1・3 週
ケース会議	ケースにかかる課題分析・解決策の検討 利用者のニーズに基づくケアプランの作成・検討・評価	月 1 回

注 1) さんホーム目黒におけるケアプランセンター会議及びケース会議の開催は、適宜での開催

(2) 研修

職員の資質向上のため、東京都、目黒区その他の関係団体が実施する外部の研修に積極的に参加したほか、部内・センター内でも職場研修を実施しました。

また、これらの研修のほか、日常の職務を通しての OJT に努めました。

(ケア 表 6-1) 外部研修

研修名	主催者	東山	さんホーム 目黒
目黒区主任介護支援専門員連絡会研修	目黒区	5	8
目黒区認定調査員現任研修	目黒区	1	0
地区介護支援専門員連絡会幹事会研修	包括支援センター	該当無	該当無
地区高齢者虐待防止研修	包括支援センター	1	1
地区認知症地域支援連絡会	包括支援センター	2	1
地区多職種研修	包括支援センター	1	0
事業者連絡会全体会研修 (年 5 回)	目黒区事業所連絡会	5	5
事業者連絡会ケアマネ研修 (年 4 回)	目黒区事業者連絡会 ケアマネ分科会	16	10
介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修	東京都	1	1
東京都介護支援専門員更新研修	東京都	該当無	該当無
東京都主任介護支援専門員更新研修	東京都	該当無	該当無
東京都主任介護支援専門員研修	東京都	1	1
特定事業所合同研修・事例検討会	地区特定事業所	1	1
目黒区介護支援専門員現任研修	目黒区介護保険課	2	4
目黒区主任介護支援専門員研修	目黒区介護保険課	2	2

(ケア 表 6-2) 法人包括・施設部内・センター内研修

研修名	講師	東山	さんホーム 目黒
人権研修	施設部内講師・所長	1	1
センター内研修	施設部内講師・職員	12	11

(3) 苦情・要望

(ケア 表 7) 苦情・要望の件数

	令和 6 年度		令和 5 年度	
	東山	さんホーム 目黒	東山	さんホーム 目黒
苦情件数	0	0	0	0
要望件数	0	0	0	0

(4) 防災対策

大規模災害発生時に備え、利用者安否確認名簿を作成・更新し、安否確認への備えを行うとともに、併設する特別養護老人ホームと連携し、防災訓練、継走訓練及び感染症対策など、災害発生時に備えました。

(5) 実習生・研修生等の受け入れ

(ケア 表 8) 実習生等の受入状況

実習名	実習者	東山	さんホーム 目黒
介護支援専門員実務研修実習	介護支援専門員実務研修受講者	0	2
合計		0	2

第4 心身障害者センター

障害にかかわる各種相談、デイサービス等の生活支援など、心身障害者に対して総合的なサービスを提供しました。

新型コロナの感染予防対策は継続して実施しました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) 区と連携し指定特定相談支援の充実化を図ります。(継続)	計画相談支援においては、組織体制を強化することにより、困難ケース等の新規の受入れ要請があった場合でも、区立事業所の特性を踏まえ原則として受入れることを前提に積極的に対応しました。
(2) 心身障害者センター事業のさらなる周知に努めます。	活動見学会や施設見学バスツアーの実施等、事業のPRの機会を増やしたことにより、各事業において安定した利用者数を維持することができました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
空調設備の改善等安心してご利用いただけるよう環境整備に努めます。	利用者からの意見として挙がっていた活動室の温湿度について、設備管理と連携を図り空調を見直し、レンタルでの送風機の導入など環境整備を行い体調面の影響が無いようにしました。

3 サービス内容

(1) 障害者総合支援法に基づく事業

① 特定相談支援事業

ア 計画相談支援

相談支援専門員が、障害福祉サービス利用に関するサービス等利用計画の相談、作成等に対応しました。

(心障 表 1-1) 計画相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	366	655	546	543	538	551	511	501	495	549	489	520	6,264

(心障 表 1-2) 計画相談内容件数(重複計上)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	108	236	142	143	140	140	102	103	122	127	140	116	1,619
重度訪問介護	2	8	32	17	24	14	7	4	13	63	13	9	206
同行援護	5	3	3	6	0	4	2	8	4	11	1	2	49
行動援護	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
療養介護	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	4
生活介護	19	38	25	31	55	53	49	19	26	80	12	27	434
短期入所	18	40	41	55	30	48	43	21	22	20	32	23	393
重度障害者等包括支援	0	0	0	0	0	0	2	0	3	43	0	1	49
グループホーム	37	65	57	41	75	51	49	50	66	52	50	43	636

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
施設入所支援	8	22	6	12	11	12	20	11	8	6	3	8	127
自立訓練	8	6	4	5	19	13	11	19	9	12	10	19	135
就労移行支援	11	7	19	18	22	40	20	16	28	75	16	32	304
就労継続支援	28	42	37	94	50	50	59	56	55	45	56	61	633
就労定着支援	0	14	3	5	8	7	9	9	8	50	7	10	130
自立生活援助	3	0	1	0	2	0	0	0	1	11	0	0	18
その他	174	177	168	157	196	173	235	199	239	172	186	236	2,312
計	428	658	538	584	635	605	608	515	604	768	526	587	7,056

(心障 表 1-3) 計画作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	0	1	3	4	5	8	4	1	3	2	4	1	36
継続契約者	7	13	8	14	17	9	8	10	6	12	12	14	130
計	7	14	11	18	22	17	12	11	9	14	16	15	166

(心障 表 1-4) モニタリング件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	0	0	3	2	6	6	4	0	0	0	1	1	23
継続契約者	35	37	36	42	55	43	28	32	38	41	41	44	472
計	35	37	39	44	61	49	32	32	38	41	42	45	495

イ 基本相談支援

リハビリテーション科医師、相談支援員等がリハビリやサービス利用に関する相談等に対応しました。

(心障 表 2-1) 基本相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	71	59	45	63	36	55	23	55	38	62	43	31	581

(心障 表 2-2) 基本相談内容件数（重複計上）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
障害福祉サービス利用	61	42	43	40	33	44	18	45	33	45	34	22	460
地域活動支援センター利用	9	10	9	20	9	9	4	9	5	8	5	3	100
配食サービス利用	1	10	4	6	2	0	0	2	0	2	1	0	28
福祉機器相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学的相談	2	0	2	3	2	2	2	4	3	2	2	2	26
対人関係	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
金銭管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康管理	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
生活設計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
その他	1	4	1	1	1	0	1	1	0	3	0	1	14
計	74	69	59	70	47	55	25	61	41	63	42	28	634

② 短期入所事業

心身に障害があり、保護者が緊急な事情等で一時的に保護が必要な時や、自立のための生活体験を希望される時、宿泊を伴う介助・支援を行いました。

(心障 表 3) 短期入所利用状況 定員 2 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
提供日数		30	31	30	31	31	30	31	30	29	31	28	31	363
契約者数		20	23	21	19	23	19	25	22	21	19	18	23	
内訳	男	14	13	13	9	16	11	18	12	12	11	12	14	
	女	6	10	8	10	7	8	7	10	9	8	6	9	
延利用者数		64	65	72	69	62	56	78	75	52	57	62	77	789
1 日平均利用者数		2.1	2.1	2.4	2.2	2.0	1.9	2.5	2.5	1.8	1.8	2.2	2.5	2.2

③ 生活介護事業

重度の肢体不自由及び重度の知的障害がある利用者に対し、日常生活援助、生産活動、社会参加活動、ストレッチ等の身体活動などを行い、あわせて医療的ケアを要する利用者の受け入れについて、対応の安定に努めました。

また、宿泊行事について、医療的ケアを要する利用者が参加できる宿泊先を新たに開拓し、実施しました。

(心障 表 4) 生活介護事業利用状況 定員：21 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数		21	21	20	22	21	19	22	20	19	19	18	20	242
契約者数		13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	
内訳	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	
延利用者数		258	257	242	268	263	229	261	247	233	227	184	212	2,881
1 日平均利用者数		12.3	12.2	12.1	12.2	12.5	12.1	11.9	12.4	12.3	11.9	10.2	10.6	11.9

(心障 表 5) 生活介護事業活動内容

グループ	主な活動
ぶらたなす	マットで体操、身体機能・感覚機能に働きかける活動、レクリエーション、散歩など
けやき	体操、織物作業、園芸、レクリエーション、外出、など

(心障 表 6) 生活介護事業主な実施行事

月	けやきグループ	ぶらたなすグループ
4	歓迎会、園芸	歓迎会、園芸、散歩
5	鯉のぼり会、家族懇談会、園芸 目黒市民コンサート、避難経路確認	鯉のぼり会、家族懇談会 目黒市民コンサート、園芸
6	防災訓練、園芸、じゃがいも掘り	防災訓練、園芸
7	七夕会、健康診断、園芸	七夕会、健康診断、園芸、外出(中目黒)
8	スイカ割り	スイカ割り、外出(八雲図書館)
9	外出(八雲図書館)、外出(買物)、園芸、家族懇談会	外出(買物)、バスドライブ 家族懇談会 園芸

月	けやきグループ	ぷらたなすグループ
10	宿泊体験(舞浜、品川)、買物(駄菓子屋)	宿泊体験(舞浜、品川)
11	買物(近隣スーパー)、パーシモンホール アウトリーチプログラム、あいアイまつり	買物、散歩(秋さがし)、パーシモンホール アウトリーチプログラム、あいアイまつり
12	クリスマス会、家族懇談会、外出(八雲図書 館)、防災訓練、園芸	クリスマス会、家族懇談会、外出(駒沢公 園)、防災訓練
1	新年会、初詣(氷川神社)	新年会、初詣(氷川神社)
2	節分会、外出(八雲図書館)	節分会、外出(八雲図書館)
3	雛祭り会、外出(こぶしえん)、家族懇談会、 お花見、終了式	雛祭り会、家族懇談会、お花見、終了式

(心障 表 7) 時間外受入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者延数	2	2	2	1	0	2	2	1	2	2	0	1	17
利用時間数	2	2	1	1.5	0	1.5	1.5	0.5	1.5	1	0	1	13.5

④ 障害者活動訓練事業

ア デイサービスコース

病気や事故等により身体に障害を有することとなった方に対し、生活のリズム作りと心身機能維持を目的として、個別の支援計画を立て、グループでの運動や趣味・生きがい活動、外出等のサービスを提供しました。

また、利用者個々のニーズに応える活動として「ショートリハ」等、全般に満足度向上につながりました。

(心障 表 8) デイサービスコース利用状況

〔A コース (月・水・金)〕 定員 15 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	12	12	12	13	12	11	12	12	11	11	11	13	142
契約者数	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	
内訳	男	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	10	
	女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
延利用者数	131	118	129	140	119	135	143	146	132	132	131	150	1,606
1日平均利用者数	10.9	9.8	10.8	10.8	9.9	12.3	11.9	12.2	12.0	12.0	11.9	11.5	11.3

〔B コース (火・木)〕 定員 15 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	9	9	8	9	9	8	10	8	8	8	7	7	100
契約者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
内訳	男	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
	女	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
延利用者数	93	99	99	90	78	82	97	97	90	76	73	80	1,054
1日平均利用者数	10.3	11.0	12.4	10.0	8.7	10.3	9.7	12.1	11.3	9.5	10.4	11.4	10.5

(心障 表9) デイサービスコース活動内容

コース	主な活動
A コース (月・水・金)	体操、口の体操、歌、散歩、レクリエーション、趣味活動（組紐、手芸、頭の体操、塗絵、レジン、草履作り、パソコン、ゲーム、カラオケ、映画等）、一日外出、半日外出、季節行事、個別リハビリテーション、個別の言語障害・認知障害への取り組み、個別相談(看護師、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士)
B コース (火・木)	体操、頭の体操、レクリエーション、趣味活動（組紐、手芸、レジン、ゲーム、パソコン、麻雀、映画等）、一日外出、半日外出、季節行事、個別リハビリテーション、個別の言語障害・記憶障害への取り組み、個別相談（看護師、心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士）

(心障 表10) デイサービスコース主な実施行事

月	A コース行事	B コース行事
4	オリエンテーション	オリエンテーション
5	半日外出	半日外出
6	半日外出	半日外出
7	七夕会	
8	スイカ割り	スイカ割り
9		
10	一日外出	一日外出
11	あいアイまつり	あいアイまつり、半日外出、パーシモンホールアウトリーチプログラム
12	一日外出	
1	書き初め、一日外出	書き初め
2	一日外出	活動見学会
3	お花見、修了会	お花見、修了会

イ 機能訓練コース

主に脳血管障害、外傷等の中枢神経障害（脊髄損傷含む）の方に対し、機能維持・向上を目的として集団体操等を行いました。

また、活動アンケートを行い、利用者個々のニーズを聞き取り、実施につなげました。その結果、高い満足度となりました。

なお、相談窓口を通じての車椅子等の作製に係る評価や助言等も行いました。

(心障 表11) 機能訓練コース利用状況

〔A コース（月・水・金）〕 定員8人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	12	12	12	13	12	11	12	12	11	11	11	13	142
契約者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	
内訳	男	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	
延利用者数	56	46	58	64	58	59	55	61	55	55	52	61	680
1日平均利用者数	4.7	3.8	4.8	4.9	4.8	5.4	4.6	5.1	5.0	5.0	4.7	4.7	4.8

〔B コース（火・木）〕 定員 8 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数		9	9	8	9	9	8	10	8	8	8	7	7	100
契約者数		10	10	11	10	10	9	9	9	9	9	9	9	
内訳	男	8	8	9	8	8	7	7	7	7	7	7	7	
	女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
延利用者数		56	60	50	50	47	44	54	44	43	36	32	38	554
1 日平均利用者数		6.2	6.7	6.3	5.6	5.2	5.5	5.4	5.5	5.4	4.5	4.6	5.4	5.5

（心障 表 12）機能訓練コース活動内容

コース	主な活動
A コース （月・水・金）	はじめの会、体操(マット、椅子)、創作活動(組紐、水引、レジン、革細工、絵手紙等)、歩行練習、ストレッチ、ストレッチポール、ホットパック、個別活動計画面談、外出、個別リハビリテーション
B コース （火・木）	はじめの会、体操（マット、椅子、立位）、個別活動計画面談、外出、個別リハビリテーション、屋外歩行

（心障 表 13）機能訓練コース主な実施行事

	A コース行事	B コース行事
4		
5		外出交流会
6	外出交流会	
7	外出交流会	
8		
9		
10		
11	あいアイまつり	あいアイまつり
12	クリスマス交流会	クリスマス交流会
1		
2		活動見学会
3	終了式	外出交流会、終了式

⑤ 施設入浴サービス事業

身体に障害のある方で自宅での入浴が困難な方に、施設において機械浴槽または一般浴槽による入浴支援を行いました。

また、季節湯を実施しました。

（心障 表 14）施設入浴サービス事業利用状況

〔機械入浴〕

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約者数		25	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	
内訳	男	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
	女	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
延利用者数		106	109	94	109	112	102	106	100	93	100	88	98	1,217

〔介助入浴〕

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数		28	27	28	28	28	29	29	29	28	27	27	27	
内訳	男	18	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	
	女	10	10	11	11	11	11	11	11	10	9	9	9	
延利用者数		99	99	94	107	86	96	99	93	88	81	76	80	1,098

(心障 表 15) 季節湯実施状況

内容	期間
菖蒲湯	4月29日～5月3日
ゆず湯	12月18日～12月24日

⑥ 巡回入浴サービス事業

身体に障害のある方で自宅での入浴が困難な方に、自宅において巡回入浴車による入浴支援を行いました。

(心障 表 16) 巡回入浴サービス事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数		10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	10	
内訳	男	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	女	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	4	
延利用者数		35	36	32	34	37	30	34	32	28	27	28	35	388

(2) その他法令に基づく事業

① 訪問食事サービス事業

心身に障害があり、一人暮らし等で調理が困難な方に昼食を提供するとともに、安否確認を実施しました。

(心障 表 17) 訪問食事サービス事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
提供日数		22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	20	255
契約者数		21	21	21	22	22	22	22	22	20	20	20	20	
内訳	男	13	12	12	13	13	13	13	13	12	13	13	13	
	女	8	9	9	9	9	9	9	9	8	7	7	7	
延利用者数		150	146	137	175	169	142	159	143	130	125	129	140	1,745
1日平均利用者数		6.8	6.3	6.9	7.6	7.7	6.8	6.9	6.8	6.5	6.3	6.5	7.0	6.8

② 心身障害者に関する啓発

心身障害者に関する啓発のための講座や地域との協力事業等各種事業を実施しました。

(心障 表 18) あいアイ講座「ことばの集い」実施状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数		3	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	48
登録者数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
内訳	男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
延利用者数		18	20	26	24	26	22	25	25	25	25	24	25	285

(心障 表 19) 心身障害者に関する啓発実施状況

実施日	内容	主催者・講師	参加人数	場所
10月14日	あいアイ講座「失語症 会話パートナー養成講 座」(基礎講座)	心身障害者センター NPO 法人和音他	14	心身障害者センター
10月21日	あいアイ講座「失語症 会話パートナー養成講 座」(実技講座)	心身障害者センター NPO 法人和音他	11	心身障害者センター
11月～3月	あいアイ講座「失語症 会話パートナー養成講 座」(実習)	心身障害者センター 地域当事者団体	6	心身障害者センター、 地域当事者団体

③ 心身障害者団体が活動を行う場の提供

団体交流室を開放し、心身障害者団体の活動を支援しました。

④ 会議室等の利用

一般利用、登録団体、区役所等に対し、会議室等の貸出しを行いました。

4 運営管理

(1) 会議

運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当学会議を設置し、計画的に業務を進めました。

(心障 表 20-1) 障害 5 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 5 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(心障 表 20-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
運営会議	施設運営全般に関する事項の検討・協議	毎月
安全衛生担当学会議	職員の安全と健康を確保するため、労働安全衛生に 関し、産業医の助言を受けて検討実施	年 1 回
給食会議	給食サービスにかかる検討・調整	毎月
医療担当学会議	医行為、医療的ケア等にかかる検討・調整	毎月

(2) 委員会

(心障 表 21) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
安全対策委員会	事故及びヒヤリハット事例の分析、再発防止策の検討	年 6 回
食事委員会	食事に関する事項の検討	毎月
虐待防止委員会	利用者の人権擁護対策の検討・実施	毎月
身体拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化に取り組むため、事例の報告・ 適正化策の検討及び従業者への周知	年 4 回
防災委員会	施設の防災対策の検討、消防訓練の企画実施	随時
バス委員会	送迎バスコース編成、課題の検討・対応 祝日入浴バスコース編成	毎月
あいアイまつり実行委員会	あいアイまつりの企画・立案・実施	随時

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、職場内研修も実施しました。

(心障 表 22-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
摂食・嚥下指導（基礎・実習）講習会	心身障害児総合医療療育センター	4
令和6年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	公益財団法人東京都福祉保健財団	2
令和6年度身体障害者福祉部会従事者会第1回学習会「障害を持つ人が認知症になった時」	社会福祉法人東京都社会福祉協議会	1
第47回てんかん基礎講座	公益財団法人日本てんかん協会	1
社会福祉士実習指導者講習会	アルファ医療福祉専門学校	1
強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	公益財団法人東京都福祉保健財団	2
令和6年度介護職員のためのスキルアップ研修	目黒区	2
令和6年度障害福祉サービス等報酬改定研修会	目黒区基幹相談支援センター	6
成人期発達障害者支援力向上研修	東京都福祉保健局 東京都発達障害者支援センター	1
相談支援部会事例検討会	目黒区障害者自立支援協議会相談支援部会	3
令和6年度第1回事例検討会	目黒区基幹相談支援センター	2
令和6年度東京都相談支援従事者初任者研修	東京都	2
S V道場 野中式事例検討会を極めよう！	東京都相談支援専門員ネットワーク	1
チームS V	目黒区基幹相談支援センター	6
令和6年度第2回障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン研修	目黒区基幹相談支援センター	1
令和6年度第2回高次脳機能障害者相談支援研修	目黒区	1
障害福祉と高齢福祉の交流会(グループワーク)	目黒区基幹相談支援センター	3
介護専門支援員との連携	東京都	1
目黒区介護事業者連絡会ケアマネ分科会・包括共催研修「もっと「つながろう」「まともろう」目黒区の社会資源」	ケアマネ分科会	2
令和6年度第2回健康福祉部人材育成プログラム飛躍研修「意思決定支援の考え方と他機関・多職種によるチーム支援」	目黒区	1
松沢病院就労フォーラム	松沢病院	2
令和6年度精神障害者地域移行促進事業地域移行関係職員に対する研修	東京都	1
令和6年度第2回事例検討会	目黒区基幹相談支援センター	1

(心障 表 22-2) 法人研修(再掲)

研修名	参加人数
入社2年目研修	3
中堅職員研修	1
中堅職員ステップアップ研修	1
指導職1級昇格者研修	2
指導職1級3年目研修	1

(心障 表 22-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員 OJT 研修	チーフリーダー、担当者	1
虐待防止研修	令和 6 年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修伝達研修	通所課職員
感染症対策研修	株式会社サラヤ	全職員
虐待防止研修「障害者虐待について考えよう」	相模女子大学人間社会学部准教授	全職員

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(心障 表 23) 苦情件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
苦情	2	0	1
要望	0	2	0

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策シート・ヒヤリハットシートを活用し、事故やヒヤリの発生時は、翌日朝礼での全体周知とともに、送迎・給食・入浴等の委託業者との情報交換など情報の周知徹底を図り、事故の再発防止に努めました。

また、安全対策委員会を通じて、事故の記録を分析し、研修会を実施しました。

(心障 表 24) 事故・ヒヤリハット件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
事故件数	14	13	48
ヒヤリハット件数	6	8	31

注 1) 令和 5 年度から、事故件数の集計基準を健康等に係るものとして見直しています

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(6) 防災対策

消防計画に基づき、避難、通報、消火等の訓練及び総合訓練を 2 回実施し、その他事業ごとに避難路確認等の防災対策を行いました。

また、災害時への対策として、防災用品や備蓄品の整備確認を行いました。

(7) 利用者・家族の声を反映

家族懇談会を 4 回開催し、利用者ご家族との緊密な連携を行いました。

また、サービス向上検討委員会を 2 回開催し、サービスの質の向上に努めました。

(8) 地域との交流

あいアイまつりや福祉機器体験など各種イベントを通じて、地域との交流を図りました。

「西部支え合いまち会議」や「西部地区幹事会企画研修会」へ参加し地域連携を図りました。

(9) ボランティアの活動

(心障 表 25) 日常活動ボランティアの受入れ状況

内容	人数
1 日外出付き添い、デイサービス活動補助、けやき作業補助	152

(心障 表 26) 学校等団体からのボランティア体験受入れ実績

体験依頼校等	延人数
田園調布雙葉高等学校	20
普連土学園高等学校	6
トキワ松学園中学校	3
合計	29

(10) 実習生・研修生の受入れ

(心障 表 27) 実習生等の受入れ状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
アルファ医療福祉専門学校	社会福祉士実習	4	64
東洋英和女学院大学	保育実習	1	12
合計		5	76

(11) 職員の健康管理

職員の健康管理の維持向上に努めるとともに、メンタルヘルスに関しては産業医による個別相談を実施しました。

第5 かみよん工房

障害者総合支援法に基づく指定障害者福祉サービス事業所として、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上を目標とした支援を実施しました。

新型コロナの感染予防対策は、継続して実施しました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1)新たな作業を確保し安定した作業提供を行います	・3作業部の連携を強化し、ドライフルーツの袋入れ、チョコレートの包装、飴の贈答用セット作り等、新規の作業受注を行いました。 ・上記の取り組みにより作業種・受注量に加え、工程数が増えたことで、利用者の特性を活かした分業ができ、意欲向上と就労支援事業収入のアップにつながりました。
(2)生産ロス縮小と販売方法の工夫に取り組みます	パン・焼き菓子の製造・販売では、製造量の調整や販売方法の工夫（委託販売、置き菓子販売方式）等、フードロスの取り組みを継続し、廃棄パンほぼゼロの状況も継続しました。
(3)高齢化・重度化による障害状況の変化に対応する工夫を行い、一人ひとりに合ったサービス提供に努めます	・利用者の高齢化・重度化による身体能力、作業能力の低下については、一人ひとりの状況に合わせ、適宜の休憩や、外作業と中作業のバランスの考慮等工夫して対応しました。 ・就労を希望する利用者に対しては、目黒障害者就労支援センターと連携し、職場体験・実習・職業評価の機会を作りました。 ・日々の作業では、3作業部連携し、就労希望者が多種の作業に携わり、力を伸ばせるよう支援しました。
(4)地域の方が参加しやすいイベントを実施し開かれた施設運営に努めます	昨年度に続き工房祭を「おもてなし仕事フェス 2024」として開催しました。利用者主体で地域の方と交流しやすい企画（作業体験、利用者が描く似顔絵コーナー、利用者のアイデアによる工房焼き菓子提供等）を実施しました。来場者からは施設の利用者の特性や利用者の力が良く分かったとの声をいただきました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
より分かりやすい情報提供に努めます	苦情、要望等に対応する外部の相談機関について、家族懇談会やサービス向上検討委員会で繰り返し周知を図り、理解が進んだとの声をいただきました。

3 サービス内容

(1) 利用者数

(かみよん 表1) 利用状況数 定員：40人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
契約者数	33	33	33	33	33	33	33	32	32	32	31	31	
内訳													
男	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	
女	14	14	14	14	14	14	14	13	13	13	12	12	
延利用者数	604	609	582	592	524	538	608	524	559	526	483	484	6,633
1日平均利用者数	28.8	29.0	29.1	26.9	25.0	28.3	27.6	26.2	28.0	27.7	26.8	24.2	27.3

(かみよん 表 2) 利用者年齢構成 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

	～19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45～ 49 歳	50～ 54 歳	55～ 59 歳	60 歳 以上	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢
男	0	0	1	1	2	0	5	4	4	1	25	73	48.6
女	1	2	0	1	2	2	3	0	0	1	19	61	38.0

(2) サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業支援、就労支援及び生活支援を通じて、利用者の作業技術の向上と就労に必要な社会性が身につくように支援しました。次年度の個別支援計画作成にあたっては、個別支援計画会議を実施しました。

(3) 作業支援

(かみよん 表 3) 作業活動内容

作業部名	活動内容
食品部	自主生産品としてパン、焼き菓子の製造・販売を行いました。フードロスへの取組を継続し、製造量の調整や販売方法の工夫を行い、廃棄パンはほぼゼロとなりました。(再掲) 昨年度に引き続き、地域企業との連携でドライフラワーと焼き菓子のコラボ商品「母の日ギフト」を企画、販売し好評でした。
企業部	他部と連携し、ドライフルーツの袋入れやチョコレートの包装、飴の贈答用セット作り等、新規の作業受注を行いました。(再掲) 近隣企業と良好な関係づくりに努め、工房祭ではコラボ企画も行いました。
開発部	目黒区や地元企業から清掃作業・植栽作業を受託し作業を行いました。 猛暑の時期も空調服の活用やこまめな水分補給等の体調管理に留意し、作業を継続しました。
自主製品製作	3 作業部で連携して新商品の開発に取り組み羊毛フェルトのキーホルダー、メモ帳、メッセージカード等の自主生産品を製作・販売しました。 羊毛フェルトのキーホルダーは、野菜や雪だるま等新製品も制作し、好評でした。

(かみよん 表 4) 食品部販売先状況

販売先／納品先	備考
かみよん工房店舗販売	平日毎日
さんまるしえ委託販売	平日毎日
COHANA 委託販売	月曜日以外の平日
区役所販売	週 1 回
パーシモンホール販売	週 1 回
田道高齢者センター	月 2 回
ジャックス販売	隔月 1 回
かみよん工房給食	週 1 回
大橋えのき園給食	週 1 回
あいアイ館給食	週 1 回
下目黒福祉工房給食	週 1 回
桑の実中目黒保育園給食	週 1～2 回
ウエルミー上目黒給食	週 2 回
ダイケンビルサービス焼き菓子納品	月 1 回

販売先／納品先	備考
あいアイ館職員向け販売(オフィスかみよん工房)	年間 9 回
事業団各施設（職員向け）	不定期
区内他施設地域行事等	不定期
その他個人注文販売	不定期

(かみよん 表 5) 企業部受注作業受託先

受注先企業名	作業内容
宮川製菓	飴袋シール貼り、贈答用セット梱包
マーチフォース	だるまシール貼り、梱包
Virtuous circle	岩塩の仕分け、梱包
Sasaokaya	商品の仕分け、梱包
あそ商事	洗剤の梱包
ローランズ	ドライフルーツの袋入れ
NIKOLA TESLA	チョコレートの梱包

(かみよん 表 6) 開発部清掃作業受託先

受注先企業名	作業内容
目黒区みどり公園課	上四児童遊園・蛇崩川緑道・東山公園清掃
サッポロ不動産開発	草取り作業
目黒区	区立施設の除草作業

(かみよん 表 7) 自主生産品（メモ帳・エコバック・フェルトボール）販売先状況

販売先／納品先	備考
かみよん工房店舗販売	
KURUMIRU	
区役所販売	週 1 回
パーシモンホール販売	週 1 回

(かみよん 表 8) 工賃支給状況

月	支払総額	最高額	最低額
4 月分	508,850	22,200	900
5 月分	505,650	21,750	5,550
6 月分	492,400	21,450	8,850
7 月分	541,800	28,350	4,050
8 月分	517,300	26,950	2,550
9 月分	508,100	23,900	7,700
10 月分	520,800	22,800	7,500
11 月分	423,950	19,000	7,550
12 月分	487,700	21,600	2,700
1 月分	425,350	18,100	4,350

月	支払総額	最高額	最低額
2 月分	377,250	16,000	4,800
3 月分	402,650	17,800	5,550
調整手当	5,184,459	206,718	59,944
合計	10,896,259	平均工賃月額(※)	33,261

※平均工賃月額 算出方法：支給総額計÷1 日平均利用者数(27.3 人)÷12 か月

(4) 就労支援

利用者の障害特性やニーズに応じて、社会人マナー講習等の特別プログラムを実施しました。
外部実習では、ジョブコーチ支援を行いました。

(かみよん 表9) 就労支援実績

内容	利用者数	期間・回数	就労先・実施内容など
就労体験（定期販売）	12	週1回	区役所、パーシモンホール、田道ふれあい館等
就労体験(不定期販売)	5	不定期	桜修館中等教育学校文化祭、烏森住区祭り、障害者記念事業等
就労支援センター実習	1	12日間	事務業務、清掃業務等

(5) 生活支援

社会生活を営むうえで必要な能力の習得を目的に、身だしなみ、調理、外出、社会資源の見学、グループでの話し合い等行いました。

また、利用者、ご家族の高齢化・重度化の状況から、相談支援専門員を講師に迎え、利用者に向けた相談支援研修を行いました。

(6) 余暇支援

毎月 2～3 回実施するクラブ活動や外出活動を通じて、趣味活動の充実と社会経験を積む支援を行いました。

(かみよん 表 10) クラブ活動

クラブ名	内容
癒しのお菓子	お菓子作りを楽しむ。
カラオケ	カラオケを楽しむ。
アトリエ	絵を描くことを楽しむ。 ・目黒美術館アート展参加 ・障害者記念事業パネル展参加
さんぽ	映画鑑賞や周辺の散歩を楽しむ。

(かみよん 表 11) 主な行事

月	行事名
4	家族懇談会、防災訓練
5	
6	かみよんまつり（おもてなし仕事フェス 2024）、防災訓練
7	サービス向上検討委員会(利用者参加)、調理実習(A 班フルーツサンド作り)
8	健康診断、調理実習(B 班チョコバナナ作り)
9	家族懇談会、防災訓練、調理実習(C 班フルーツ寒天作り)、目黒区美術館アート展参加

月	行事名
10	外出行事(A 班：アクアパーク品川 B 班：台場)
11	宿泊体験行事(豊洲見学・シェラトン・グランデ東京ベイ宿泊)
12	外出行事(C 班：ラゾーナ川崎)、障害者記念事業作品展参加
1	新年会(初詣・工房でのお楽しみ会)、工房内検診、相談支援について利用者研修会(講師 相談支援専門員)
2	サービス向上検討委員会(利用者参加)、工房内検診、防災訓練
3	家族懇談会

(7) 食事サービス

栄養士の指導管理の下に、調理委託業者との連携を図り実施しました。栄養バランスに留意しながら、季節行事食や利用者の希望による選択食をとり入れ、利用者に喜ばれる食事の提供を行いました。

また、利用者を対象にした栄養相談や給食委員会を実施し、利用者の栄養管理と給食サービスの向上に努めました。

(8) 健康管理

利用者の健康に配慮して、年 2 回の定期健康診断、年 2 回の体重・体脂肪測定、月 1 回の精神科医によるカウンセリングを実施しました。

4 運営管理

(1) 会議

施設の決定機関として運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当学会議を設置し、計画的に業務を進めました。

(かみよん 表 12-1) 障害 5 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 5 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(かみよん 表 12-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
総括会議	事業報告、事業計画	年 1 回
運営会議	施設運営	月 1 回
販売戦略会議	受注・販売計画、収支状況確認等	月 1 回
リーダー会議	グループ間協力体制の検討	月 1 回
職員会議	事業全般	週 1 回
個別支援計画会議	個別支援計画	年 2 回 (利用者 1 名につき)
給食会議	給食サービス全般	年 6 回

(2) 委員会

(かみよん 表 13) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
サービス向上検討委員会	サービス全般	年 3 回
安全対策委員会	事故ヒヤリハット事例の確認	月 1 回
虐待防止委員会	虐待防止策の検討	年 7 回

委員会名	内容	開催回数
身体拘束適正化委員会	身体拘束の問題意識の共有	年 2 回
給食委員会	給食サービス意見要望の確認	月 1 回

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。

また、職場内研修も随時実施しました。

(かみよん 表 14-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
目黒区食品衛生実務講習会	目黒区保健所	1
食品表示法講習会	東京都	1
東京都サービス管理責任者研修	東京都	基礎 1 実践 1
目黒区障害者就労促進啓発事業 「働く障害のある方が活用できる社会資源」	目黒区	3

(かみよん 表 14-2) 法人研修(再掲)

研修名	参加人数
新任職員研修	3
指導職 1 級 3 年目研修	1
管理職 2 級 3 年目研修	1

(かみよん 表 14-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員 OJT 研修	グループリーダー他	5
安全対策について	チーフリーダー	10
虐待防止について	チーフリーダー	10
食中毒・感染症防止研修	栄養士	9
他作業部体験研修	各作業部職員	4
就労支援研修	就労支援センター職員	10
相談支援専門員の役割	心障センター相談支援専門員	10
他害のある利用者への対応（虐待防止含む）	大橋えのき園職員	10

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(かみよん 表 15) 苦情件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
苦情件数	0	0	0
要望件数	0	0	0

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。

また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

(かみよん 表 16) 事故・ヒヤリハット件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
事故件数	6	14	4
ヒヤリハット件数	1	0	1

注 1) 令和 5 年度から、事故件数の集計基準を健康等に係るものとして見直しています

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(6) 防災対策

消防計画に基づき、年間 4 回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

また、防災訓練のうち 1 回は、大規模災害対策計画の状況別行動マニュアルに沿って実施しました。

(7) 利用者・家族の声を反映

利用者ご家族との緊密な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。

また、利用者の状況に応じ、個別面談、家庭訪問等を適宜行うとともに、日常的に必要な応じて電話連絡等で情報交換に努めました。

さらに、サービス向上検討委員会を開催し、利用者、家族、施設の代表者が集まり、サービスの質の向上を目的に検討を行いました。

(8) 地域との連携

毎日玄関店舗で地域のお客様と交流しています。

また、地元企業からの作業受注、パン製品の販売、目黒区からの公園清掃の受託、これら作業活動を通しての地域とのつながりを継続的に 構築しています。

(9) ボランティアの受入れ

コロナ禍のため休止していたボランティアの方に再開するお声がけをしましたが、思うような参加が得られなかったため、新たなボランティアを開拓しました。

(かみよん 表 17) ボランティア活動状況（行事での介護人含む）

活動月	内容	人数
6 月	かみよんまつり	4
11 月	宿泊体験	3
合計		7

(10) 実習生、研修生の受け入れ

(かみよん 表 18) 実習生等の受け入れ状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
明治学院大学	社会福祉士資格取得	1	25
NHK 学園	社会福祉士資格取得	2	16
日本福祉教育専門学校	社会福祉士資格取得	1	8
東洋英和女学院大学	保育士実習	1	12
東京都社会福祉協議会 フクシを知ろう！おしごと体験	高校生の福祉に対する興味向上 と将来の福祉人材確保	1	1
目黒区立十一中学校	職場体験	2	6
目黒障害者就労支援センター	職場体験	2	2
合計		10	70

(かみよん 表 19) 特別支援学校等施設体験生の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
都立田園調布特別支援学校 (2 年生)	体験実習	1	4
青島特別支援学校 (3 年生)	体験実習	1	4
光の村秩父自然学園特別 支援学校	体験実習	1	5
区内通所施設利用者	体験学習	1	5
合計		4	18

(11) 職員の健康管理

職員のメンタル面を含めた健康管理の維持向上に努めるとともに、産業医による個別面談の機会を適宜活用しました。

第6 大橋えのき園

18 歳以上の知的障害を有する方に対して、作業活動や生活支援等に関わるサービスを提供し、基本的な生活習慣の確立及び社会生活能力の維持・向上を図る取り組みを実施しました。
新型コロナの感染予防対策は、継続して実施しました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1)サービス提供や支援の中で、虐待を予防・防止する取り組みを推進します	・外部委員を招いての権利擁護・利用者支援研究会を毎月1回開催し、個々の利用者支援方法を振り返り、適切な不安のない利用者支援の研究・方法を考案し、虐待予防に努めました。 ・身体拘束防止に向けて定期的に全職員で学習会を実施し支援方法の振り返りを行いました。
(2)自主生産品の生産の拡大と販路拡大にバランス良く取り組みます	・毎週木曜日の施設前で自主生産品販売を継続しました。販売をとおして、利用者は積極的に常連客の方と接したり、地域の方と会話を楽しむ様子が見られました。 ・区役所販売、地域のお祭り、学園祭で自主生産品の販売を行いました。販売を通して幅広い世代の方々へ当施設について紹介する機会が持てました。販売会場にはリピート客もみられ、作品販売の売上も好調でした。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
よりわかりやすい情報提供に努めます	ご家族が抱く不満・要望などの意見を、施設外の外部機関に相談できることその仕組みについて家族懇談会で定期的に周知しました。

3 サービス内容

(1) 生活介護

① 利用者数

(えのき 表1) 利用状況 定員：57人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
契約者数	36	36	36	36	36	36	38	37	37	37	37	36	
内訳	男	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27	26	
	女	8	8	8	8	8	10	10	10	10	10	10	
延利用者数	647	656	579	666	639	615	695	619	619	596	556	585	7,472
1日平均利用者数	30.8	31.2	29.0	30.3	30.4	32.4	31.6	31.0	31.0	31.4	30.9	29.3	30.7

(えのき 表2) 利用者年齢構成 (令和6年3月31日現在)

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	5	4	1	5	2	5	2	1	1	20	61	39.0
女	0	1	1	0	1	2	3	0	0	2	23	61	44.0

② サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業活動及びグループ別活動を通じて、個々の利用者の特性に応じた支援を行いました。

③ プログラム内容

ア 日々の基本的な活動単位となるグループについて、多様化したニーズに応えるため5グループに分けて、各グループの特性に合わせた作業・グループ活動を実施しました。

イ 商品は区内工房・地域のイベント等で販売しました。

なお、売上金は利用者全員に還元することとしています。

ウ グループ活動では各利用者の特性を踏まえ柔軟な活動を行いました。

(えのき 表3) 作業・生産活動

作業名	内容
食品	ピクルス、パスタソース、レトルトカレーの製造を行いました。
紙漉き	ポチ袋、タグなどを作りました。また、材料の牛乳パックの回収作業を通して、地域交流を図りました。
ガラス	箸置き、アクセサリなどを作りました。
美術	絵画を中心に取り組みました。外部専門家と協働で行いました。
書道	月1回、書道の先生との協働で行いました。
音楽・身体表現	月1回、音楽専門家との協働で行いました。
その他	必要に応じて個別の取り組みを行いました。

(えのき 表4) グループ活動

活動名	内容
散歩	体力・脚力に応じたグループ分けにより、個々の利用者に適した運動量を保障し、心身のリフレッシュを図りました。また、安全把握に充分配慮し実施しました。
バスハイク	通所バスを利用し、近隣の公園等を目的地として、より範囲の広い屋外活動を実施しました。気分転換を図り、新しい物の発見に繋がりました。
体験	近隣の商店を活用し、食品（ドリンク、菓子）を中心とした買物体験を行う活動として実施しました。また、同時に地域社会との交流を図りました。
カルチャー	四季を感じ自然に親しむ文化的な活動を目指して、園芸、かかし創作、などを実施しました。
室内運動	風船バレー、館内歩行など室内で体を動かす取り組みを行い、運動量の保障を図りました。
OT レク	作業療法士と協働で、椅子ストレッチや椅子エアロビクスなどを行いました。

④ 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動・その他の生活場面において必要な支援を行いました。

⑤ 各種行事

(えのき 表5) 主な実施行事

月	行事名	行事の内容等
4		
5	施設見学週間	ご家族等の活動見学週間

月	行事名	行事の内容等
6	一日芸術 一日外出（前期） ふれあい広場① お囃子会①	時間を区切らず自由に作品制作する 葛西臨海公園、羽田空港第1ターミナル、 お台場ダイバーシティ 駒場体育館にて運動交流会 お囃子を楽しみ、地域とのつながりを持つ
7	一日外出（前期）	横浜みなとみらい（山下公園）、横浜中華街
8	一日芸術 DAY② 和太鼓交流会①	駒場体育館にて運動交流会 駒場太鼓の会との交流会
9	宿泊体験①、②	舞浜
10	こまばのまつり えのき祭 みんなでダンス	かかしコンクール 駒場体育館にてダンス交流会
11	ふれあい広場② 一日芸術 DAY③ ワークショップ	ガラス作品作りワークショップ
12		
1	一日外出（後期） 和太鼓交流会②	国立科学博物館、多摩動物公園
2	一日外出（後期） 一日芸術 DAY④	アクアシティお台場、新宿高島屋、ノラマチ
3	ふれあい広場③	

⑥ 食事サービス

栄養バランスに留意して季節感のある食事の提供をし、行事食やメニューのリクエスト等に対応しました。栄養相談は随時行いました。

また、食事委員会を定期的に実施し、利用者の状況に応じた食形態・姿勢・補助食器等の検討をしました。

⑦ 健康管理

利用者の健康に配慮して、年2回の定期健康診断、毎月の体重測定、月2回の精神科医によるカウンセリングを実施しました。

⑧ 利用前の事前説明、個人面談

利用の開始にあたり、施設が提供できるサービス内容や利用料金等の重要事項について説明を行い、利用者からの同意を得ました。

また、個別支援計画の作成に伴い、2～3月かけて施設内又は家庭訪問による個別面談を行いました。

⑨ 利用時間外受入れ

（えのき 表6）時間外受入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者延数	2	5	2	4	3	3	1	3	2	1	2	3	31
利用時間数	3.5	5	3	5	3.25	3.75	0.25	2	1.5	1.5	3	3.5	35.25

（2）利用時間外活動支援事業（日中一時支援）

障害者通所支援事業終了後における障害者の活動の場を提供するとともに、共働きやひとり親等の障害者世帯の就労を支援することを目的として実施しました。

① 活動支援

本人状況及び要望等を把握し、利用者の意向を踏まえたうえで各種の活動を提供しました。

② 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動その他の必要な支援を行いました。

(えのき 表 7) 利用状況 定員：10 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約者数		2	2	2	3	3	3	3	2	2	1	1	1	
内訳	男	2	2	2	3	3	3	3	2	2	1	1	1	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
延利用者数		31	32	18	38	37	34	32	27	24	15	14	13	315

4 運営管理

(1) 会議

職員相互の理解と協力による施設運営と利用者支援を円滑に行うため、各種会議及び委員会を行いました。

(えのき 表 8-1) 障害 5 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 5 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(えのき 表 8-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
運営会議	運営管理、運営方針の検討	月 1 回
職員会議	運営管理、業務全般、各種報告	週 1 回
年度末総括会議	事業報告、事業計画の作成、検討	2 月及び 3 月
ケース会議	個別支援計画の確認、報告	各利用者年 2 回以上
グループ会議	個別支援計画の検討、グループ運営	ケース会議時期、随時
リハ担当者会議	リハビリテーション計画の確認	年 6 回
給食会議	給食サービスにかかる検討・調整	年 6 回
バス担当者会議	送迎サービスにかかる検討・調整	月 1 回

(2) 委員会

(えのき 表 9) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
安全対策委員会	安全対策全般	月 1 回
権利擁護・利用者支援研究会	利用者支援の向上による虐待防止に関する取り組み、研修	月 1 回
身体拘束廃止委員会	身体拘束廃止に向けた検証	月 1 回
食事委員会	利用者の状況等による環境整備など	年 6 回
各種業務担当会議	各種業務の企画、運営	随時

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会等参加し、また、現状の現場の問題解決に即した実践研修を実施しました。他に事業団内の職層等研修、施設内の新規職員を対象とした OJT 研修や全職員を対象に安全衛生・自己啓発等の研修を実施しました。

(えのき 表 10-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
令和 6 年度強度行動障害アドバンス研修 公開講座	東社協知的発達障害部会	1
食品衛生実務講習会「そうざい製造業」	目黒区保健所生活衛生課	1
身体拘束の身体弊害について	東社協知的発達障害部会	1
てんかん基礎講座（オンライン研修）	日本てんかん協会	2
強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	未来ケアカレッジ	2
令和 6 年度自閉スペクトラム症支援者 実習セミナー（基礎）	国立リハビリテーションセンター	1
自閉症の基本・ポジティブ行動支援	東京都障害者通所活動施設職員 研修会	1
CVPPP 包括的暴力防止プログラムを知ろう	東社協知的発達障害部会	1
管理職のためのメンタルヘルス講習会	東京都福祉局	1

(えのき 表 10-2) 法人研修(再掲)

研修名	内容	対象	参加人数
入社 2 年目研修	被考課者研修・マナー研修	採用後 2 年目職員	2
総合職 4 年目研修	若手社員研修～主体性の発揮	総合職 4 年目職員	1
指導職 2 級 昇格者研修	OJT 研修～部下・後輩指導の 基本スキルを習得する	指導職 2 級 昇格者職員	1
新人職員研修	福祉の理念、事業計画	入社 1 年目職員	2

(えのき 表 10-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
強度行動障害への対応を知ってお互いに安全に	外部講師 権利擁護委員会	15
応急救護訓練（心肺蘇生法・AED の使い方）	目黒消防署	16
障害のある方の歯と口の健康を守ろう	東京都立心身障害者 口腔保健センター	14
第 47 回てんかん基礎講座（伝達研修）	えのき職員 2 名	16
手洗い～自分の手洗いの癖を知ろう～	えのき看護師	17
嘔吐物の処理方法	えのき看護師	17
身体拘束廃止に向けた職場内研修	身体拘束廃止委員会	15
虐待防止チェックリストと障害者虐待防止法の 理解と対応読み合わせについて	権利擁護委員会	21
虐待に繋がる「小さな出来事」を共有し支援を 見直そう①	外部講師 権利擁護委員会	16
虐待に繋がる「小さな出来事」を共有し支援を 見直そう②	外部講師 権利擁護委員会	13
令和 6 年度自閉スペクトラム症支援者実習セミナー （基礎）伝達研修	えのき職員	16

研修名	講師	参加人数
不審者対応訓練（110 番通報、護身術訓練含む）	目黒警察署	17
かみよん工房との合同研修 権利擁護及びお互いに安全な制止の仕方など	権利擁護委員会	10
食中毒予防について	えのき栄養士	14

（４）苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

（えのき 表 11）苦情件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
苦情件数	4	1	0
要望件数	0	0	0

（５）事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策委員会を中心に、安全対策シート・ヒヤリハットシート等にてサービス提供時における利用者の事故防止に努めました。

また、事故発生の際は敏速に対応できるように研修を行いました。

（えのき 表 12）事故・ヒヤリハット件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
事故件数	2	1	36
ヒヤリハット件数	3	1	9

注 1) 令和 5 年度から、事故件数の集計基準を健康等に係るものとして見直しています

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

（６）防災対策

消防計画に基づき、隣接の社会福祉法人愛隣会との総合訓練を 4 回実施しました。

（７）利用者・家族の声を反映

家族との緊密な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を定期的に行いました。

また、サービス向上検討委員会を開催し、利用者、家族、施設の代表者が集まり、サービスの質の向上を目的に検討を行いました。

（８）地域との交流

新型コロナの影響により、例年実施していた地域交流行事のほとんどが中止となりましたが、「駒場かしプロジェクト実行委員会」に感謝のかかしを出展しました。

また、日常活動で買い物体験等を行う中で、近隣商店との関係を深めました。

（９）ボランティアの受入れ

（えのき 表 13）ボランティアの活動状況

月	内容	実人員
6 月・1 月	一日外出付添い	3
通年	書道指導	1
通年	太極拳・健康体操指導	1
延人員		5

(10) 実習生、研修生の受入れ

(えのき 表 14) 実習生等の受入れ状況

実習依頼元	実習目的	実人員	延日数
読売理工医療福祉専門学校	介護福祉士実習	1	6
アルファ医療福祉専門学校	社会福祉士実習	1	23
合計		2	29

(えのき 表 15) 特別支援学校等施設体験生の受入れ状況

施設体験生依頼元	目的	実人員	延日数
田園調布特別支援学校（3年生）	職場体験	2	8
青島特別支援学校（2年生）	職場体験	1	5
港特別支援学校	1日職場体験	3	3
青島特別支援学校（1年生）	1日職場体験	1	1
目黒区	入所に向けた実習	3	14
合計		10	31

(11) 職員の健康管理

メンタルヘルスに関して、法人内障害部門共通で産業医による講演会・懇談会や個別相談を実施しました。

第7 下目黒福祉工房

障害者総合支援法に基づく指定障害者福祉サービス事業所として、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上を目標とした支援を実施しました。

新型コロナの感染予防対策は、継続して実施しました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1)自主生産品の拡大と販路拡大にバランス良く取り組みます	〔菓子班〕 ・新商品「アマンディース」を開発しました。 ・「TBS/地球を笑顔にする広場 2024 秋」や「NHK/福祉施設のスイーツ特別販売会」への外部イベント参加しました。 ・「トキワ松学園学園会」や「頌栄女子学院高等学校生会」等から大口の新規注文を受けることができました。
	〔印刷班〕 昨年度からの新しい区の各種ロゴ入り名刺作成に対応したほか、地域商店街店舗へのショップカード販売の営業活動を行い売上収入の向上に取り組みしました。
	〔革(ステッチ)班〕 ・昨年度からアート作品として商品のブランド (RE*BORN) を図り、「利用者の得意なことや特性を活かしたオリジナル商品作り」をコンセプトとして活動を継続、推進しました。 ・「下目黒福祉工房展 ‘ロックだ！しもめ’」を3日間開催し、自主生産品の展示販売を通じて、多くの方に施設の取り組みと商品の魅力を紹介しました。
	〔受注班〕 企業からの軽作業受注や高齢者住宅の清掃に取り組んだほか、菓子商品等の販売及び配達など日々の作業内容に応じて柔軟に小グループ化をして取り組みました。
(2)プログラムの見直しや、グループの再編成などを行い、より一人ひとりの能力に応じたサービス提供に努めます	作業班、生活芸術班、クラブ活動班について全利用者へ希望する班のアンケートを行い利用者個々の希望や適性に配慮したグループ編成を行いました。また、作業班を変更する場合は作業班体験実習を踏まえて調整しサービス提供を行いました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

事業計画	具体的な取り組みと結果
より分かりやすい情報提供に努めます	・施設のホームページ見直し、「最新ニュース」ではトピックスを適宜発信したほか「活動紹介」「しもめの新ブランド RE*BORN」「年間計画」「給食献立」「各種問合せ先」等の情報を掲載するなど透明性を持った施設運営を推進しました。 ・行事等の開催の都度、利用者の活動の様子を写した写真を各利用者用に都度プリントして配布をしました。 ・家族懇談会で宿泊体験行事のスライドショーを開催し、ご家族等に活動の様子を発信をしました。 ・ご家族等が「工賃支給の仕組み」や「工賃支給状況」について高い関心や不明な点を抱えていることを踏まえて、家族懇談会で資料をもとに丁寧な説明を行いました。

3 サービス内容

(1) 就労継続支援 B 型事業

① 利用者数

(下目 表 1) 利用状況数 定員 40 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
契約者数	38	37	37	37	37	37	37	36	36	35	35	35	
内訳	男	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	
	女	18	17	17	17	17	17	16	16	16	16	16	
延利用者数	759	741	690	729	640	634	724	645	669	639	610	668	8,148
1 日平均利用者数	36.1	35.3	34.5	33.1	30.5	33.4	32.9	32.3	33.5	33.6	33.9	33.4	33.5

(下目 表 2) 利用者年齢構成 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

	～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45～ 49 歳	50～ 54 歳	55～ 59 歳	60 歳 以上	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢
男	0	2	3	2	3	3	2	0	1	3	21	66	40.7
女	1	1	1	1	0	0	6	5	0	1	19	62	43.9

② サービス提供計画

個別支援計画に基づき、作業支援、就労支援及び生活支援を通じて、利用者の作業技術の向上と就労に必要な社会性への支援を行いました。

③ 作業支援

(下目 表 3) 作業活動内容

作業班名	活動内容
菓子班	シフォンケーキ及びマドレーヌ等の製造・販売を行いました。販売見込数に応じて計画的に商品を製造し、販売機会を確保することで売上の維持、向上に取り組みました。
革 班 (ステッチ班)	刺繍アート作品や革小物等の製造・販売を行いました。
印刷班	名刺や封筒等の注文を受注しました。また、地域商店街等へ営業活動を行い、受注数の拡大に取り組みました。
受注班	企業から軽作業を積極的に受注し、売上の向上につなげました。また、「工房まるしえ」(工房玄関前での販売)や他班の配達の仕事に協力しました。

(下目 表 4) 菓子班販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
工房まるしえ (工房玄関前販売)	毎日(水曜日除く)
さんまるしえ	委託販売
コハナ	委託販売
区役所販売	月 1～2 回
ス～ハ～マーケット	月 1 回
アロハクリニック	随時
公益財団法人小原白梅育英基金	随時
トキワ松学園学園会	随時
頌栄女子学院高等学校生徒会	随時

販売先 / 納品先	販売頻度
TBS／地球を笑顔にする広場2024秋	随時
NHK／福祉施設のスイーツ特別販売会	随時
地域行事イベント販売	随時
その他個人注文	不定期

(下目 表5) 革(ステッチ)班販売先状況

販売先 / 納品先	販売頻度
さんまるしえ	委託販売
コハナ	委託販売
ス〜ハ〜マーケット	月1回
その他個人注文	不定期

(下目 表6) 印刷班受託先

受注先	作業内容
目黒区	めぐろ区報デイジー版、名刺、封筒など
国立病院機構東京医療センター	カレンダー
目黒区手をつなぐ親の会	名刺など
ハツ目や にしむら目黒店	名刺、ショッピングカード、商品説明カード
東京水道株式会社	封筒
その他個人注文	名刺、封筒、ショッピングカードなど

(下目 表7) 受注班受託先

受注先企業名	作業内容
天恩山五百羅漢寺	財布解体など
株式会社C.R.F	組立、袋詰など
プリメーラ株式会社	組立、袋詰など
株式会社ササオカヤ	シール貼り、袋詰めなど
株式会社あそ商事	箱の組立、箱詰めなど
有限会社並川平兵衛	和紙のしわ加工など
目黒区	高齢者住宅清掃

(下目 表8) 工賃支給状況

月	支払総額	最高額	最低額
4月分	245,720	6,800	3,140
5月分	227,480	6,400	3,960
6月分	179,880	5,600	760
7月分	221,080	6,800	3,480
8月分	230,000	6,800	4,400
9月分	202,600	6,000	3,400
10月分	223,440	6,800	400
11月分	258,700	8,000	1,500
12月分	267,750	8,000	2,300
1月分	247,300	7,500	3,800

月	支払総額	最高額	最低額
2月分	231,450	7,000	4,450
3月分	266,200	8,000	3,750
調整手当	2,138,737	65,442	34,701
計	4,940,337	平均工賃月額(※)	12,289

※平均工賃月額 算出方法：支給総額計÷1日平均利用者数(33.5人)÷12か月

④ 就労支援

利用者の障害特性やニーズに応じて職場見学などを実施しますが、本年度は実績がありませんでした。

⑤ 生活支援

生活に身近な園芸や芸術活動などを通じて、その人らしい表現活動を支援しました。

(下目 表 9) 生活芸術活動

クラブ名	内容
アート	絵画や音楽などで個性や感性を表現する活動で、作成した作品を展示、出品するなどして、達成感や社会性の醸成を図っています。
園芸	自然を対象とした意識の醸成を図るため、植物を育てる園芸活動を行っています。
自治会	利用者自らが、工房に関係することがらを自ら企画、立案、実行する活動で、地域との交流を深めることなども実施しています。

⑥ 余暇支援

クラブや外出活動を通じて、趣味活動の充実と社会経験の拡大に向けた支援を行いました。

(下目 表 10) クラブ活動

クラブ名	内容
カラオケ	カラオケを利用して、各自がリラックスして歌を楽しむ活動
散歩	さまざまな場所に出かけ心身のリラックスを図る活動
スポーツ	卓球・ボーリング・バッティング等を楽しみながら体を動かす活動
よりあい	本人の希望・興味・関心のあることを通して充実した時間を過ごす活動

(下目 表 11) 主な行事

月	行事名
4	家族懇談会
5	防災訓練、サービス向上委員会
6	宿泊体験（A日程、B日程）
7	健康診断、サービス向上委員会
9	一日外出
10	工房展「‘ロックだ！しもめ’」、家族懇談会
11	しもめマルシェ
12	健康診断
1	防災訓練、家族懇談会
2	サービス向上委員会
3	防災訓練

⑦ 食事サービス

栄養士の指導管理の下、調理委託業者と連携を図り実施しました。栄養バランスに留意しながら、季節行事食や利用者の希望による選択食などの提供を行いました。

⑧ 健康管理

利用者の健康に配慮して、定期健康診断の他、月 1 回の精神科医及び整形外科によるカウンセリングを実施しました。

⑨ 送迎サービス

送迎バスにて自宅等から工房までの送迎を行いました。

(2) 利用時間外活動支援事業（日中一時支援事業）

障害者通所支援事業終了後における障害者の活動の場を提供するとともに、共働きやひとり親等の障害者世帯の就労を支援することを目的として実施しました。

① 活動支援

本人状況及び要望等を把握し、利用者の意向を踏まえたうえで各種活動を提供しました。

② 日常生活動作支援

日常生活習慣の確立や生活動作の維持向上に向けて、食事・排泄・更衣・移動・その他の必要な支援を行いました。

(下目 表 12) 利用状況 定員：10 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
契約者数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
内訳	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
延利用者数	54	53	52	65	53	57	58	53	58	55	47	46	651
1 日平均利用者数	2.6	2.5	2.6	3.0	2.5	3.0	2.6	2.7	2.9	2.9	2.6	2.3	2.7

4 運営管理

(1) 会議

施設の意思決定機関として運営会議を中心に、合理的な施設運営を図るため各担当者会議を設置し、計画的に業務を進めました。

(下目 表 13-1) 障害 5 施設合同会議

会議名	内容	開催回数
部課長会議	障害 5 施設の運営に関する事項の検討・協議	月 1 回

(下目 表 13-2) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
総括会議	事業全体、作業活動の総括	年 1 回
運営会議	施設運営	月 1 回
商品開発等会議	工房の商品開発等の計画	随時
職員会議	事業全般	隔週 1 回
ケース会議	個別支援計画	各利用者年 1 回
給食会議	給食サービス全般	隔月
バス担当者会議	バス運行に関する全般	月 1 回

(2) 委員会

(下目 表 14) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
サービス向上委員会	サービス全般	年 2 回
安全対策委員会	事故ヒヤリハット事例の確認	月 1 回
虐待防止委員会	虐待防止対策の確認	月 1 回
身体拘束適正化委員会	身体拘束の問題意識の共有	年 2 回

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に参加し、職員の資質の向上に努めました。

また、職場内研修も随時実施しました。

(下目 表 15-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
福祉事業所でのモノづくりセミナー	TOKYO SOCIAL DESIGN	1
人権・権利擁護研修	東京都社会福祉協議会	2
虐待防止・権利擁護研修	東京都社会福祉協議会	1
感染症対策研修	東京都社会福祉協議会	1
意思決定支援ガイドライン研修	目黒区基幹相談支援センター	1
特定給食管理講習会	目黒区保健所	3

(下目 表 15-2) 法人研修(再掲)

研修名	参加人数
新任職員研修	1
入職者 2 年目研修	1
サービス専門職 A7 年目研修	2
指導職 2 級昇格者研修	1

(下目 表 15-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
新任職員オリエンテーション、OJT 研修	施設長、チーフリーダー、リーダー他	2
防災研修	厚生労働省(WEB 研修)	20
感染症・食中毒対策研修	大学講師	20
虐待防止・権利擁護研修	大学講師	20

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(下目 表 16) 苦情件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
苦情件数	0	0	2
要望件数	1	2	0

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

(下目 表 17) 事故・安全対策・ヒヤリハット件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
事故件数	6	13	12
ヒヤリハット件数	0	3	3

注 1) 令和 5 年度から、事故件数の集計基準を健康等に係るものとして見直しています

注 2) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(6) 防災対策

消防計画に基づき、年間 4 回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

(7) 利用者・家族等の声を反映

利用者家族等との適切な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。

また、利用者の状況に応じ、個別面談、家庭訪問等を適宜行うとともに、日常的に電話連絡等で情報交換に努めました。サービス向上委員会では利用者代表と意見交換を行いました。

(8) 地域との連携

工房前での販売活動（水曜日除く、土曜日）が定着し、地域における施設の活動の認知度が高まりました。

(9) ボランティアの受入

(下目 表 18) ボランティア活動状況

活動月	内容	人数
随時	印刷班作業活動補助	50
随時	菓子班作業活動補助	50

(10) 実習生、研修生の受入

(下目 表 19) 実習生等の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
日本体育大学	保育実習	2	22
武蔵野大学	社会福祉士現場実習	1	23
合計		3	45

(下目 表 20) 特別支援学校等施設体験生の受入状況

実習依頼校等	実習目的	実人員	延日数
田園調布特別支援学校（3 年生）	進路検討に向けた実習	1	5
港特別支援学校（2 年生）	進路検討に向けた実習	3	11
その他（他事業所）	進路検討に向けた実習	3	15
合計		7	31

(11) 職員の健康管理

職員のメンタル面を含めた健康管理の維持向上に努めるとともに、産業医による個別面談の機会を適宜活用しました。

第8 のぞみ寮

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業所として、利用者が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて入浴、排せつ並びに食事の介助、相談その他の日常生活上の支援を行いました。新型コロナウイルスの感染予防対策を実施しました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的な取り組みと結果
(1) グループホーム事業を新たに受託したことを受け、円滑な運営の維持継続、サービスの向上を目指します	・前事業者から十分に引継ぎを受け、利用者との信頼関係の構築に努めました。 ・1日外出行事や各種季節行事を実施するなど、サービスの向上に取り組みました。
(2) 高齢化に対応した支援を行うため、支援の知識・技術を高めます	利用者の高齢化に伴い支援度が高くなっていく中、研修受講により得た知識を職場全体で共有しました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善事項

事業計画	具体的な取り組みと結果
利用者アンケートを実施し、利用者の声をサービスに反映させます	・福祉サービス第三者評価委員により、各利用者への聞き取り調査を実施しました。 ・各利用者からの声を取り入れ、サービスに反映させました。

3 サービス内容

(1) 共同生活援助事業

① 利用者数

(のぞみ 表1) 利用状況数 定員6人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	5	5	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5
内訳	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	5	5	6	6	6	6	5	5	5	5	5

(のぞみ 表2) 利用者年齢構成 (令和7年3月31日現在)

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	50	61	56.8

② サービス提供計画

利用者本人及び家族の要望などを把握し、その意向を踏まえた個別支援計画を作成し、支援の内容や方法を明確にして充実したサービス提供に努めました。

③ 支援内容

利用者が日常生活または社会生活を送るうえで必要な下記の支援を行いました。

ア 掃除・洗濯

居室の清掃・整理および衣類の洗濯・整理などの支援を行いました。

イ 健康管理

健康診断、主治医との連携、食事制限のある利用者への支援計画の作成、利用者の通院同行、病気の際の支援などを行いました。

ウ 服薬管理

服薬が必要な利用者への支援計画の作成、処方箋の確認、薬の保管・管理および医療機関との連携を行いました。

エ 食事援助

栄養バランスのとれた食事の提供、献立づくり等を行いました。

オ 関係機関との連絡調整

行政、通所先、相談支援事業所、病院、保護者等との情報の共有および利用者の課題や状況の把握などを行いました。

カ 相談援助

日常生活・社会生活上の相談・援助を行いました。

(のぞみ 表 3) 主な行事

月	行事名
4	
5	家族懇談会
6	
7	
8	
9	
10	
11	1 日外出行事 (ディズニーランド)
12	合同防災訓練、クリスマスメニュー
1	お正月メニュー
2	
3	家族懇談会、ひなまつりメニュー

(2) 短期入所事業

自宅で介護する人が病気等緊急の事情などで一時的に保護が必要なときや自立のための生活体験を希望する方に対して、宿泊を伴う介助・支援を行いました。

(のぞみ 表 4) 利用状況 定員：1 人

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
内訳	契約者数	1	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	2	
	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	女	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	0	
延利用者数		6	0	0	0	0	3	9	7	3	7	5	4	44

4 運営管理

(1) 会議

職員相互の理解と協力による施設運営と利用者支援を円滑に行うため、各種会議及び委員会を行いました。

(のぞみ 表 5-1) 施設内会議

会議名	内容	開催回数
職員会議	事業全般	月 1 回
ケース会議	個別支援計画	各利用者年 1 回

(2) 委員会

(のぞみ 表 5-2) 各種委員会

委員会名	内容	開催回数
安全対策委員会	事故・ヒヤリハット事例の分析、再発防止策の検討	月 1 回
虐待防止委員会	利用者の人権擁護対策の検討・実施	年 2 回
身体拘束適正化委員会	身体拘束等の適正化に取り組むため、事例の報告・適正化策の検討及び従業員への周知	年 1 回

(3) 研修

関係諸機関や団体が実施する研修会、講演会等に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。

また、職場内研修も随時実施しました。

(のぞみ 表 6-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
防火・防災管理新規講習	東京消防庁	1
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	公益財団法人東京都福祉保健財団	1
令和 6 年度障害者グループホーム管理者研修	公益財団法人総合健康推進財団	1
令和 6 年度障害者グループホーム従事者研修	公益財団法人総合健康推進財団	3
令和 6 年度東京都サービス管理責任者基礎研修	東京都	1
令和 6 年度第 2 回目黒区基幹相談支援センター研修会「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン研修」	目黒区基幹相談支援センター	1

(のぞみ 表 6-2) 法人研修(再掲)

研修名	参加人数
指導職 1 級昇格者研修	1

(のぞみ 表 6-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
新人・異動職員 OJT 研修	所長、サービス管理責任者	2
障害者虐待防止研修	生活支援員（伝達研修）	全職員

(4) 苦情・要望

苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設置し、周知するとともに、随時利用者からの苦情・要望等意見の収集に努めました。

(のぞみ 表 7) 苦情・要望件数

	令和 6 年度
苦情件数	0
要望件数	0

(5) 事故防止と事故発生時の緊急対応

安全対策マニュアル等を活用し、サービス提供時における事故防止に努めました。また、安全対策シートやヒヤリハットシートを活用して随時事例検証を行うほか、毎月、安全対策委員会を開催して、事故の再発防止対策に取り組みました。

(のぞみ 表 8) 事故・ヒヤリハット件数

	令和 6 年度
事故件数	4
ヒヤリハット件数	0

注 1) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(6) 防災対策

消防計画に基づき、年間 2 回の通報、避難、消火等の訓練及び総合訓練を行いました。

(7) 利用者・家族等の声を反映

利用者家族等との適切な連携を保ち、意見や情報を交換する場として家族懇談会を開催しました。

また、利用者の状況に応じ、日常的に電話連絡等で情報交換に努めました。

(8) 地域との交流

併設されている保育園と避難訓練を通じて交流を図ったほか、地元町会の活動に参加しました。

(9) 職員の健康管理

職員の健康管理の維持向上に努めるとともに、メンタルヘルスに関しては産業医による個別面談を実施しました。

(10) 福祉サービス第三者評価

質の高い利用者サービスの実現に向けて、指定管理施設は各施設において 3 年毎に第三者評価を受審しています。

評価結果については下表のとおりで、内容の分析を行い、指摘事項の改善に取り組みました。

(のぞみ 表 9-1) のぞみ寮共同生活援助事業 評価結果

特に良い点	・職員は少し先の予定を利用者に伝えることで利用者が主体的に行動できるよう支援している。 ・個別支援計画は利用者に分かりやすいようにルビがふってあり、本人の望む生活を中心に据えた計画書となっている。 ・法人は第三次経営計画を策定後、物価高騰や新型コロナ感染拡大に対応して改定し、それを踏まえた単年度の事業計画と予算を立てている。
更なる改善点	・地域貢献や地域ネットワークへの参加はこれからの課題であるが、区内の事業者ネットワーク構築に向けて中心的役割を果たすことを期待する。 ・服薬ボードの薬の有無を複数の職員が確認するダブルチェックに加え、飲み込むまでの確認を手順書に加えるなどの修正を行うとよい。 ・施設概要や障害者福祉のしおりなど紙媒体より情報を提供しているが、早期に法人ホームページへの掲載や施設案内書の作成が望まれる。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

(のぞみ 表 9-2) のぞみ寮短期入所事業 評価結果

特に良い点	・家族等からも情報を得て、嚥下に注意が必要な利用者の安全な食事摂取に取り組む支援を行っている。 ・利用者の体調不良等の特変事項は申し送りや引継ぎの他、ケース記録、サービス活動日誌、事務室内のホワイトボードで情報共有を図っている。 ・ショートステイ利用時の不安軽減のため、ホーム利用者の特性等を伝えたり利用者が愛用している物の持ち込みを認めている。
更なる改善点	・利用者の万一の急変に備え、組織内の連絡体制を整備しているが定着のためにも事業計画に取り入れるなどして手順書の整備に取り組むとよい。 ・利用実績を上げるため、併設保育園と交流を深めたり、町会・自治会と関係を深めていき、ショートステイを知ってもらう方策を考えるとよい。 ・施設概要や障害者福祉のしおり等紙媒体で情報を提供しているが、早期に法人ホームページへの掲載やショートステイ案内書を作成するとよい。

評価実施機関：特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社

第9 みどりハイム

みどりハイムは、児童福祉法に基づく母子生活支援施設として以下の事業を行いました。
新型コロナの感染予防対策は継続して実施しました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的取り組みと結果
(1) 関係機関と連携した支援の強化を図ります	・母子保護の決定を行う子ども家庭支援センターとの情報共有や相談を適宜行いました。(主に、電話・月例報告) ・その他の関係機関(保育園・学校・児相・放課後等デイサービス等)とも、連携を図りました。退所した世帯から相談を受けた際には、退所先自治体の関係機関とも連携を図りながら支援を行いました。
(2) 各職種に必要な研修の実施並びに研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	・職場内研修では、支援力アップ講座(全6回)を実施しました。トラウマインフォームドケアを軸に、日々流れていく支援を細やかに見直すことができました。 ・他の母子生活支援施設を見学し、他施設での支援や行事について学びました。参考になった取り組みについては、今後の施設運営に活かしていく予定です。
(3) サービス提供や支援の中で、虐待を予防・防止する取り組みを推進します	子どもの権利や意見表明権については、子ども会議でこども意見箱についての説明や、夕食会のメニューやお楽しみ会での出し物について話し合う機会を通して、子どもたちの理解が進むよう伝えました。
(4) マニュアル・業務標準書等の新規作成及び点検・見直しを定期的実施します。	・昨年度作成した「子どもの安全計画」に沿って、行事企画や施設内の事故防止に取り組みました。 ・家計相談支援に関するマニュアルを作成し、職場内研修を実施し、全職員が家計相談支援の手法を学びました。
(5) 母子生活支援施設の入所者への支援にとどまらず、地域で生活するひとり親家庭への支援を推進します	・退所世帯へのアフターケアについては、各種相談に加え、行事への招待や食支援を行いました。 ・地域で子育て中の母親を対象に、「ママのためのヨガ教室」を特別養護老人ホーム中目黒の地域交流スペースで、主任児童委員の協力を得て実施しました。 また、みどりキッズクラブ(子どもの居場所)、食支援など、地域の関係団体のご協力を得ながら進めました。

2 第三者評価・利用者アンケート等からの改善結果

改善事項	具体的な取り組みと結果
行事等を実施する際に子どもたちが主体的に関われるように工夫していきます。	お楽しみ会で歌とダンスの時間を設け、事前に子ども会議でリクエストを受け付けました。当日、リクエストした曲が流れると、前に出て歌ったり、踊ったり、会を盛り上げてくれました。

3 母子生活支援施設の支援

利用者個々と自立支援面談を行い、職員と利用者が共同で「自立支援計画」を作成し、それに沿っての自立支援を実施しました。計画作成後は適宜見直し面談も行い、計画の進捗確認を実施しました。また、退所後も、必要な支援(相談・訪問など)を実施しました。

(母子 表1) 入退所状況(各月の末日現在) 定員: 20 世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	0	0	0	1	3	1	1	1	2	0	0	1	10
退所	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	5
世帯数(月末)	10	10	9	9	12	13	13	14	15	15	15	16	
利用者数(月末)	25	25	23	23	30	33	33	35	38	38	38	39	
うち児童数	15	15	14	14	18	20	20	21	23	23	23	23	
(男)	7	7	7	8	12	13	12	12	12	12	12	12	
(女)	8	8	7	6	6	7	8	9	11	11	11	11	
(幼児)	4	4	4	4	7	8	8	9	9	9	9	10	
(小学生)	8	8	8	9	10	11	11	11	12	12	12	12	
(中学生)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	
(高校生)	2	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 月末日で退所した場合は在籍となるため、「世帯数(月末)」と一致しない場合があります

注2) 「世帯数」と「利用者数」については、利用状況に応じて一致しない場合があります

(1) 相談支援

子育て、健康、就労、そのほか生活全般における様々な相談を受け、必要に応じて支援を行いました。

(2) 子育て支援

① 補助保育

母親の就労時間中や体調不良時等に補助保育を実施しました。また、乳幼児の体調不良時に、母親が外出しなければならない時には病児保育を実施しました。

(母子 表2) 幼児補助保育・病児保育実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
補助保育	11	11	15	22	26	33	34	19	30	28	30	25	284
病児保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② 保育ルーム

乳幼児の交流と家事援助を目的として、週1回程度、夕食準備時間に乳幼児を対象に保育ルームを開催しました。

(3) 児童への支援

下校後及び土曜日の遊び、学習の場として学習室を開放し、職員がともに過ごしました。季節に合わせた行事を実施し、児童同士が協力し合う経験の場、達成感を味わえる場としました。

平日の17時から18時は、学習の時間としました。また、児童による子ども会議及び夕食会を毎月開催し、施設内での生活などについてみんなで考える機会をつくりました。

さらに、「話意話意の会」(個別面談)を行い、個別の意向や希望の聞き取りを行ったうえで、児童自立支援計画書の作成に反映させました。

(4) 生活への支援

緊急時の家庭用品の貸し出し、居室片付け手伝い、不在時の荷物預かりや代引き受け取り、買物の代行、家計管理、諸手続き支援など、個々の状況に応じて支援しました。

また、必要に応じて関係機関及び医療機関と連携、連絡調整を行い支援につなげました。

(5) 健康とところへの支援

月1回程度、嘱託医による健康相談を実施しました。利用者健康診断については、年2回（春は外部医療機関、秋は嘱託医）実施しました。

また、専用の面談室において、心理療法担当職員による心理療法、遊戯療法等を実施しました。

(6) 食支援

エコライフめぐろ推進協会とフードバンク目黒のご協力を得て、利用者・退所者・ひとり親学習支援事業参加児童世帯を対象に、毎週木曜日等に食品、菓子類等を配付する「ミニミニパントリー」を開催するとともに、月1、2回程度の生鮮食品配付を行いました。

(7) 就労支援

母親の就労に向け、履歴書、職務経歴書の作成指導、ハローワークの求人情報等の提供及び就労に関しての相談等を実施しました。

ボランティア講師によるパソコン教室を実施しました。（全6回、延べ10名参加）

(8) 退所後のアフターケア

退所面談の際に退所後の連絡を取ることにについて事前確認のうえ、アフターケアを実施しました。

主に手紙や電話などを利用し、就労や母子の健康、児童の様子などを聞き、相談を受けました。

（母子 表3）アフターケアの件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	26	21	22	29	23	12	25	22	14	18	23	20	255

（母子 表4）主な支援内容及び支援方法

主な支援内容	主な支援方法
〔母親への支援〕 メンタルサポート、病院同行、引っ越し後の整理等、 各種生活相談、関係機関調整等 〔児童への支援〕 学習支援、放課後活動等、行事招待、心理療法、遊戯療法	・電話 ・訪問（同行） ・来所

(9) みどりハイム便り

広報誌として「みどりハイム便り」を毎月1回発行し、月間予定や前月の行事等の報告、その他連絡事項の広報に努め、子ども達の関係機関や法人内の各施設に配布しました。

(10) 利用者懇談会

4月と10月に開催。利用者と職員はもとより、利用者同士の交流の機会としました。

利用者、職員ともに自由に意見が言えるような雰囲気作りに努めました。

(11) 合同研修会

ヨガ講師を外部から招き、親子で一緒に参加できる「おうちでできる楽しい親子ヨガ」を実施しました。

4 各種行事等の実施

年間計画に沿って、対象者ごとの行事を実施しました。

(母子 表 5) 主な実施行事

月	行事名	行事の内容等
4	進学・進級おめでとう会	小学生以上・キッズクラブ児童対象：世田谷公園
5	子どもの日行事	全利用者：親子クッキング
6	お泊まり会	小学生以上：学習室に宿泊。夏キャンプ事前行事
7	七夕飾り 納涼会 児童キャンプ（1泊2日）	全利用者：七夕飾り 全利用者・退所者：縁日(ゲーム、かき氷、焼きそば) 小学生以上・退所児童：千葉県館山市
8	夏休み児童活動（工作）	小学生以上・退所児童・キッズクラブ児童：海のジオラマ作り
9	地域祭り参加	全利用者：町会の子ども神輿に参加
10	ハロウィン	全利用者・退所者・キッズクラブ児童： 仮装・写真撮影コーナー設置
11	母子遠足	全利用者・退所者：ファンタジーリゾート船橋店 （雨天プログラム）
12	お楽しみ会	全利用者・退所者：大道芸、歌とダンス
	子ども大掃除&忘年会	小学生以上・キッズクラブ児童：学習室の大掃除・ 下目黒小学校体育館にてドッジボール
1		
2	豆まき	全利用者：鬼打豆の配布
3	ひなまつり	全利用者：ひなあられの配布

注1) キッズクラブ児童：みどりキッズクラブに参加している児童。

注2) 銭湯行事(男子小学生対象)は、4月～11月まで4回実施。(延べ参加者数4名)

注3) 子ども会議夕食会（小学生以上・キッズ対象）は、全9回実施。

5 緊急一時保護（1室）

今年度は8件、124日間の受入れを実施しました。

(母子 表 6) 緊急一時保護世帯数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	0	0	1	0	1	1	2	0	0	2	0	1	8
退所	0	0	0	1	0	1	2	0	1	2	0	1	8
月末世帯数	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	
延利用日数	0	0	17	19	6	9	17	30	1	5	0	20	124

6 運営管理

(1) 会議・委員会

職員相互の理解と協力により利用者のニーズに応えるとともに、合理的な施設運営を図るための意見交換並びに検討の場として各種会議・委員会を開催しました。

(母子 表 7) 各種会議・委員会

会議名	内容	開催日
運営会議	施設運営方針・事業計画等の進捗管理 施設全体に係るケース検討 自立支援計画・行事等の進捗管理	毎月1回

会議名	内容	開催日
職員会議	運営・業務全般に関する事項の検討、事業計画等の進捗状況確認、月間予定、経営・運営会議等報告	毎月 4 回
個別ケース会議	全ケースの状況確認、具体的な支援内容の確認	週 1 回
調整会議	ケースの月例報告及び所管との連絡調整	毎月 1 回
利用者支援調整会議	全ケースのケース検討	年 2 回
感染対策会議	感染症発生時の対策を検討・実施、感染予防研修の開催	適宜
人権・苦情解決委員会	苦情・要望の検討・解決、人権研修開催	年 4 回
防災委員会	訓練内容の検討・訓練を実施	年 4 回
事故防止委員会	ヒヤリハットの検討等	年 4 回
研修委員会	施設内外研修の企画・運営	毎月 1 回

(2) 研修

東京都、東京都社会福祉協議会、その他の関係団体が実施する研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。また、平成 22 年度後期から実施している、同一講師によるスーパーバイズを受けました。

(母子 表 8-1) 外部研修

研修名	主催者	参加人数
相談支援員研修会 相談支援の基本	東京ウィメンズプラザ	1
最新の離婚前後の法律手続き・法律知識	東京都ひとり親家庭支援センターはあと	1
多職種研修会 グリーフケア	西部包括支援センター	1
親子プレイセラピー演習	東京プレイセラピーセンター	1
相談員・職員のための基礎講座	東京ウィメンズプラザ	1
令和 6 年度東京都児童養護施設等基幹的職員研修	東京都社会福祉協議会	1
BCP 実践講座	東京都福祉局	2
相談事例から学ぶ 思いがけない妊娠と出産	東京都ひとり親家庭支援センターはあと	1
新任職員の定着・育成入門研修	東京都社会福祉協議会	1
関東ブロック母子生活支援施設研究協議会	関東ブロック母子生活支援施設協議会	1
家計相談支援研修	東社協母子福祉部会	1
社会的養護を担う児童福祉施設長研修研修会	全国社会福祉協議会	1
全国母子生活支援施設研究大会	全国社会福祉協議会	1
東京プレイセラピーセンター第 2 回年次大会	一般社団法人東京プレイセラピーセンター	1
性教育について	東社協母子福祉部会	1
母子生活支援施設における母と子の権利擁護	関東ブロック母子生活支援施設協議会	1
社会福祉士実習指導者講習会	淑徳大学	1
とまどう支援場面の実際	東京都ひとり親家庭支援センターはあと	1

(母子 表 8-2) 法人研修(再掲)

研 修 名	参加人数
職層研修 新人研修	2

(母子 表 8-3) 施設内研修

研修名	講師	参加人数
スーパービジョン (6 回)	立正大学大学院心理学研究科 片岡 玲子 氏	各回 7～8
職場内研修 (支援力アップ講座 全 6 回)	みどりハイム 各職員	各回 8
他施設見学(全 3 回)	みどりハイム 各職員	各回 1～2
防犯研修	防災担当職員	8
人権研修	母子支援員	9
システム・セキュリティ研修	システム担当職員	9
感染症研修	衛生管理担当職員	9

(3) 苦情・要望

苦情の窓口及び責任者を設置し、申し出があった場合、調査のうえ苦情解決委員会等で検討し、苦情対応規程に基づき対応し、その内容を施設内に掲示することになっています。

苦情処理の手続きについては、利用者へは懇談会及び掲示、職員へは苦情解決委員会にて周知を図りました。

苦情解決第三者委員の活用については、委員の定期訪問と年間苦情情報の報告をしました。

(母子 表 9) 苦情・要望の件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
苦情件数	0	0	0
処理件数	0	0	0
要望件数	6	3	1

(4) 事故防止と事故発生時の緊急対応

事故防止委員会を中心に、ヒヤリハット等にて支援時における利用者の事故防止に努めました。

(母子 表 10) 事故の件数

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
事故件数	0	0	2
ヒヤリハット件数	30	16	11

注 1) ヒヤリハット：事故には至らないが、事故につながるおそれのある状態等のこと

(5) 個人情報保護

事業団における個人情報保護規程に基づいて個人情報の利用目的を明示し、個人情報を取り扱いました。新入所者にあたっては、個人情報使用の同意を取りました。

個人情報の開示請求について、今年度申請はありませんでした。

(6) 防災・防犯対策

防災対策面では、消防計画に基づき、避難、消火等訓練及び夜間(想定)訓練を毎月実施するとともに、消防設備点検を 6 か月毎に実施し、法令遵守に努めました。

防犯対策面では、DV 加害者の追跡を想定した訓練を実施し、対策の強化を図りました。

(母子 表 11) 防災・防犯訓練実施状況

訓練内容	回数
避難訓練	12
消火訓練	12
通報訓練	1
地震訓練	2
継走訓練(メール等)	2
夜間(想定)訓練	4
大規模災害想定訓練	1
DV加害者追跡対策訓練	1

(7) ボランティアの受入

パソコン教室を開催する際、ボランティア講師を受け入れました。また、児童行事開催時には、主に学生の方々をボランティアとして受け入れました。

(8) 実習生の受け入れ

地域貢献及び福祉人材育成の一環として、各種実習生を受け入れました。

(母子 表 12) 実習生受入状況

実習依頼校	実習目的	実人員	延日数
品川区社会福祉協議会	社会福祉士	2	31
昭和女子大学	社会福祉士	4	43
日本女子大学	保育士	1	12
こども教育宝仙大学	保育士	1	12
高崎福祉医療カレッジ	社会福祉士	2	16
東京学芸大学	社会福祉士	2	31
淑徳大学	社会福祉士	1	23
羽田幼児教育専門学校	保育士	1	11
日本体育大学	保育士	1	11
聖徳大学短期大学部	保育士	1	11
日本児童教育専門学校	保育士	1	12
有明教育芸術短期大学	保育士	1	12
合計		18	225

(9) 目黒区ひとり親家庭学習支援事業

地域貢献の一環として、目黒区ひとり親家庭学習支援事業の小学校高学年の会場として、集会室の貸し出しを行いました。令和6年7月から令和7年3月までの間に、全40回実施し、登録児童数は10名でした。

(10) 地域貢献事業

地域のひとり親家庭の児童の放課後支援の場として、「みどりキッズクラブ」を実施しました。開始9年目を迎え、在所児童・キッズクラブ児童の双方にとって有意義な活動となりました。(登録児童数 年間4名)

区内在住の1歳6か月未満児の母親を対象として、保育付きの「ママのためのヨガ教室」を区内主任児童委員の協力を得て、なかめぐろホームの地域交流スペースにて2回開催し、延べ17組の母子の参加がありました。

第10 西部包括支援センター

介護保険法に基づく包括的支援事業及び指定介護予防支援事業を行いました。介護予防ケアマネジメント事業の実施にあたっては、公正・中立性を確保し事業を行いました。

令和6年度も、感染対策を継続した上で通常業務を行い、地区における各研修会や懇談会及び計画的な実態把握（アウトリーチ）を実施しました。また、各職員の資質向上を図るため、区及び都等が主催する各分野ごとの研修に参加し、対人援助のスキルアップを図り円滑な運営に努めました。

1 令和6年度重点項目の具体的な取り組み

事業計画	具体的取り組みと結果
(1) 区の方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に取り組みます	・高齢者を中心として子どもから障害をもつ人生活困窮者まで、ワンストップでの対応に取り組みました。 ・計画的な実態把握訪（アウトリーチ）手法にて課題を抱えた方々の早期発見に努めました。 ・地域の介護関係者の他医療、障害関係機関、一般企業及び店舗などを含め地域の特徴や課題について情報共有や意見交換を行いました。 ・多職種研修会（在宅療養、認知症支援、介護予防等に係る事柄など）を計画的に企画し開催しました。
(2) 地域ケア会議の充実に取り組みます	「その人がいつまでも在宅生活を送るには」との視点で、各専門職である検討委員と自立支援やケース検討を通して地域課題、問題を整理・明確化し、区が主催する地域ケア推進会議開催に協力しました。
(3) 誰もが気軽に相談し利用できる地域包括支援センターを目指し、取り組みを継続します	・商店街、マンション・集合住宅への訪問も積極的に行い、マンション・集合住宅懇談会の開催や多職種連携会議を開催するなど住民に寄添った支援体制を構築しました。 ・当センター独自のリーフレットを作成、配布し、当センターの認知度向上に努めました。
(4) 各職種に必要な研修の実施並びに研修を積極的に受講し、専門性の向上を図ります	外部研修（都・区・その他）、法人研修、所内職員向け研修と体系別に年間計画を設定し、専門職としての知識・技術を高め、専門職の資質向上に努めました。

2 サービス内容（包括的支援事業）

総合相談支援事業

高齢者、障害をもつ人、子ども、生活困窮者、在宅介護及び療養している人々が、住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続できるよう、相談を受け止め、関係機関と連携、協働を図りながら、きめ細かな相談支援に取り組みました。

下記の業務を区の方針及び事業計画に基づき実施しました。

(1) 総合相談業務

（西部 表 1-1）

総合相談種別

区分	件数
新規相談	942
継続相談	6,323
口頭相談	1,388
合計	8,653

（西部 表 1-2）

総合相談方法

区分	件数
来所	2,003
電話	5,264
訪問	1,174
その他	217
合計	8,658

（西部 表 1-3）

総合相談の新規相談者(重複計上)

相談者	件数	相談者	件数
本人	323	近隣・知人	36
家族・親族	490	医療機関	61
民生委員	31	CSW	0
ケアマネジャー	56	その他	80
		合計	1,077

(西部 表 1-4) 相談内容 (重複計上)

区分		件数
Ⅰ 総合相談	介護等の相談	3,221
	施設入所	593
	疾病・医療	1,452
	訪問保健相談	14
	ひとりぐらし相談	276
	経済的問題	199
	家庭関係	282
	住宅	130
	介護保険	3,167
	見守り・安否確認	637
	行政サービス等	63
	実態把握訪問	359
	公的サービス外の案内	37
	日常的な生活相談	564
	認知症に関わる生活相談	256
	ひきこもり	4
	その他	115
	小計	11,369
Ⅱ 権利擁護	高齢者虐待	181
	消費者被害	25
	成年後見・日常生活自立支援事業	294
	老人福祉法に基づく措置	5
	相続・遺言	20
	その他	128
	小計	653
Ⅲ 介護・日常生活支援 総合事業	一般介護予防	87
	予防給付、サービス事業対象	197
	小計	284
合計		12,306

(西部 表 1-5) 出張相談

会場	開催日
東根住区センター	偶数月第3火曜日午後
大岡山西住区センター	奇数月第3火曜日午後
自由ヶ丘住区センター	奇数月第2水曜日午後

(2) 実態把握業務（アウトリーチ）

民生児童委員、近隣住民や各店舗等から「気になる方々」として連絡をいただいたケースについては、当センター職員が自宅訪問を行い生活課題がある場合には、関係所管とも連携し、課題解決に努めました。

また、自由が丘一丁目、二丁目（実働 326 名）を対象に、事前に訪問する旨の手紙を配布し、計画的に訪問を実施して実態把握を行いました。終了後には各町会において町会長、民生児童委員等地域の関係者を交え、情報共有と地域課題についての意見交換懇談会を開催しました。

(3) 地域におけるネットワーク構築業務

年度内 2 回、多職種連携会議を開催し、介護、医療、金融機関、店舗等、地域に存在する関係者と意見交換の機会をもち、具体的な活動のひとつとして、「認知症・徘徊者行方不明者、発見訓練」を実施しました。

令和 6 年度も引続き地域のマンション、集合住宅住民との懇談会を 2 回開催しました。18 か所の集合住宅から住民の参加者があり、参加者同士で、「孤立死、認知症、消費者被害、ゴミ問題、防災など」について活発な意見交換となりました。

地域に「新たな居場所づくり」のための活動として開始した「寺子屋やくも」につづき、マンション住民自ら賛同者を募り毎月開催することとなった「8 階の会」の介護予防に係る集まりの後方支援を行いました。

(4) 認知症総合支援事業（サポーター養成講座等）

令和 6 年度も継続し、地区内にある寺院の団信徒会館を活用させて頂き、東京医療センター医師の協力を得て認知症に係る区民向け啓発講座をシリーズで計 3 回開催しました。

地域住民に身近な住区センター及び町会会館においても地域住民、警察、介護事業所、金融機関等の関係者を招き、認知症への理解と対応方法等についての勉強会を開催しました。

毎年恒例である小学校でのサポーター養成講座についても、八雲小学校 4 年生を対象に（計 69 名）実施し、また、一般区民向けの講座も年度末に八雲住区センターにて開催しました。

3 高齢者虐待防止・早期発見等権利擁護事業

- ・ 通報及び届け出の受理・確認
- ・ 関係機関等との連携・協力
- ・ 養護者に対する相談、指導及び助言
- ・ 高齢者虐待防止等の啓発
- ・ その他(成年後見・任意後見制度、相続、債務整理、遺言、遺族年金手続きなど)

上記のほか、高齢者虐待防止等の啓発活動の一環として、令和 6 年度は地区第一、第二民生児童委員を対象に人権ライブラリーの高齢者虐待ビデオを視聴、懇談する形態で研修会を開催しました。（計 53 名参加）

（西部 表 2）権利擁護事業処理件数

区分		件数
高齢者虐待	相談・支援シート作成	20
	コアメンバーミーティング、個別ケース会議	37
消費者被害	消費者生活センター	2
成年後見・日常生活自立支援事業	権利擁護センター	13
	区長申し立て	0

区分		件数
老人福祉法上の措置	やむを得ない事由による措置	2
	養護老人ホーム入所措置	1

4 包括的・継続的ケアマネジメント事業

相談者個々の状況に応じた包括的・継続的なケアマネジメントと居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの支援方法等に対する相談に対して個別支援に努めました。

また、地域住民も含めた多職種間での研修会の開催や金融機関や商店、各専門職間での多職種連携会議を定期開催し、連携強化を図りました。

- ・ 地域包括支援ネットワークの構築
- ・ 介護支援専門員に対する個別支援
- ・ 地域ケア個別会議の開催及び区主催する地域ケア推進会議への協力

(西部 表 3-1) 個別支援相談件数 (西部 表 3-2) 個別支援相談方法

区分	件数
新規相談	10
継続相談	234
口頭相談	29
合計	273

区分	件数
来所	41
電話	223
訪問	8
その他	1
合計	273

(西部 表 3-3) 個別支援相談内容 (重複計上)

内容	件数
担当ケースの支援方法に関すること	252
介護保険の制度・運用に関すること	10
地域資源に関すること	7
職場・サービスに関すること	2
在宅療養に関すること	4
その他	10
合計	285

(西部 表 3-4) 地区研修会等開催状況

開催回数	参加延人数
22	633

5 地域ケア個別会議

事例提供者（地域の居宅介護支援事業所、ケアマネジャー）の参加、医師、他の専門職である検討委員はオンラインにての参加方式による地域ケア個別会議を開催し、「その人がいつまでも、そこに住み続けるためには」という視点で個別課題解決、地域支援ネットワークの構築、ケアマネジメント質の向上、地域課題の発見に取り組みました。（※事例検討は毎回2事例実施）

また、上記内容を整理し、区が主催する地域ケア推進会議に協力をしました。

(西部 表 4) 地域ケア会議開催件数

個別会議	推進会議
3	1

6 介護予防ケアマネジメント

フレイル状態にあり、各介護予防教室(手ぬぐい体操等)への勧奨が必要と判断した方々に対し、示された手順により各事業への参加申し込みを行いました。

また、参加状況の確認、終了後のフォローとして、住民主体の介護予防活動や民間サービス等の適切なサービスの提供と自主活動グループ化への後方支援に努めるとともに、自主グループボランティア同士の交流会も企画するなど、相互の情報交換や運営改善を支援しました。

予防給付及び平成 28 年度から実施された介護予防・日常生活支援総合事業（サービス事業対象者、要支援 1、2 対象）利用者に対し、適正な介護予防ケアマネジメントを提供しました。

利用者アンケートを実施し、利用者とその家族の意見、要望、思いを把握しサービス提供の改善に努めました。

(西部 表 5) 短期集中予防サービス参加申し込み取扱い件数 (延べ)

短期集中予防サービス	件数
【訪問型・通所型（グループ型・個別方）】	18

(西部 表 6) 介護予防ケアプラン作成件数

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
総	176	174	167	164	160	165	172	168	165	160	159	163	1,993
予	258	265	272	263	258	266	270	267	276	278	273	276	3,222
委	149	149	147	142	137	142	144	143	145	140	136	143	1,717

注) 予：予防給付（指定介護予防支援事業）

注) 総：介護予防・日常生活支援総合事業（第 1 号介護予防支援事業）

注) 委：委託作成分。

7 介護保険認定申請の受付等の業務

総合相談業務と連携させて、認定申請等（新規申請、更新申請、区分変更申請）の受付業務を行いました。医療機関からの相談も多く、新規認定申請等が増加しました。

8 高齢者の保健福祉サービスの受付等の業務

総合相談業務と連携させて、一人暮らし登録、訪問食事サービス・食事サービス（訪問調査、安否確認を含む）、オムツ現物支給（オムツ代金含む）障害支援に係る受付業務等を実施しました。

(西部 表 7) 介護保険認定申請・高齢者保健福祉サービスの受付数

分類	申請書の種類	件数
要介護認定	要介護認定申請書	1,902
	介護保険認定申請取下届	38
	介護保険被保険者証等再交付	1
	介護サービス計画作成のための資料の提供申請書	1,347
	その他（転入継続 等）	244
介護保険給付	居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	517
	小規模多機能・看護小規模多機能サービス計画作成依頼	1
	介護保険住宅改修	6
	介護保険福祉用具購入費支給申請書	0
	高額介護（予防）サービス費支給申請書	2
	福祉用具貸与確認依頼兼確認書	15
	介護保険負担限度額認定申請書	7
	介護保険居宅サービス等利用者負担軽減認定申請書	21

分類	申請書の種類	件数
	居宅サービス計画自己作成届出書	10
	介護予防ケアマネジメント依頼(変更)届出書	238
	基本チェックリスト	18
	総合事業 要介護認定申請状況確認票	18
	介護保険負担割合証再交付申請書	24
介護保険資格	介護保険住所地特例適用・変更・終了届	21
	介護保険被保険者証等再交付申請書	27
介護保険苦情	介護保険苦情対応連絡票	2
	介護保険苦情届	0
介護保険計		4,459
高齢福祉	高齢者在宅支援ヘルパー派遣事業利用申請書兼同意書	1
	ねたきり高齢者理美容サービス申請書	134
	ねたきり高齢者等寝具乾燥消毒サービス申請書	0
	高齢者紙おむつ支給申請書	222
	高齢者おむつ代支給申請書	142
	認知症はいかい高齢者等位置情報確認サービス利用申請書	2
	ひとりぐらし等高齢者登録申請書兼登録台帳	224
	目黒区高齢者病院内介助助成金交付申請	15
	電話訪問（さわやかコール）新規・変更申請書	1
	目黒区訪問食事サービス事業利用申請書	58
	目黒区ひとりぐらし高齢者等食事サービス受給申請書	6
	高齢者火災安全機器設置事業利用申請書	9
	非常通報システム利用申請書	43
	高齢者福祉電話貸与申請書	0
	高齢者家具転倒防止器具取付申請書	2
	高齢者自立支援住宅改修給付申請書	0
	特別養護老人ホーム入所申込書	111
	登録内容変更等異動連絡票	12
	目黒区会食サービス事業利用申請書	2
	目黒区栄養改善配食事業利用申請書	0
福祉総合	高齢者見守り訪問事業申請書等	1
	訪問保健相談申請書	0
	その他の申請書等	0
健康福祉計画	避難行動要支援者名簿登載希望申請書	0
障害者支援	都営交通無料乗車発行申請書兼更新確認等	28
	有料道路障害者割引申請書兼ETC利用申請書等	45
保健福祉サービス計		1,058
合計		5,517

9 保健福祉の総合相談支援の業務

保健福祉に係わる多様な相談等に対応するためすべての区民を対象として、次の業務を行いました。障害福祉、生活福祉、保健、子育て支援、住まい等については、区の対象別の相談支援体制を前提とし、各所管との連携の下に実施しました。

(1) 総合案内

パンフレットなどによる一般的な情報提供、相談を受けてのサービス・制度説明や分野を超えた内容についても、内容を把握した上で支援に係る担当所管への取り次ぎを行いました。

(2) 総合支援

アウトリーチ（実態把握）活動を民生児童委員とも連携し「制度の狭間などの多くの課題をもつ人々」、リスクの高い人々の早期発見に努め、速やかな対応、支援を実施しました。複合的な課題については、関係機関との連携や各職種で検討し、解決に努めました。

また、通報による安否確認についても、迅速に福祉総合課ふくしの相談係と連携し、緊急対応を行いました。

(3) 地域のネットワーク作り

区の見守りネットワーク協力機関の増に努めたほか、新たに「地域包括支援センター」の機能と役割について解りやすいリーフレットを作成、配布し更なる周知に努めました。

また、多職種連携会議や多職種研修会を通して、地域住民も含めた医療と介護との連携を促進していくための環境と体制作りを行いました。

毎月の中根西町会連携会議には毎回、出席し、地域住民の方々との情報交換と地区内の集合住宅及びマンション管理組合等の方々との懇談会を開催し、地区担当のコミュニティソーシャルワーカーを含め意見交換と情報共有に努めました。

【高齢者以外】

(西部 表 8-1)
総合相談種別

区分	件数
新規相談	3
継続相談	11
口頭相談	158
合計	172

(西部 表 8-2)
総合相談方法

区分	件数
来所	27
電話	118
訪問	16
その他	11
合計	172

(西部 表 8-3)
総合相談の新規相談者（重複計上）

相談者	件数	相談者	件数
本人	3	近隣・知人	0
家族・親族	0	CSW	0
民生委員	0	その他	0
ケアマネジャー	0	合計	3

(西部 表 8-4) 総合相談内容（重複計上）

分類	件数	分類	件数
障害者	42	住宅	6
子供	2	疾病・医療	74
ひとり親家庭・女性	1	ひきこもり	11
経済的相談	5	ひきこもり	11
医療保険年金等	19	その他	36
健康・医療（母子）	1	消費者被害等	0
しごと	3	見守り・安否確認	21
		合計	222

10 在宅療養支援窓口相談

医療機関から連絡、相談があった際には院内カンファレンス開催を医療ソーシャルワーカー呼びかけ、担当医も含めた退院前カンファレンスの開催に努めました。

認知症相談に対しては「物忘れ連絡票」を適宜、活用し受診、診断が円滑に行えるよう努めました。

(西部 表 9-1) 疾病・医療の相談の内訳（重複計上）

区分	相談者	
	高齢者	高齢者以外
退院支援Ⅰ－退院カンファレンス関係	56	0
退院支援Ⅱ－他職種・家族に連絡	140	
退院支援Ⅲ－病院関係者との連絡・面会	84	
医療処置	16	3
訪問看護・リハビリ	122	0
緩和ケア・ターミナルケア	26	0
かかりつけ医や訪問診療・往診	296	7
入院支援	141	12
転院、施設入所	54	0
介護者支援、家族親族支援	83	8
通院支援(定期・通院手段・初診同行等)	21	0
セルフケア支援	367	16
その他	215	40
合計	1,621	86

(西部 表 9-2) 疾患（重複計上）

区分	相談者	
	高齢者	高齢者以外
がん	138	6
脳血管疾患・神経難病	164	0
内科疾患	471	1
整形外科疾患	155	0
認知症	409	0
若年性認知症	1	0
その他精神疾患	236	61
その他・不明	190	6
合計	1,764	74

11 運営管理

(1) 会議

地域包括支援センター間等で円滑な運営を行うため、区内地域包括支援センターの所長が出席する「5 包括所長会」を以下のとおり開催しました。

区の福祉総合課（地域ケア推進係）主催の地域包括運営連絡会が開催され、5 つのセンターの所長が出席し、運営に係る細かな事柄について検討を行いました。

(西部 表 10-1) 区内包括会議

会議名	内容	開催回数
包括運営連絡会	地域包括支援センター運営全般に関する検討・調整・連絡確認	月 1 回
5 包括所長会	個々のセンター運営に関する検討・調整・情報共有	月 1 回
苦情対応委員会	介護保険等に係る苦情について検討・情報共有	年 5 回
住民主体型介護予防推進チーム会議	介護予防事業業務に関する検討・調整	年 3 回
社会福祉士実務者連絡会	総合相談支援業務、権利擁護業務に関する検討・調整	年 4 回
主任ケアマネ実務者連絡会	包括的・継続的ケアマネジメント業務に関する検討・調整	年 5 回

(西部 表 10-2) 所内職種リーダー会議

会議名	内容	開催回数
リーダー会議	センター事業運営全般の進捗状況確認・検討・調整・決定 センター内の危機管理に関すること（危機管理委員会） センター内の苦情に関すること（苦情処理委員会） センター内、虐待防止検討委員会	月 1 回

(2) 研修

東京都主催の地域包括支援センター職員研修や介護支援専門員研修等、関係団体が実施する各種研修・講演会等を積極的に受講し、職員の資質の向上を図りました。

(西部 表 11-1) 外部研修

区分	主な研修名
運営全般	都・地域包括支援センター職員研修（初任者）区・地域包括支援センター職員スキルアップ研修、情報セキュリティ研修、感染症対策研修、ハラスメント研修等
総合相談支援関連	区・健康福祉部合同研修、高齢福祉、精神保健福祉、ひきこもり研修等
介護予防関連	介護予防ケアマネジメントに関する実務者研修、介護予防指導者研修等
権利擁護関連	養護者による高齢者虐待対応研修（基礎・応用）、高齢者虐待対応職員研修、人権研修、ヤングケアラー支援者向け研修等
包括的継続的ケアマネジメント関連	自立支援・重度化防止に向けた主任介護支援専門員研修、目黒区主任介護支援専門員研修、多職種研修、保険者機能強化市町村研修等
認知症関連	都・チームオレンジコーディネーター、認知症対応力向上研修、松沢病院・地域連携を支える人材育成研修、若年性認知症相談支援研修等
在宅療養関連	都・入退院支援研修、区主催オンライン研修、区西南部リハビリテーション研修（対面式事例検討会）、医療と介護の多職種研修等、結核について（保健予防課主催）
介護支援専門員関連	都・介護支援専門員研修（専門Ⅰ・Ⅱ）、「保険者と介護支援専門員が共に行うケアマネジメントの質の向上ガイドライン」を活用したケアプラン点検、目黒区介護支援専門員研修（現任・主任）

(西部 表 11-2) 法人研修(再掲)

研 修 名	参加人数
指導職 2 級 5 年目研修	1

(西部 表 11-3) 内部研修

主な研修内容	講師	対象
個人情報保護研修	主任介護支援専門員	職員全員
情報セキュリティ研修	区提供 DVD	職員全員
人権研修	社会福祉士	職員全員
主任介護支援専門員研修 (1 回)	東京都福祉保健局介護保険課主催(WEB 研修)	包括主任介護支援専門員
都・管理者向けケアマネジメント研修	都・保健福祉局	所長

(3) 苦情・要望

(西部 表 12) 苦情・要望件数

処理・対応		件数
地域包括支援センター委託業務に関する苦情処理	即時対応	0
	連絡表作成	0
介護保険に関する苦情処理	即時対応	1
	連絡表作成	1

(4) 実習生・研修生等の受け入れ

(西部 表 13) 実習生受入状況

実習依頼校	実習目的	実人員	延日数
東京医療保健大学	看護師	8	7
東京医療センター	看護師管理者認定 看護師	1	1
日本福祉大学	社会福祉士	1	5
武蔵野大学	社会福祉士	1	8
首都医校	社会福祉士	2	33
合 計		12	54

別 紙

事業報告の附属明細書について

令和 6 年度事業報告には、社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する「事業報告に内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

令和 7 年 5 月

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団